

壽 橋 線 壽 橋 上 部 工 架 設 工 事 設 計 書

工 事 番 号	R004	施 工 年 度	令和8年度
工 事 名 称	寿橋線寿橋上部工架設工事		
工 事 場 所	鶴岡市寿地内		
発 注 者	鶴岡市建設部土木課	工事概要 プレキャストセグメント桁製作工 N= 2 本 プレキャストセグメント主桁組立工 N= 2 本 支承工(ゴム支承) N= 4 枚 架設工(クレーン架設) N= 2 本 床版・横組工 N= 1 式 撤去工 N= 1 式 仮設工 N= 1 式	
設 計 区 分	当初		
路 線 名	市道寿橋線		
工 事 期 間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
工 事 日 数	日		
工 種 区 分	PC橋工事		
適 用 世 代	令和8年8月		
合 計 額			
工 事 価 格			
消費税相当額			

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
P C 橋 工 事						
PC 橋 工		式	1			
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄｾｸﾞﾐﾝﾄ桁製作工		式	1			
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄｾｸﾞﾐﾝﾄ桁製作・運搬	50N/mm2、L=28.5m、3分割 (G1桁)	本	1			第 1号単価表
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄｾｸﾞﾐﾝﾄ桁製作・運搬	50N/mm2、L=28.5m、3分割 (G2桁)	本	1			第 2号単価表
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄｾｸﾞﾐﾝﾄ主桁組立工		式	1			
ﾌﾟﾚｷﾞｬｽﾄｾｸﾞﾐﾝﾄ主桁組立	T桁 3分割	本	2			第 3号単価表
機械器具経費 T桁, 少数桁, PCｺﾝｸﾘｰﾄ桁 3分割	ｾｸﾞﾐﾝﾄ質量 17.0t超え21.0t 以下	工事	1			第 4号単価表
軌道設置撤去工		m	35			第 5号単価表
支承工		式	1			
ゴム支承 (A1)	DSFﾊﾟｯﾄﾞ、470×260×80	個	2			第 6号単価表
ゴム支承 (A2)	DSFﾊﾟｯﾄﾞ、400×260×120	個	2			第 7号単価表
樹脂発泡体	t =20mm	m ²	1			第 8号単価表

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
鉄筋工	一般構造物 D10	t	0.01			第 9号単価表
架設工(クレーン架設)		式	1			
桁架設	PCボートテンハルブT桁、35t以上 60t未満	本	2			第 10号単価表
主桁転倒防止工(据付時)		本	2			第 11号単価表
床版・横組工		式	1			
コンクリート工(プレテンションT桁、ボート ション桁)	フォーム打設	m ³	18			第 12号単価表
間詰床版及び横桁の鉄筋加工・ 組立	D22	t	0.6			第 13号単価表
間詰床版及び横桁の鉄筋加工・ 組立	D16	t	1.1			第 14号単価表
間詰床版及び横桁の鉄筋加工・ 組立	D13	t	0.4			第 15号単価表
コンクリート削孔	削孔径10～30mm 削孔深 30～200mm	箇所	118			第 16号単価表
コンクリート削孔	削孔径10～30mm 削孔深20 0～400mm	箇所	40			第 17号単価表
あと施工アンカー	削孔径22mm 削孔深78m m	本	96			第 18号単価表
PC工(ボートテンション桁、シングルストラ ンドシステム)	570kN(60t)型 1S21.8mm	m	160			第 19号単価表

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
P C工 (ホ ー ステンション桁、シ ン グ ル スト ラ ン ト システム)	950kN(100t)型 1S28.6mm	m	35			第 20号単価表
緊張工 (シ ン グ ル スト ラ ン ト システム)	570kN(60t)型 (1S21.8) 異 形 支 圧 板	ケー ブ ル	55			第 21号単価表
緊張工 (シ ン グ ル スト ラ ン ト システム)	950kN(100t)型 (1S28.6) 異 形 支 圧 板	ケー ブ ル	6			第 22号単価表
緊張工 (シ ン グ ル スト ラ ン ト システム)	950kN(100t)型 (1S28.6) 標 準 支 圧 板	ケー ブ ル	2			第 23号単価表
緊張工 (シ ン グ ル スト ラ ン ト システム)	950kN(100t)型 (1S28.6) 異 形 支 圧 板 + 標 準 支 圧 板	ケー ブ ル	2			第 24号単価表
横組工の機械器具損料	シ ン グ ル スト ラ ン ト システム	工 事	1			第 25号単価表
足場工費 (ホ ー ステンション桁用桁下 足場)	1.1 ≤ H < 1.5m、両側朝顔	m ²	265			第 26号単価表
足場工費 橋台・橋脚回り足 場フ ラ ッ ク ト 工		m	10			第 27号単価表
コンクリート塗装	CC-A塗装系	m ²	38			第 28号単価表
撤去工		式	1			
地覆撤去工		式	1			第 7号明細書
親柱撤去工		式	1			第 8号明細書
防護柵撤去工		式	1			第 9号明細書

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
仮設工		式	1			
敷鉄板		式	1			第 11号明細書
交通管理工		式	1			第 12号明細書
直接工事費計						
共通仮設費計						
運搬費		式	1			
仮設材運搬費		式	1			
仮設材の運搬費(鋼矢板・H形 鋼・覆工板・敷鉄板等)	(A)長12m以内,距離10km まで、往復	t	30			第 43号単価表
仮設材の積込み、取卸し	基地～現場～基地	t	30			第 44号単価表
重建設機械分解・組立・輸送		式	1			
トラックレーン (分解・組立・輸送)	油圧伸縮ジブ型 120t吊,分 解組立+輸送(往復)	回	1			第 45号単価表
トラックレーン (分解・組立・輸送)	油圧伸縮ジブ型 220 t 吊, 分解組立+輸送(往復)	回	1			第 46号単価表
準備費		式	1			

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
事業損失防止施設費		式	1			
安全費		式	1			
役務費		式	1			
技術管理費		式	1			
営繕費		式	1			
共通仮設費		式	1			
現場環境改善費		式	1			
純工事費						
現場管理費		式	1			
工事原価						
一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
工事価格						
消費税相当額						

本 工 事 内 訳 書

工 事 区 分 ・ 工 種 ・ 種 別 ・ 細 別	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
合計額						

鶴岡市建設部土木課

土木工事特記仕様書

寿橋線寿橋上部工架設工事

1. 共通仕様書の適用

本工事の施工にあたっては、「山形県県土整備部制定共通仕様書(土木工事共通仕様書、土木工事施工管理基準及び規格値、参考資料)令和8年4月」にもとづき実施しなければならない。仕様書の記載内容の優先は「特記仕様書」、「共通特記仕様書」、「共通仕様書」の順とする。なお、令和8年4月以降に一部改訂された内容は以下のホームページに掲載されているので、最新版を適用するものとする。

※共通仕様書の一部改訂内容は以下ページから確認できます。

山形県のホームページ(<http://www.pref.yamagata.jp>)

→ 県政情報 → 山形県の紹介 → 組織案内 → 県土整備部 → 建設企画課

→ 共通仕様書(土木工事)

2. 共通仕様書に対する特記事項

共通仕様書に対する特記仕様事項は次のとおりとする。

第1編 共通編

第1章 総 則

1-1. 監理技術者の専任義務の緩和に係る取扱い

1. 本工事において、建設業法第26条第3項ただし書の規定の適用を受ける監理技術者(以下、「特例監理技術者」という)の配置を行う場合は、「鶴岡市発注工事における監理技術者及び監理技術者を補佐する者の取扱いについて」によるものとする。
2. 特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、適切にコリンズ(CORINS)への登録を行うこと。

1-2. 工事種別

工事種別は、一般土木工事(PC橋工事)とする。

1-3. 工事の下請け

受注者は、下請け契約の請負金額によらず工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画(変更)報告書、下請け業者一覧表及び当該工事に係る下請け契約書の写しを提出しなければならない。また施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画(変更)報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

1-4. 技術者の専任期間

1. 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間、工場製作期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、落札決定後、監督職員との協議により定める。
2. 工事完成後、検査が終了し、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

1-5. 標準断面での発注

標準断面で発注された工事は現況を測量し、側溝(水路)縦断計画及び舗装面積の展開図等の施工図を作成し、監督職員と協議の上、承諾を得ること。監督職員の承諾を得る前に、工事着工している場合は、工事の一時中止及び改造を命じる場合もありうる。なお、承諾の回答には、発注者側での検討があるため、1週間程度見込むこと。

また、計画時には路面排水を考慮するとともに、上下流の側溝勾配等を必ず調査し、流入、流出先の排水路等も調査すること。

1-6. 設計変更の手続き

設計変更については、建設工事請負契約約款及び土木工事共通仕様書によるところであるが、その基本的な考え方や手続きについては、「土木工事施工円滑化関係集(令和2年12月改訂)山形県土木工事施工円滑化推進会議」の第1章「設計変更ガイドライン」及び第3章「工事一時中止に係るガイドライン」によるものとする。

1-7. 揚重作業機械について

揚重作業機械は、クレーン車又はクレーン機能付バックホーを標準とする。やむを得ず、その他の機械を使用する場合は、書面により監督職員の承諾を得ること。

1-8. 沿線住民への周知

工事着工前に施工個所を示した住宅地図を添付した工事のお知らせを作成し、監督職員の承諾後に地元の町内会長と沿線住民に配布すること。また、全面通行止めで施工を行う際には、前もって予告看板等を設置し周知を図るとともに、関係機関(幼稚園、保育園、デイサービス等)に通知すること。

1-9. 官民境界

工事着工前には、境界立会を実施することを原則とする。側溝を設置する場合には、官民境界に設置すること。やむを得ず境界に設置できない場合は、監督職員の承諾と地権者又は住民の了

解を得て側溝を設置し境界杭(境界プレート)等で、官民境界を明示すること。境界杭等設置後は、その記録を監督職員に提出すること。

1-10. 工事支障物件について

1. 地下埋設物等

- (1) 現況測量時に周囲の状況(電力、NTTなどの架空電線)を確認し、埋設物に関しては、必ず地下埋設物証明申請書兼証明書により確認すること。
 - (2) 必要に応じて試掘を行い、地下埋設物等の種類、位置等を調査し地下埋設物等との離隔を、図面及び写真等により監督員に報告すること。
 - (3) (2)の結果、施工に支障する場合、監督員より地下埋設物等の施設管理者へ移設依頼し、施設管理者の支障物件移設工事完了後、本工事に着手すること。
2. 施工にともなって支障となる物件(公共汚水桝、量水器など)が判明した場合は、設計図書に関して、すみやかに監督員と協議しなければならない。

1-11. 工事現場発生品(工事現場再使用品)

従来施設の撤去により発生した二次製品等については、監督職員と処理方法及び数量確認について協議を行うこと。協議内容について工事打合簿により記録し提出すること。

1-12. 建設副産物関係

1. 本工事により発生する特定建設資材廃棄物(コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材)は、再資源化施設に搬出するものとする。特に、下記に示す特定建設資材廃棄物の搬出先はそれぞれ次の条件も満たすものとする。

【コンクリート塊】

規格品の再生クラッシャーラン(RC-40)として再資源化している再資源化施設

【アスファルト塊】

再生加熱アスファルト混合物の原材料として再利用している再資源化施設(アスファルトプラントでなくても、そのアスファルト塊が、最終的に再生加熱アスファルト混合物として利用されることが確認できる施設でも可)

2. 建設リサイクル法第6条に規定する「建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担」に基づき、条件明示する特定建設資材廃棄物の搬出施設は、下記のとおりである。なお、搬出完了後、産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、監督職員から請求があった場合は提示しなければならない。

【コンクリート塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	鶴岡市西目字山田森 28-1	小野寺建設(株)	8:00～17:00
○	鶴岡市斎藤川原字石川端 77-1	田川砂利工業(株)	8:00～17:00
	鶴岡市勝福寺字根木瀬 158-1	鶴岡建設(株)	8:00～17:00

	鶴岡市大字馬町宮ノ腰 115	(株)三浦土建	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海アスコン共同企業体	8:00～17:00
	鶴岡市柳久瀬字武良免 17-7	(株)青木建材	8:00～17:00
	鶴岡市田代字広瀬 16-2	(株)渡会電機土木	8:00～17:00

【アスファルト塊】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	鶴岡市勝福寺字根木瀬 158-1	鶴岡建設(株)	8:00～17:00
	鶴岡市藤島字西細杖 262-2	日本海アスコン共同企業体	8:00～17:00

【舗装版切断時に発生する濁水】

設計	①受入場所	②再資源化施設名	③受入時間
	東田川郡庄内町堤興屋字中島 38	(株)安藤組	8:00～17:00

- 受注者は、自らの都合により、前項の条件明示事項と別の方法等による場合においては、土木工事共通特記仕様書第1編共通編1-1-12建設副産物第2項に規定する契約前の説明において説明を行うものとする。なお、この場合において、搬出予定の再資源化施設が第1項に規定する条件を満たすことを証する書類等の提出を求められた場合は、速やかにこれを提出しなければならない。また、この場合であっても、設計図書の変更は行わないものとする。
- 受注者は、建設リサイクル法第18条第1項の規定により、特定建設資材(コンクリート、アスファルト、木材)廃棄物の再資源化等が完了した場合、共通仕様書で定める建設廃棄物処理結果報告書に特定建設資材廃棄物の再資源化等に要した費用を追記し、監督職員に提出しなければならない。
- 受注者は、建設資材(コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト混合物、土砂、碎石等)を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
- 受注者は、建設副産物(コンクリート塊、建設発生木材、アスファルトコンクリート塊、建設汚泥、建設混合廃棄物、金属くず、廃プラスチック、建設発生土等)を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、法令に基づき、「再生資源利用促進計画書」を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。
- 受注者は、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成した場合には、工事完了後速やかに、実施状況を記録した「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進実施書」を監督職員に提出しなければならない。
- 土木共通特記仕様書第1編共通編1-1-11建設副産物第4項に規定する再生資源利用計画書(実施書)及び再生資源利用促進計画書(実施書)作成は、「コブリス・プラス」((一財)日

本建設情報総合センター(JACIC)Web版入力システム)により行う。なお、システムの操作に要する費用は、共通仮設費率分(技術管理費)に含まれている。

9. 建設資材廃棄物の搬出時には、過積載を防止し、運搬車輛に「産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令」により、産業廃棄物運搬の表示及び書面を備え付けること。

1-13. 中間検査

本工事では、次の段階において中間検査を実施するものとする。

工 種	実施段階	実施回数
—	—	— 回

1-14. 履行報告

受注者は、当初の請負代金が1件1,000万円以上の工事については、毎月の履行状況を工事履行報告書(鶴岡市、様式第10号の3)により監督職員に提出しなければならない。

1-15. 前金払について

1. 中間前金払

契約約款第36条第3項に基づき中間前払金の支払を請求しようとするときは、あらかじめ、中間前金払認定請求書(鶴岡市、様式第10号の2)に、監督職員の確認を受けた直近の工事履行報告書(鶴岡市、様式第10号の3)の写しを添えて提出するものとする。

2. 債務負担行為工事の前払金請求

~~本工事は令和7年度に渡り債務を負担する予算であるため、令和7年度内は前払金を請求することができないものとする。よって、本工事の前払金の請求及び支払は令和8年4月1日以降とする。~~

1-16. 工事名標示板に関する事項(安全確保関係)

工事名標示板に記載する、工事の種類及び工事内容の説明は次のとおりとする。なお、本工事は道路工事であることから、工事名看板記載の「工事期間」は交通上支障を与える実際の期間とする。

工事の種類	(例)橋梁工事中
工事内容の説明	(例)橋を拡幅しています

1-17. 交通安全に関する事項(交通安全管理関係)

1. 施工方法

本工事の施工にあたっては、片側交互通行により施工するものとする。

2. 交通誘導員の配置

交通管理に要する交通誘導員の配置計画は任意とする。なお、交通管理者との協議により配

置計画について条件が付された場合には、設計図書に関して監督職員と協議しなければならない。本工事では、工事期間中の交通整理として、交通整理員 94名を計上している。

1-18. 事業損失に関する事項(環境対策関係)

1. 施工途中において、工事騒音、振動、地下水低下等の影響により、調査及び対策の必要が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。
2. 工事の施工に伴い、騒音振動の測定が必要になった場合は、監督職員と協議しなければならない。

1-19. 他工事との関連事項について(工程関係)

1. 別途発注の他工事について、本工事の施工に際して支障が生じた場合は、監督職員と協議しなければならない。

1-20. 施工時期、時間、施工方法の制限事項(工程関係)

1. 本工事の作業時間帯は、8:30～17:00とする。なお、受注者は、関係機関等との調整の結果、作業時間帯に変更が生じた場合は作業時間帯に関して、速やかに監督職員と協議しなければならない。

1-21. 災害時の協力体制

1. 緊急巡回

- I 緊急巡回とは、台風、豪雨、豪雪、地震等により、工事現場において災害が発生した場合又はそのおそれがある場合にその状況を把握し、適切な措置を講じるもので、監督職員の指示により巡回を行うものである。
- II 緊急巡回担当者は、工事現場の異常等を発見した場合には、速やかにその危険を防止するため、その場でとりうる適切な措置を講ずるとともにその状況について、監督職員に報告するものとする。
- III 緊急巡回にあたっては、写真撮影をし、日時及びその状況を記録しておくものとする。
- IV 緊急巡回中に事故が発生したときは、速やかにその状況を監督職員に報告しなければならない。

2. 災害時の協力体制と緊急時の諸作業

工事現場が災害等で被災した場合に備え、協力体制を確立するとともに、指示があった場合は、被害を最小限に抑えるため、緊急時における諸作業を実施する。

3. 緊急巡回及び緊急時の諸作業に関する詳細については、発注者・受注者双方の協議により行うものとする。

1-22. 事故報告

1. 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、第1報を直ちに監督職員へ電話にて通報するとともに、通報後速やかに工事事故報告書(山形県、参考様式5)を FAX、又は E-Mail により提出しなければならない。
2. 報告する事故の分類は、当該建設工事現場に係る「労働災害」、「もらい事故」、「死傷公衆災害」、「物損公衆災害」とし、事故の規模を問わず、すべて報告すること。

3. 工事事務報告書様式は、以下のホームページに掲載している。

山形県のホームページ(<http://www.pref.yamagata.jp>)

→ 県政情報 → 山形県の紹介 → 組織案内 → 県土整備部 → 建設企画課
→ 共通仕様書(土木工事)

1-23. 工事写真に関する事項

1. 工事完成後、完成写真のデータを監督職員に提出すること。データの形式は、監督職員と協議すること。
2. 工事写真のデータは、監督職員の指示により提出を求める場合もありうる。

1-24. デジタル工事写真の黒板情報電子化について

デジタル工事写真の黒板情報電子化は、受発注者双方の業務効率化を目的に、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入および、工事写真の信憑性確認を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化、工事写真の改ざん防止を図るものである。

本工事でデジタル工事写真の黒板情報電子化を行う場合は、工事契約後、監督職員の承諾を得たうえでデジタル工事写真の黒板情報電子化対象工事(以下「対象工事」という。)とすることができる。対象工事では、以下の第1項から第4項の全てを実施することとする。

1. 対象機器の導入

受注者は、デジタル工事写真の黒板情報電子化の導入に必要な機器・ソフトウェア等(以下「使用機器」という)については、共通仕様書「写真管理基準」2-2「撮影方法」に示す項目の電子的記入ができること、かつ信憑性確認(改ざん検知機能)を有するものを使用することとする。なお、信憑性確認(改ざん検知機能)は、

「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」

(URL:<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>)

に記載している技術を使用していること。また、受注者は監督職員に対し、工事着手前に、本工事での使用機器について提示するものとする。

なお、使用機器の事例として、

「デジタル工事写真の黒板情報電子化対応ソフトウェア」

(URL:https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)

を参照すること。ただし、この使用機器事例からの選定に限定するものではない。

2. デジタル工事写真における黒板情報の電子的記入

受注者は、前項の使用機器を用いてデジタル工事写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよい。黒板情報の電子的記入を行う項目は、共通仕様書「写真管理基準」2-2「撮影方法」による。ただし、対象工事において、高温多湿、粉じん等の現場条件の影響により、対象機器の使用が困難な工種については、使用機器の利用を限定するものではない。

3. 黒板情報の電子的記入の取扱い

本工事の工事写真の取扱いは、共通仕様書「写真管理基準(デジタル写真管理情報基準)」に

準ずるが、前項に示す小黑板情報の電子的記入については、写真管理基準「2-4 写真の編集等」及びデジタル写真管理情報基準「6. 写真編集等」で規定されている写真編集には該当しない。

1-25. 1日未満で完了する作業の積算

1. 「1日未満で完了する作業の積算」(以下「1日未満積算基準」という。)は、変更積算のみに適用する。
2. 受注者は、施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、1日未満積算基準の適用について発注者と協議することができる。
3. 同一作業員の作業が他工種・細別の作業を組合せて1日作業となる場合には、1日未満積算基準は適用しない。
4. 受注者は、協議に当って、1日未満積算基準に該当することを示す書面、その他協議に必要な根拠資料(日報、実際に費用がわかる資料等)を監督職員に提出すること。実際に費用がわかる資料(見積書、契約書、請求書等)により、施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、1日未満積算基準は適用しない。
5. 「時間的制約を受ける公共土木工事の積算」を適用して積算する場合等、1日未満積算基準以外の方法によることが適当と判断される場合には、1日未満積算基準を適用しない。
6. 1日未満積算基準「3. 判定方法 (3)判定に使用する作業量の考え方」により、別箇所として扱う場合は、「1-19 施工箇所が点在する工事の積算」第1項の箇所とする。

1-26. 労働者確保に関する積算方法の施行工事

1. 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労働管理費」の下記に示す費用について(以下「実績変更対象間接費」という)、工事実施にあたって不足する技術者や技能者を広域的に確保せざるを得ない場合も考えられることから、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準書(山形県県土整備部)の金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終清算変更時点で設計変更する施行工事である。

営 繕 費:労働者送迎費、宿泊費、借上費

(宿泊費、借上費については労働者確保に係るものに限る)

労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

2. 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(土木工事標準積算基準書に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。
 - (1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費
(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合:22.04%
 - (2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費
(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合:1.73%
3. 受注者は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督職員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

4. 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。
5. 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、土木工事標準積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、すべての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって金額の変更を行うものとする。
6. 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。
7. 受注者は、実績変更対象間接費に係る設計変更について疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

1-27. 不可抗力による損害に関する事項

本工事における天災等は、共通仕様書第1編共通編第1章総則1-1-45第2項の各号に掲げる基準を超えるものとする。

1-28. 建設現場における遠隔臨場について

1. 建設現場における遠隔臨場の実施

「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う手待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者（監督員）における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）と Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を行うものである。なお、遠隔臨場は、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』（山形県県土整備部）の内容に従い実施する。

2. 遠隔臨場の適用

現場条件により遠隔臨場の適用性が一致しない場合も想定されることから、現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用を選定することができる。受注者は適用する工種、確認項目に関する協議資料作成にあたり、『建設現場における遠隔臨場に関する実施要領（案）』別表 1～3 を参考とする。

3. 実施内容

(1) 段階確認・材料確認、立会いでの確認

受注者が動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）により取得した映像及び音声を、Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものである。

（なお、ウェアラブルカメラ等の使用は、「段階確認」、「材料確認」と「立会」だけではなく、現場不一致、事故などの報告時等でも活用効果が期待されることから、受注者の創意工夫等、自発的に実施する行為を妨げるものではない。）

(2) 機器の準備

遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ（ウェアラブルカメラ等）や Web 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し、決定するもの

とする。下表に動画撮影用カメラ・Web 会議システム等に関する参考数値および発注者の標準的な通信環境の仕様を参考に示す。

動画撮影用のカメラに関する仕様

項目	仕様	備考
映像	画素数:640×480 以上	カラー
	フレームレート:15fps 以上	
音声	マイク:モノラル(1 チャンネル)以上	
	スピーカ:モノラル(1 チャンネル)以上	

Web 会議システムに関する仕様

項目	仕様	備考
通信回線速度	下り最大 500Mbps、上り最大 5Mbps 以上	
映像・音声	転送レート(VBR):平均 1Mbps 以上	

画質・画素数と最低限必要な通信速度

画質	画素数	最低限必要な通信速度
360p	640×480	530 kbps
480p	720×480	800 kbps
720p	1280×1080	1.8 Mbps
1080p	1920×1080	3.0 Mbps
2160p	4096×2160	20.0 Mbps

※使用する機器の機能としては仕様を満たしていても、機器の設定により、使用を満たさない場合があるため、注意すること。(例:使用する端末の画質を「高設定」にした場合は仕様を満たすが、「低設定」にした場合、仕様を満たさないことがあるため、端末画質を「高設定」にすること。)

発注者の標準的な通信環境の仕様

項目		仕様
通信プロトコル方式及びポート番号	TCP	80、443
	UDP	なし
利用環境	OS	Windows10
	ブラウザ	Microsoft Edge 、 Google Chrome
	アプリケーション	ZOOM、Teams、Google Meet

(3) 遠隔臨場を中断した場合の対応

電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行う。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。

(4) 効果の検証

遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員の指示による。

(5) 費用

遠隔臨場にかかる費用については、技術管理費に積上げ計上する。なお、詳細については、最新の遠隔臨場に関する事務連絡等を参照とすること。

(6) 不正行為

遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、『山形県建設業者の不正行為等に対する監督処分の基準』等に従い、監督処分を実施する場合がある。

1-29. 週休2日確保工事について

1. 本工事は月単位の4週8休以上の現場閉所を実施する発注者指定型の週休2日確保工事である。実施にあたっては『鶴岡市建設工事「週休2日確保工事」実施要領』に基づくため、詳細については、実施要領を確認すること。
2. 発注者は、当初(発注)時において月単位の4週8休以上の現場閉所に応じた経費の補正を行い工事費を積算しているため、現場閉所が完全週休2日(土日)を達成した場合、完全週休2日(土日)の補正係数に変更するものとする。なお、現場閉所が月単位の4週8休に満たない場合は、月単位の週休2日の補正係数を除して、工事費を積算するものとする。
3. 発注者は、週休2日確保工事において月単位の4週8休以上又は完全週休2日(土日)の現場閉所を達成した場合、主任(監理)技術者に対して「週休2日確保工事実施証明書」を発行するものとする。
4. 受注者は、工事名標示板に月単位又は完全週休2日(土日)の週休2日確保工事に取り組んでいる旨を明示すること。明示の方法は右図を参考にするものとし、監督職員と協議し決定する。



1-30. ウィークリースタンス等の推進

本工事は、受発注者協力のもと、工事の円滑化と品質の向上を図るとともに、働き方改革を推進し、担い手確保に努めることと目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、次の事項について工事着手前に受発注者間で共有し、工事を進めていくこととする。

1. 打合せ時間の配慮

受注者の移動時間が勤務時間外にならないよう配慮し、午後4時以降の打合せは行わない。

2. 作業依頼の配慮

- 1) 作業内容に見合った作業期間を確保する。
- 2) 休前日(金曜日など)に休日明け日(月曜日など)が期限日の依頼をしない。
- 3) 受注者の定めるノー残業デーにかかわらず、定時間際や定時後に依頼をしない。
3. ワンデーレスポンスの再徹底
 - 1) 問い合わせに対して、ワンデーレスポンスを徹底する。
4. 留意事項
 - 1) 緊急性を要する災害対応などにおいて、やむを得ず上記の原則に沿った対応ができない場合は、作業依頼時に受発注者双方で作業内容や提出期限等を確認し、合意を図る。
 - 2) 設計変更を伴う作業依頼については、「設計変更ガイドライン」に基づき適正に対応する。

1-31. 情報共有システム利用の対象工事

1. 本工事は、情報共有システムを利用する対象工事であり、情報共有システムを利用することを原則とする。ただし、契約締結後に受注者が監督職員と協議し、通信回線を確保出来ない等の理由により利用することが困難と判断した場合は、この限りでない。
2. 使用する工事情報共有システムは、LGWAN 環境で使用できるものを選定し、監督員の承諾を得たうえで決定すること。
3. 情報共有システムの利用に関する費用については、共通仮設費の率分に含まれる。また、登録料及び利用料については、受注者が支払うものとする。
4. 情報共有システムの利用については、「鶴岡市情報共有システム利用要領」に基づき実施すること。
5. これらに定められていない事項は、監督職員と協議するものとする。
6. 情報共有システムの運用にあたっては、「山形県情報共有システム運用ガイドライン」を準用し実施するものとする。ガイドラインは山形県のホームページから入手できる
山形県のホームページ(<http://www.pref.yamagata.jp>)
→ 県政情報 → 山形県の紹介 → 組織案内 → 県土整備部 → 建設企画課
→ CALS/EC → 山形県の情報共有

1-32. 中東情勢の変化による建設資材の流通状況を踏まえた設計変更

1. 本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材(以下、「調達検討資材」)の調達に必要な経費(以下、「別途調達経費」)について、設計変更を行う対象工事である。
2. 調達検討資材は下表を想定している。これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

調達検討資材

資 材 名	規 格	単価適用年月	単 価 適 用 地 区
塗装用シンナー	CC-A 塗装		鶴 岡 地 区

3. 受注者は、調達検討資材について別途調達経費が必要となる場合には、事前に監督職員と協議するものとする。ただし、迅速な対応が求められる場合には、口頭、ファクシミリ、電子メール

などで協議することも可能とするが、事後、遅滞なく書面により協議するものとする。

なお、別途調達経費が必要となる場合とは、以下を想定している。

- (1) 調達検討資材の代替資材を調達した場合
 - (2) 調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
 - (3) 調達検討資材を調達した場合(ただし別途調達経費を含む)
4. 受注者は、別途調達経費に係る証明書類(実際の取引伝票等)を監督職員に提出するものとし、その別途調達経費については設計変更の対象とする。

1-33. その他

1. 工事費の増減を伴う変更が生じた場合、すみやかに監督職員に連絡し、指示をあおぐこと。了解を得ずに増工(増額)したものについては変更の対象としない。
2. 当初工程表より現場着工時期(実作業期間)に遅れが生じた場合は、現場着工前に変更工程表を作成し、監督職員に提出すること。
3. 当該工事期間中に、建設業退職金共済組合の証紙を追加購入した場合は、工事完成時に追加分の建設業退職金共済組合掛金収納書届を提出すること。また、工事完成時に建設業退職金共済組合の証紙の受払状況の確認できる書類を監督職員に提示すること。

第2章 土 工

2-1. 残土受入地

~~受注後、土砂運搬工着手までに発注者が搬出先を決定する。運搬距離及び処分費については、協議するものとする。なお、発注時の運搬距離は4.0kmとしている。~~

第3章 無筋・鉄筋コンクリート

3-1. 配 合

1. 下記工種のコンクリートは、共通仕様書(参考資料) レディーミクストコンクリート標準使用基準の次の規格によるものとする。

工 種	区分番号	呼び強度	摘 要
床版・横組工	⑩-2	30-12-25	高炉

第2編 材料編

第1章 一般事項

1-1. 指定材料の確認

受注者は、下記の工事材料を使用する場合には、その外観及び品質規格証明書等を照合して確認した資料を事前に監督職員に提出し、監督職員の確認を受けなければならない。

区 分	確 認 材 料 名	摘 要
橋梁上部工製作	プレキャストセグメント桁	
支承工	ゴム支承	

1-2. 工事材料の確認

市が一括承認済みの資材については、承認図等の添付を省略することができる。一括承認済みの資材は発注担当部署にて確認すること。

1-3. 納入時の材料確認

使用材料は、納入された時点で必ずその品質や形状について適当なものか審査し、不良品は、返却等の処置を施すこと。検査時に不良品を発見した場合、撤去再設置等の手直しを指示する場合がある(例えば二次製品、路盤材料の入替えなど)。

第2章 土木工事材料

2-1. 再生資材の使用

工事に使用する再生資材は次表のとおりとする。

材料名	規格	使用箇所	摘要
—	—		

1. 再生クラッシャーランは、廃棄物であるコンクリート塊、アスファルトコンクリート塊を破碎、選別、混合物除去、粒土調整等を行うことにより再資源化された資材をいい、これら以外の材料(新材の碎石、ズリ、コンクリートを製造し破碎したもの等)が混合されていない状態のものをいう。
2. 下層路盤材、歩道路盤材に使用する再生碎石(RC-40)は下記の品質基準を満足するものとする。

・修正 CBR

下層路盤材 修正 CBR 値 40%以上

歩道路盤材 修正 CBR 値 20%以上

2-2. 購入主

~~購入主は、CBR12%以上とし監督職員の承諾を得なければならない。~~

2-3. セメント

工事に使用するセメントは、高炉セメント(JIS R5211)B 種とし、その種類については監督職員の承諾を得なければならない。

2-4. ~~セメントコンクリート製品等~~

~~本工事で使用する材料については、監督職員の承諾を得なければならない。~~

~~防音ゴム付側溝蓋を使用する場合は、防音ゴムの一部がコンクリート内に埋設されたアンカータイプを使用すること。鋼製溝蓋についても防音ゴムが容易にはがれないねじ式等を使用すること。~~

2-5. 建設資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。

また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督職員に提出するものとし、その費用について設計変更することとする。

資材名	規格	調達地域等
—	—	—

第3編 土木工事共通編

第1章 総則

1-1. 段階確認

共通仕様書 第3編 共通編 1-1-2 監督職員による確認・立会等により指定された工種に、次の工種を追加するものとする。

種別	細別	確認時期
横桁工	プレストレスト	導入完了時
〃	鉄筋探査	探査完了時

1-2. 工事中の安全確保

土木工事にあつては、共通仕様書 第 1 編 1-1-30 施工管理の規定に加え、以下の規定によらなければならない。請負者は、建設工事公衆災害防止対策要綱(国土交通省告示第 496 号、令和元年 9 月 2 日)を遵守して災害の防止を図らなければならない。なお、詳細については監督職員と協議を行うこと。

また、受注者は鶴岡警察署に申請する道路使用許可申請書の道路使用許可条件に従い、施工すること。

第2章 一般施工

2-1. ~~濁水処理~~

- ~~1. 舗装版切断時に発生する濁水等については、周囲に流出しないよう、排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとし、適正に処理を行わなければならない。なお、回収に要する費用は設計図書に含まれる。~~
- ~~2. 「適正に処理」する際には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者(受注業者)が産業廃棄物の処理を委託する際、排出事業者(受注業者)は、その責任において、適正な処理のために必要な廃棄物情報(成分や性状等)を把握し処理業者に提供することが必要である。~~

2-2. ~~舗装工~~

~~道路改良工事等において、排水構造物と接する舗装仕上げ面は、排水構造物天端より低くなつてはならない。~~

2-3. ~~瀝青材料の散布~~

~~プライムコートの使用量は1.2 L/m²を標準とする。~~

~~タックコートの使用量は0.4 L/m²を標準とする。~~

2-4. 工事現場の現場環境改善費

- 本工事は、工事の現場環境改善費を計上する工事である。
この現場環境改善とは、地域との積極的なコミュニケーションを図りつつ工事関係者の意識を高め、現場労働者の作業環境改善を行うものであり、受注者は、この趣旨を理解し発注者と協力しつつ地域との連携を図り、適正に工事の円滑な執行を実施しなければならない。
- 現場環境改善を行う内容は、下記の4計上費目ごとに1内容ずつ(いずれか1費目のみ2内容)の計5つの内容を選定のうえ、実施するものとする。
- 上記のほか熱中症・防寒対策を実施するものとし、費用については対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上にて設計変更の対象とする。なお積み上げによる費用は、率分で計上される額の80%を上限とし、設計変更時に費用を証明するもの(領収書等)を提出するものとする。

計上費目	実施する内容(率計上分)
設備関係	1. 昇降設備の充実 2. 環境対策の充実 3. ICT 設備の充実 4. 作業負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の充実 3. 現場休憩所の充実(交通誘導員待機室含む) 4. 衛生設備・厚生施設の充実
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設の充実 2. 盗難防止対策 3. 健康関連施設の充実 4. 野生生物・害虫対策
地域連携	1. 工法活動等(完成予想図、パンフレット、工法説明、PR看板等) 2. 見学会・イベント等の開催(見学施設等の設置・管理運営等含む) 3. 社会貢献・地域対策費等(地域行事等の経費含む) 4. 現場景観向上(美装化・デザイン看板等)

3. 受注者は、具体的な実施内容と実施時期を事前に監督職員と協議し、その結果を報告すること。
4. 以下の項目については、現場環境改善の内容に含まれないことから、実施にあたっては留意すること。
 - (1) 仮設関係:仮囲い、模様フェンス、仮歩道マット
 - (2) 営繕関係:デザインボックス、倉庫及び材料保管庫、監督員詰所、シャワー施設、ウォータークーラー、観葉植物、意見箱の設置
 - (3) 安全関係:バリケード、転落防止柵

2-5. 快適トイレの設置

1. 内容

受注者は、現場に以下の(1)～(11)の仕様を満たす快適トイレを設置することを原則とする。
 (12)～(17)については、満たしていればより快適に使用できると思われる項目であり、必須ではない。なお、快適トイレの手配が困難な場合は、監督職員と協議の上、本条項の対象外とする。

◆快適トイレに求める機能

- (1) 洋式(洋風)便器
- (2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置付き含む)
- (3) 臭い逆流防止機能
- (4) 容易に開かない施錠機能
- (5) 照明設備

(6) 衣類掛け等のフック、又は荷物の置ける棚等(耐荷重を5kg以上とする)

◆付属品として備え付けるもの

(7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示

(8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫

(9) サニタリーボックス

(10) 鏡と手洗器

(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

◆推奨する仕様と付属品

(12) 内寸法900×900mm以上(面積ではない)

(13) 擬音装置(機能を含む)

(14) 着替え台

(15) 臭気対策機能の多重化

(16) 室内温度の調整が可能な設備

(17) 小物置き場(トイレットペーパー予備置き場等)

2. 快適トイレに要する費用

快適トイレに要する費用について、当初設計では計上していない。

受注者は、上記1の内容を満たす快適トイレであることを示す資料を添付し、規格・基数等の詳細について監督職員と協議することとし、設計変更時に見積書を提出するものとする。上記(1)～(11)の費用については従来品相当額を差し引いた後、51,000円／基・月を上限に設計変更の対象とする。なお、設計変更数量の上限については、男女別で各1基ずつ2基／1工事(施工箇所)までとする。また、運搬費は、共通仮設費(率)に含むものとし、2基／1工事(施工箇所)よりも多く設置する場合や上限額を超える費用については、現場環境改善費(率)での支出を認めるものとして、別途計上は行わない。

第10編 道路編

第5章 コンクリート橋上部

5-1 設計照査

1. 受注者は設計図書について照査を行い、上部工の設計及び架設計画それぞれについて、監督職員に承諾事項及び変更事項、施工計画書の提出を行うものとする。

2. 承諾の手順は以下のとおりとする。

①受注者により照査を行い、以下により整理した一覧表を作成する。

・受注者の都合等による事項 → 承諾事項

・設計図の不備や制作上支障となる事項、監督職員の指示によるもの → 変更事項

②三者協議(発注者、受注者、設計者)により、承諾、変更事項の内容確認を行う。

③設計照査技術者は、主任技術者等が行う設計、施工計画等の照査及び承諾行為等計画立案について、客観的な立場からダブルチェックとしての照査を行う。

④受注者は以下を提出し、発注者は審査のうえ承諾の回答を行う。

- ・上部工設計：設計承諾願
- ・架設計画：施工計画書及び承諾願

3. 受注者は以下により図書等を整備するものとする(2部)

- ・承諾願(正本1部、参考様式－1)
 - ※ 承諾事項、変更事項を含めて便宜上「承諾願」として扱う。
- ・施工計画書(架設計画)
- ・承諾事項一覧表(参考様式－2)
- ・変更事項一覧表(参考様式－3)
- ・材料集計表(製作)… 承諾前、変更前を二重線で消し、黄色で着色。
承諾後を橙色マーカで着色。(字を橙色としても良い)
変更後を桃色マーカで着色。(字を赤色としても良い)
承諾と変更を別様としても良い。
- ・数量計算書(設計)… 材料集計表と同じ要領で作成。
- ・設計計算書(必要に応じ添付する)
- ・図面 … 材料集計表と同じ要領で作成。変更後は新図を用いても良い。

■参考様式－1(A4縦)

年 月 日 山形県鶴岡市長 殿 (受注者) 住 所 〇〇〇〇株式会社 〇 〇 〇 〇 〇〇橋の設計承諾について(架設計画及び承諾について) 〇〇橋の製作(架設)にあたり設計を照査した結果、別添の添付資料のとおり製作(施工)したいので承諾をお願いします。 記 添付書類 …… ……	照査確認 設計照査技術者 〇 〇 〇 〇 印
---	--

■参考様式－2(A4)

承諾事項一覧表

図 番	当初設計	承諾設計	理 由	コンサル意見

■参考様式－3(A4)

変更事項一覧表

図 番	当初設計	変更設計	理 由	コンサル意見

5－2 出来形

令和8年12月末日までの出来形は、下記を予定している。

材料購入	全 量 購 入
ゴム支承	製 作 完 了
桁 製 作	1本程度の完了

一般明示事項

一般明示事項

2-6. 提出書類

受注者は、建設工事請負契約約款第3条に規定する工程表を所定の様式に基づき作成し、監督職員を経由して発注者に提出しなければならない。

また、工事の一部を下請負に付する場合は、下請計画(変更)報告書を提出し、監督職員の承諾を得なければならない。承諾後は、施工体制台帳及び体系図を作成し、速やかに監督職員に提出しなければならない。

なお、下請計画(変更)報告書が提出されずに下請負業者が施工している場合は、工事の一時中止を命じる場合もありうる。

2-7. 施工計画書

受注者は、工事着手前に本工事の施工計画書を監督職員に提出しなければならない。

ただし、維持工事や小規模工事(請負金額130万円以下)においては監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。

また、施工計画書の内容に変更が生じた場合には、その都度変更施工計画書を監督職員に提出しなければならない。ただし、変更内容が数量のわずかな増減等の場合は、後日の提出で良いものとする。

2-8. 環境対策

当該工事を施工するにあたり、排出ガス対策型の建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械の使用ができない場合は、その理由を書面により監督職員に提出し承諾を得ること。なお、対策型を使用しない場合は、変更の対象とする。

また、工事写真により使用機械を判定するため、現場との整合が図れるように記録すること。

現場説明事項書

寿橋線寿橋上部工架設工事

[共通事項]

1. 現場説明事項書について

現場説明事項は、制約をうける当該工事に関する施工条件を明示することによって工事の円滑な執行に資することを目的としており、当該契約においてやむを得ず施工方法等について仮指定せざるを得ないもの、又は変更が予想されるもの、あるいは制約される工事工程等について現場説明参加業者が十分な見積りができるよう条件明示するものです。

[工事の施工関係]

2. グラウト配合については、監督職員の承諾を得るものとする。
3. PC 桁の架設は現道上から架設できるものと考えています。施工条件等に変更があった場合は対応方法について別途協議します。
4. 本橋梁の架設工法は、相吊り工法と考えています。なお、施工条件等に変更があった場合は対応方法について別途協議します。
5. 桁の組立は既設橋梁上で、敷鉄板を用いて施工するものとしています。なお、既設桁への影響等が考えられる場合は仮設方法を別途協議の上、設計変更の対象とします。
6. トラッククレーンの足場については、当初計上しておりません。設置方法を別途協議の上、設計変更の対象とします。
7. 架設作業やその他の理由により、河川内への作業足場等が必要になる場合は監督職員と協議を行うこととします（新たに河川内へ仮設物の設置が増工となる場合は河川協議が必要となります。なお、協議機関は約2ヶ月を見込んで下さい）。

[工程関係]

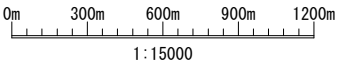
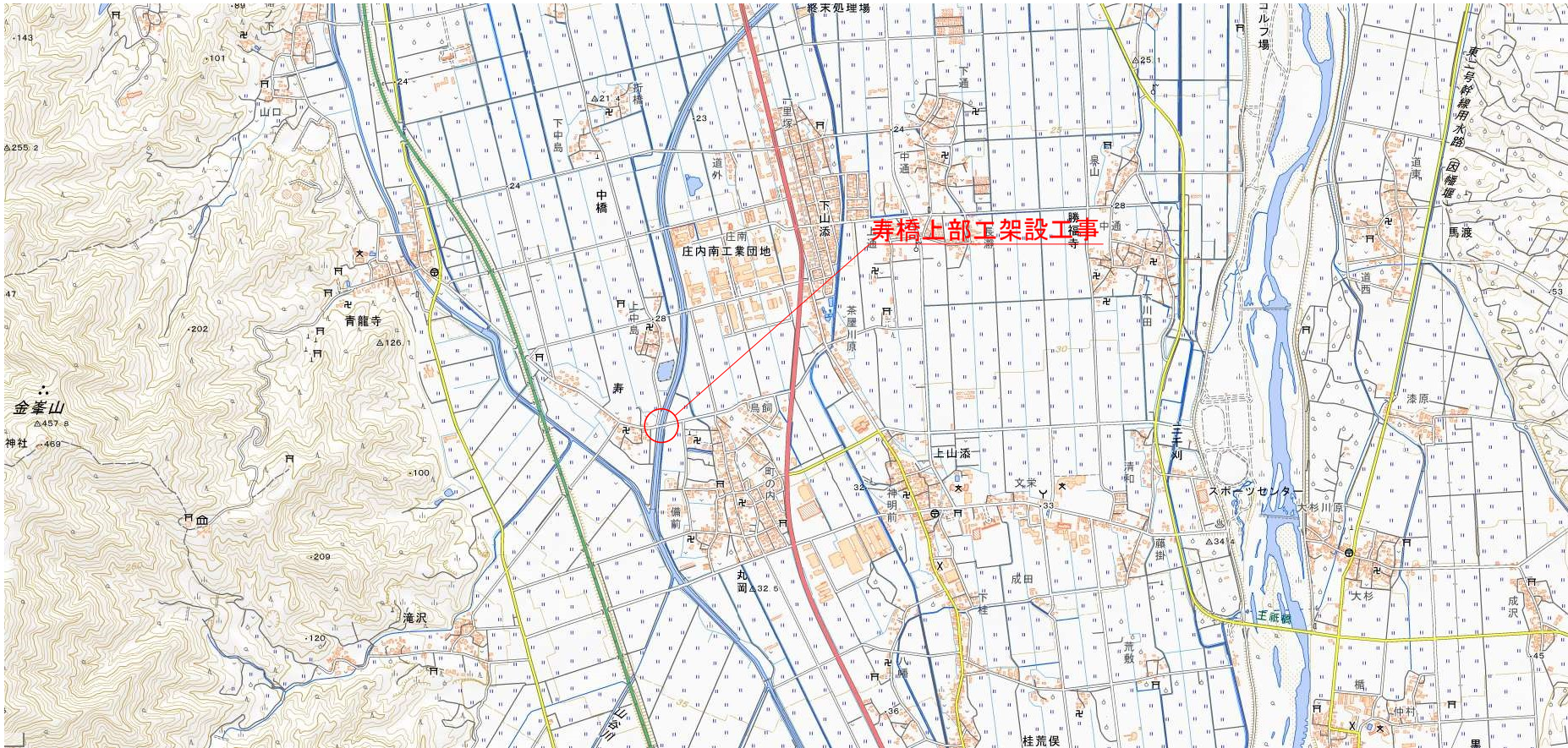
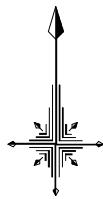
8. 河川協議は、河川管理者と協議済みです。なお、河川内の作業は非出水期の施工とします（非出水期：令和8年10月1日～令和9年3月31日までの間）。

[その他]

9. 当初、鉄筋探査に関わる費用は計上しておりません。必要となった場合は別途協議します。

- 10. クレーン架設時に支障となる架空線の移設については、12月中旬頃までに移設完了するものとして見積もってください（現在、管理者と協議中）。
- 11. 第三者が河川等への転落を防止するため、仮設ガードレール等の防護設備の設置が新たに必要となった場合は、別途協議します。

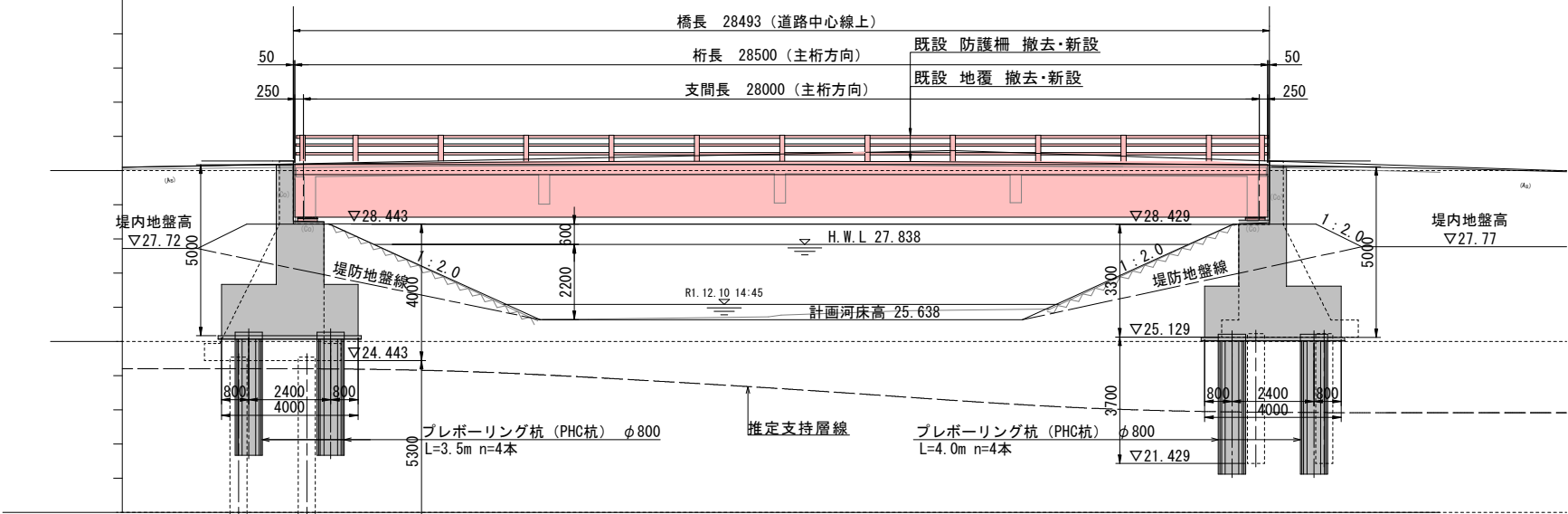
寿橋 位置図 S=1:15000



実 施				
令 和	8	年 度	図 番	20 葉 1
路線名又は河川名		市道寿橋線		
工事名		寿橋線寿橋上部工架設工事		
位 置		鶴岡市 寿 地内		
寿 橋 位 置 図				
縮 尺 図 示		鶴 岡 市		

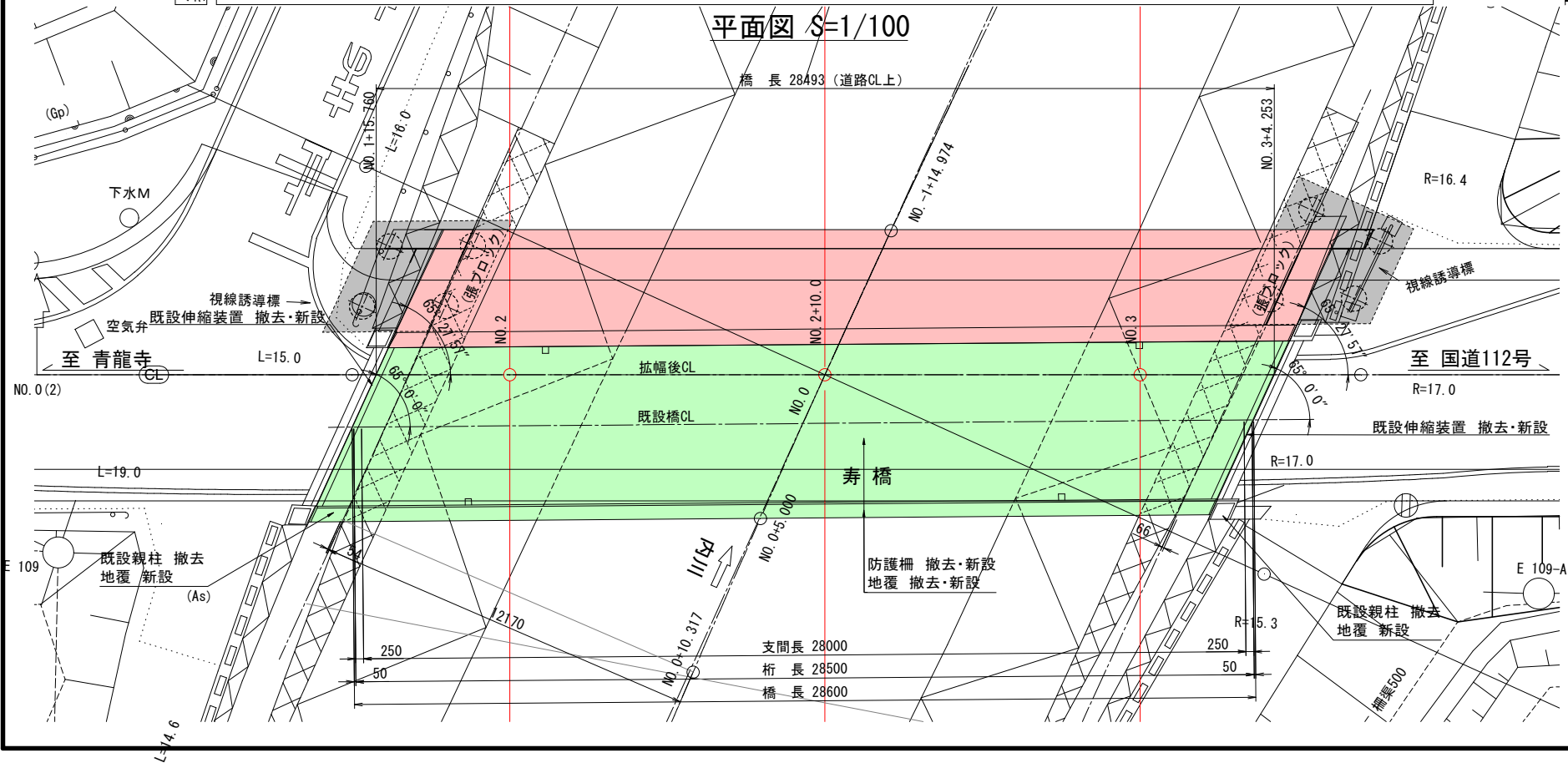
寿橋 橋梁全体一般図

側面図 S=1/100

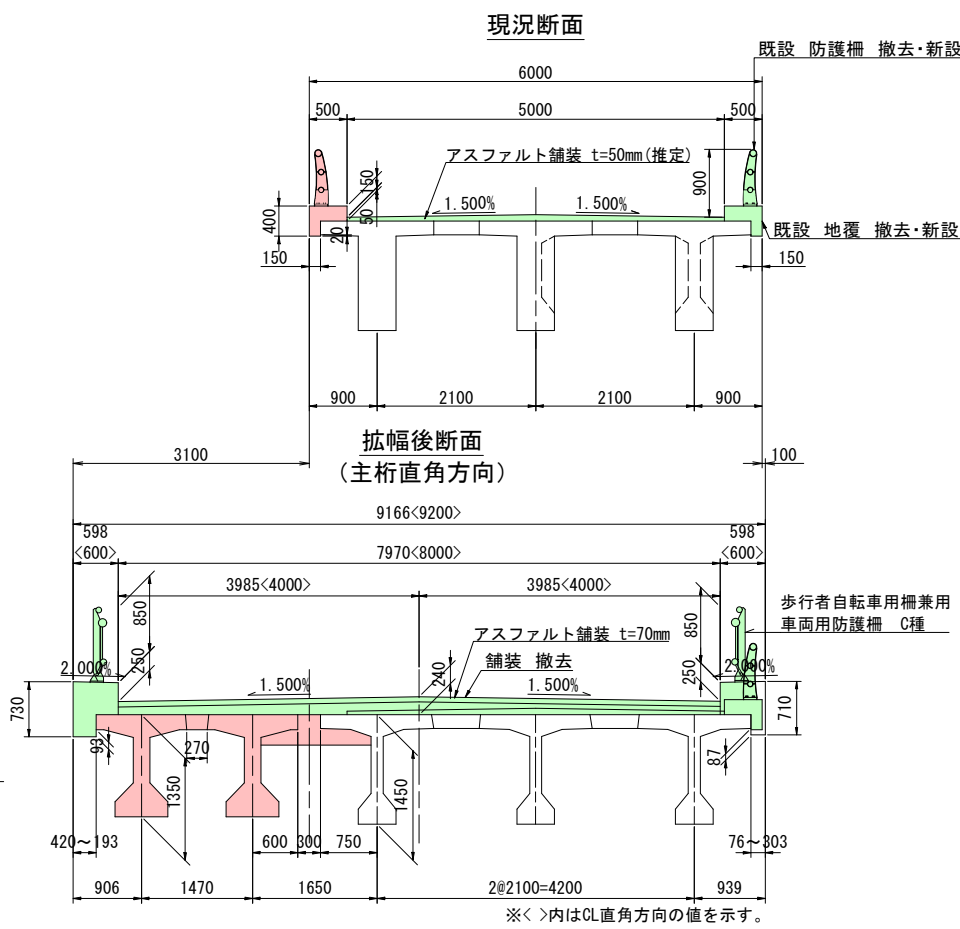


勾配		▽19.143	$i=2.024\%$ $L=35.000$	30.589	$i=3.288\%$ $L=45.000$
計画高				30.233	
地盤高				30.136	
追加距離				40.000	
単距離				20.000	
測点				NO.2	
曲線方向					
片勾配					
橋付図					
					L = 80.399

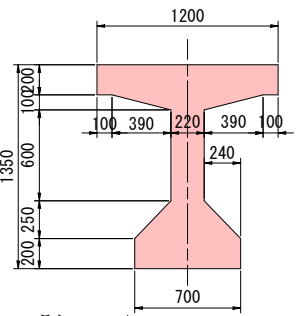
平面図 S=1/100



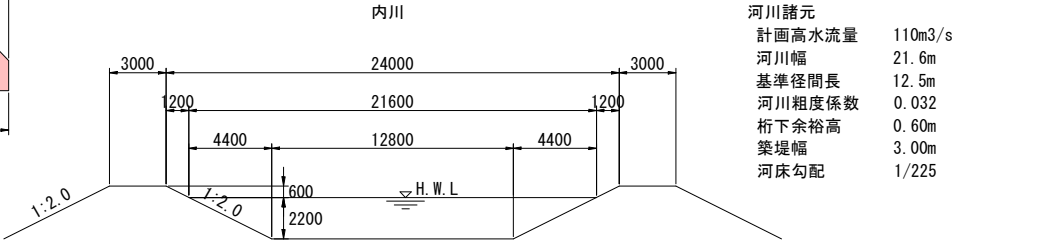
上部工断面図 S=1/50



拡幅部主桁詳細図 S=1/25



標準河川断面図 S=1/200



設計条件

路線名	市道 寿橋線
道路規格	第3種 第3級
設計速度	V=40km/h
活荷重	A活荷重
橋長	28.600m
桁長	28.500m
支間長	28.000m
幅員構成	8.000m
舗装	アスファルト舗装 t=70mm
横断勾配	1.5%拌み勾配
縦断勾配	$i=2.024\% \sim i=3.288\%$
斜角	65° 00' 00"
型式	PCボステンパルブT桁 (セグメント形式)
コンクリート強度	$\sigma_{ck}=50N/?$
PC鋼材	SWPR7B/12S12.7B
躯体形式	逆T式橋台
基礎形式	プレボーリング (PHC杭) $\phi 800$
コンクリート強度	$\sigma_{ck}=24N/?$
鉄筋強度	SD345
支承	ゴム支承
適用示方書	道路橋示方書 (H29, H24)

改修項目

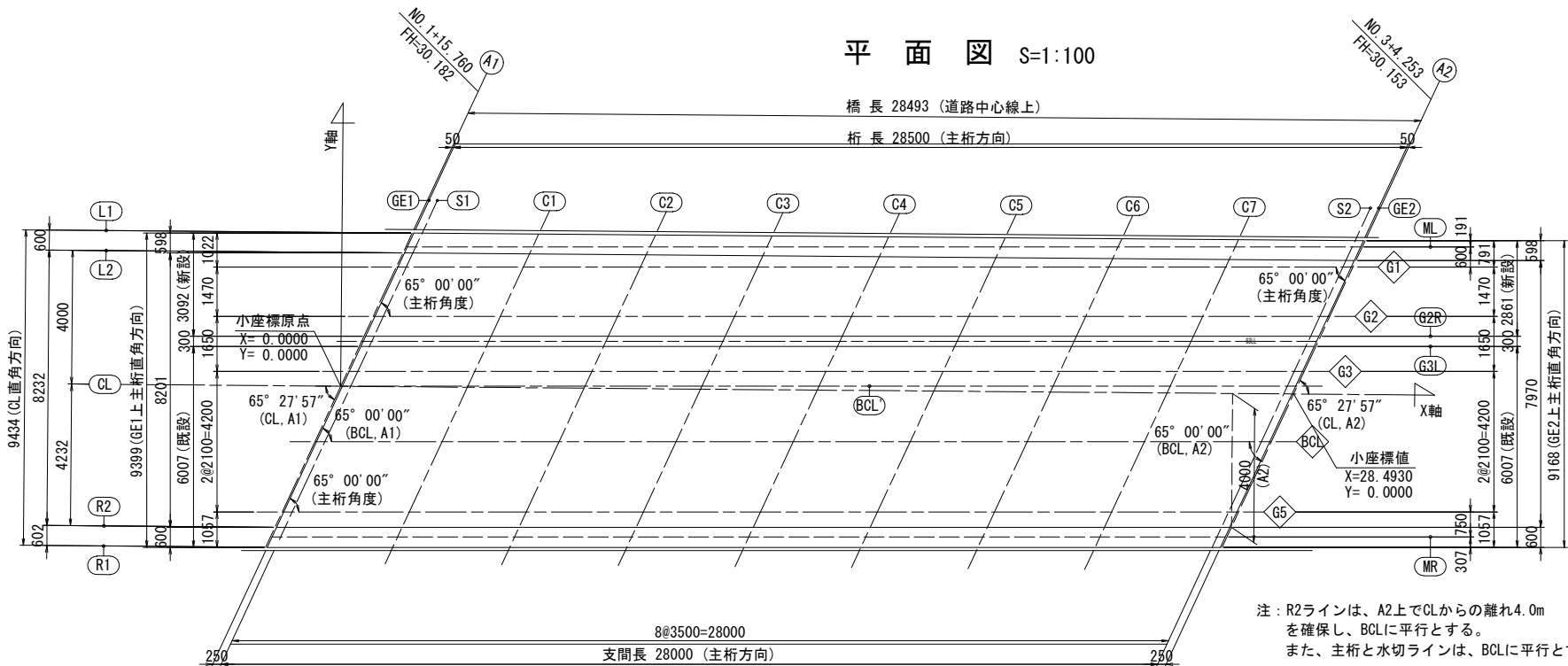
部位	改修項目
防護柵	撤去・新設
地覆	撤去・新設
伸縮装置	撤去・新設
舗装	撤去
親柱	撤去

実施

令和 8 年度		図 番		20 葉 2	
路線名又は河川名		市道寿橋線			
工事名		寿橋線寿橋上部工架設工事			
位 置		鶴岡市 寿 地内			
橋 梁 全 体 一 般 図					
縮 尺 図 示			鶴 岡 市		

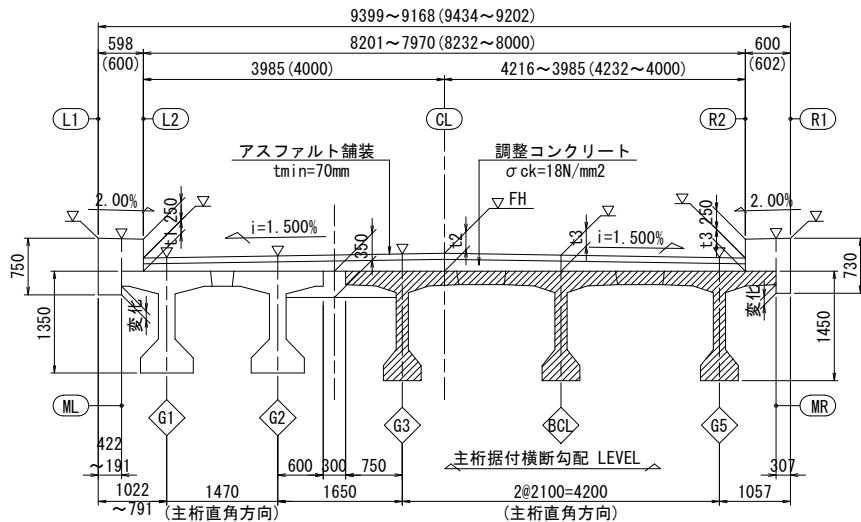
寿橋 線形図

平 面 図 S=1:100



注：R2ラインは、A2上でCLからの離れ4.0mを確保し、BCLに平行とする。
また、主桁と水切ラインは、BCLに平行とする。

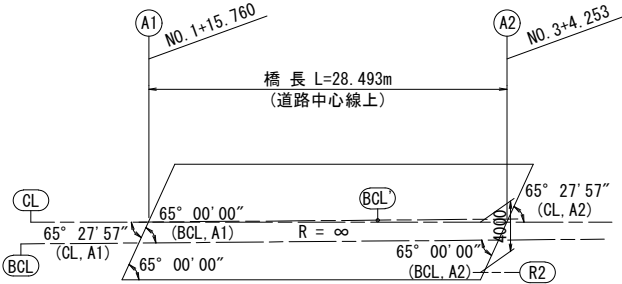
標 準 断 面 図 S=1:50



注：t1～t3 は、上部工構造一般図(その2)を参照する。
()内は、CL直角方向の値を示す。
斜線は、既設部を示す。

線 形 要 素 図 S=1:300

平 面 線 形

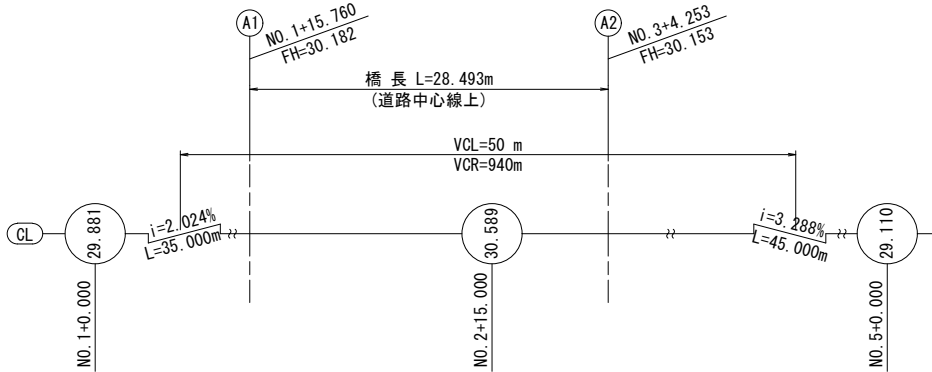


中心線の大座標値

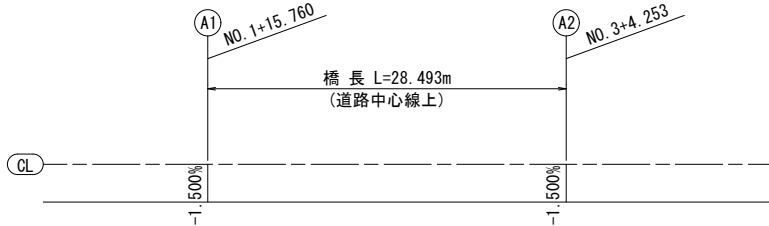
	測 点	X 座 標	Y 座 標	要 素
1EC1	NO. 0+19. 601	-145746. 653	-87359. 151	R = ∞
1NO. 5	NO. 5+ 0. 000	-145729. 917	-87280. 513	

※ BCLは 既設橋右側地覆内側ラインから2.5mの平行線
修復後地覆ラインR2は、A2上でのからの離れ4.0mを確保し、BCLに平行なラインとする

縦 断 勾 配



横 断 勾 配



線形条件

1. 下部構造の方向は、以下の通り。

A1橋台バラベット前面線 (A1) は、道路中心線 (CL) 上の NO. 1+15. 760 に於いて、
(CL) ラインに対し、左 65° 27' 57" で設定する。

A2橋台バラベット前面線 (A2) は、道路中心線 (CL) 上の NO. 3+4. 253 に於いて、
(A1) に平行で設定する。

2. 小座標の設定は、以下の通り。

小座標の原点は、道路中心線 (CL) と (A1) の交点とし、(CL) と (A2) の交点へ向かって X軸とする。

原点を通り、X軸に直交する直線をY軸とする。

各点の小座標値及び計画高表

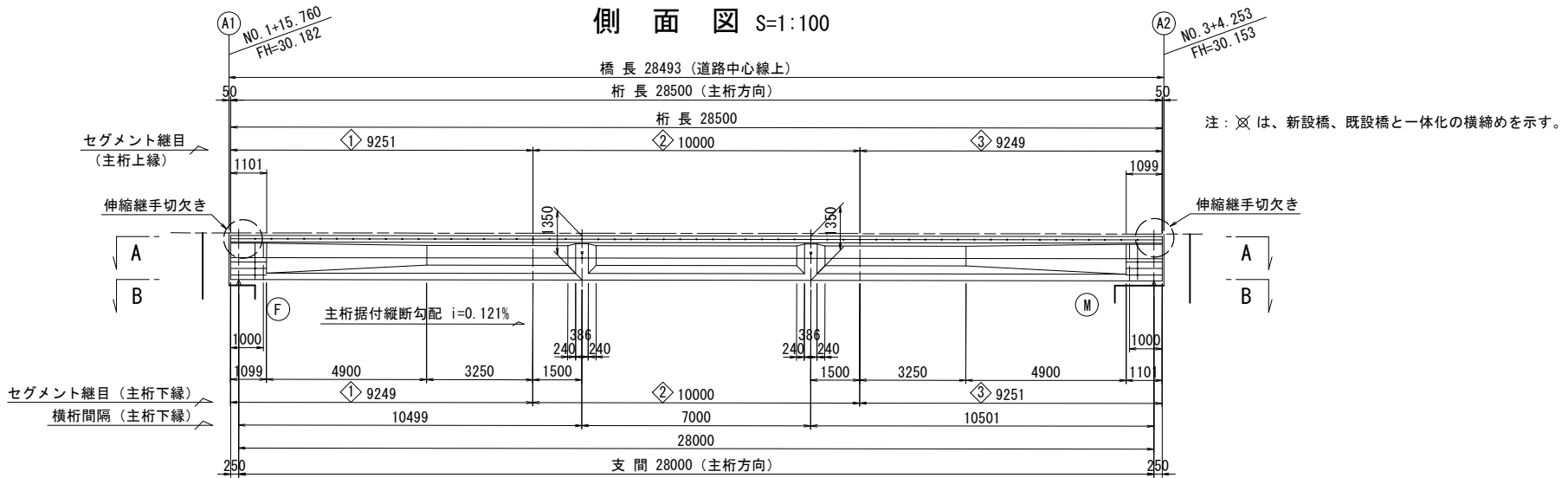
LINE CROSS		A1	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2	A2
L1	X	2. 0997	2. 1495	2. 3985	5. 8854	9. 3723	12. 8592	16. 3462	19. 8331	23. 3200	26. 8069	30. 2938	30. 5428	30. 5927
	Y	4. 6000	4. 6000	4. 6000	4. 6000	4. 6000	4. 6000	4. 6000	4. 6000	4. 6000	4. 6000	4. 6000	4. 6000	4. 6000
	Z	30. 4115	30. 4121	30. 4150	30. 4489	30. 4698	30. 4779	30. 4730	30. 4552	30. 4245	30. 3809	30. 3244	30. 3199	30. 3190
ML	X	1. 9063	1. 9563	2. 2063	5. 7062	9. 2061	12. 7060	16. 2059	19. 7058	23. 2057	26. 7056	30. 2055	30. 4555	30. 5055
	Y	4. 1765	4. 1769	4. 1789	4. 2073	4. 2358	4. 2643	4. 2927	4. 3212	4. 3496	4. 3781	4. 4065	4. 4085	4. 4089
	Z	30. 4007	30. 4013	30. 4043	30. 4396	30. 4618	30. 4711	30. 4673	30. 4505	30. 4207	30. 3779	30. 3222	30. 3177	30. 3168
L2	X	1. 8258	1. 8756	2. 1247	5. 6116	9. 0985	12. 5854	16. 0723	19. 5592	23. 0461	26. 5330	30. 0199	30. 2690	30. 3188
	Y	4. 0000	4. 0000	4. 0000	4. 0000	4. 0000	4. 0000	4. 0000	4. 0000	4. 0000	4. 0000	4. 0000	4. 0000	4. 0000
	Z	30. 1462	30. 1468	30. 1498	30. 1847	30. 2066	30. 2157	30. 2118	30. 1951	30. 1654	30. 1228	30. 0673	30. 0629	30. 0620
G1	X	1. 6314	1. 6814	1. 9314	5. 4313	8. 9312	12. 4311	15. 9310	19. 4309	22. 9308	26. 4307	29. 9306	30. 1806	30. 2306
	Y	3. 5742	3. 5746	3. 5766	3. 6051	3. 6335	3. 6620	3. 6904	3. 7189	3. 7474	3. 7758	3. 8043	3. 8063	3. 8067
	Z	30. 1502	30. 1508	30. 1538	30. 1891	30. 2114	30. 2206	30. 2169	30. 2001	30. 1704	30. 1276	30. 0719	30. 0674	30. 0665
G2	X	0. 9579	1. 0079	1. 2579	4. 7578	8. 2577	11. 7576	15. 2575	18. 7574	22. 2573	25. 7572	29. 2571	29. 5071	29. 5571
	Y	2. 0987	2. 0991	2. 1011	2. 1296	2. 1580	2. 1865	2. 2149	2. 2434	2. 2718	2. 3003	2. 3287	2. 3308	2. 3312
	Z	30. 1637	30. 1644	30. 1676	30. 2054	30. 2301	30. 2419	30. 2407	30. 2264	30. 1992	30. 1589	30. 1056	30. 1013	30. 1005
G3	X	0. 2020	0. 2520	0. 5020	4. 0019	7. 5017	11. 0016	14. 5015	18. 0014	21. 5013	25. 0012	28. 5011	28. 7511	28. 8011
	Y	0. 4425	0. 4429	0. 4449	0. 4734	0. 5018	0. 5303	0. 5587	0. 5872	0. 6156	0. 6441	0. 6725	0. 6746	0. 6750
	Z	30. 1784	30. 1791	30. 1825	30. 2231	30. 2506	30. 2652	30. 2668	30. 2554	30. 2309	30. 1935	30. 1430	30. 1389	30. 1381
CL	X	0. 0000	0. 0498	0. 2989	3. 7858	7. 2727	10. 7596	14. 2465	17. 7334	21. 2203	24. 7072	28. 1941	28. 4432	28. 4930
	Y	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000	0. 0000
	Z	30. 1822	30. 1829	30. 1864	30. 2280	30. 2567	30. 2726	30. 2755	30. 2655	30. 2426	30. 2067	30. 1580	30. 1540	30. 1532
BCL	X	-0. 7602	-0. 7102	-0. 4602	3. 0397	6. 5396	10. 0395	13. 5394	17. 0393	20. 5392	24. 0391	27. 5390	27. 7890	27. 8389
	Y	-1. 6654	-1. 6650	-1. 6630	-1. 6345	-1. 6061	-1. 5776	-1. 5492	-1. 5207	-1. 4923	-1. 4638	-1. 4354	-1. 4333	-1. 4329
	Z	30. 1462	30. 1469	30. 1506	30. 1957	30. 2277	30. 2467	30. 2527	30. 2457	30. 2257	30. 1926	30. 1466	30. 1428	30. 1421
G5	X	-1. 7223	-1. 6723	-1. 4223	2. 0776	5. 5775	9. 0774	12. 5772	16. 0771	19. 5770	23. 0769	26. 5768	26. 8268	26. 8768
	Y	-3. 7733	-3. 7729	-3. 7709	-3. 7424	-3. 7140	-3. 6855	-3. 6571	-3. 6286	-3. 6002	-3. 5717	-3. 5432	-3. 5412	-3. 5408
	Z	30. 0997	30. 1005	30. 1045	30. 1531	30. 1887	30. 2113	30. 2208	30. 2174	30. 2010	30. 1715	30. 1291	30. 1255	30. 1248
R2	X	-1. 9319	-1. 8819	-1. 6319	1. 8680	5. 3679	8. 8678	12. 3677	15. 8675	19. 3674	22. 8673	26. 3672	26. 6172	26. 6672
	Y	-4. 2325	-4. 2321	-4. 2301	-4. 2016	-4. 1732	-4. 1447	-4. 1162	-4. 0878	-4. 0593	-4. 0309	-4. 0024	-4. 0004	-4. 0000
	Z	30. 0895	30. 0903	30. 0943	30. 1437	30. 1800	30. 2034	30. 2138	30. 2111	30. 1955	30. 1668	30. 1251	30. 1216	30. 1209
MR	X	-2. 0659	-2. 0159	-1. 7659	1. 7339	5. 2338	8. 7337	12. 2336	15. 7335	19. 2334	22. 7333	26. 2332	26. 4832	26. 5332
	Y	-4. 5261	-4. 5257	-4. 5237	-4. 4952	-4. 4668	-4. 4383	-4. 4099	-4. 3814	-4. 3530	-4. 3245	-4. 2961	-4. 2940	-4. 2936
	Z	30. 3431	30. 3439	30. 3480	30. 3979	30. 4347	30. 4586	30. 4695	30. 4673	30. 4521	30. 4240	30. 3828	30. 3794	30. 3787
R1	X	-2. 2068	-2. 1568	-1. 9068	1. 5931	5. 0930	8. 5929	12. 0928	15. 5926	19. 0925	22. 5924	26. 0923	26. 3423	26. 3923
	Y	-4. 8347	-4. 8343	-4. 8323	-4. 8039	-4. 7754	-4. 7470	-4. 7185	-4. 6900	-4. 6616	-4. 6331	-4. 6047	-4. 6027	-4. 6023
	Z	30. 3469	30. 3478	30. 3519	30. 4023	30. 4397	30. 4640	30. 4754	30. 4738	30. 4592	30. 4315	30. 3909	30. 3875	30. 3868

実 施

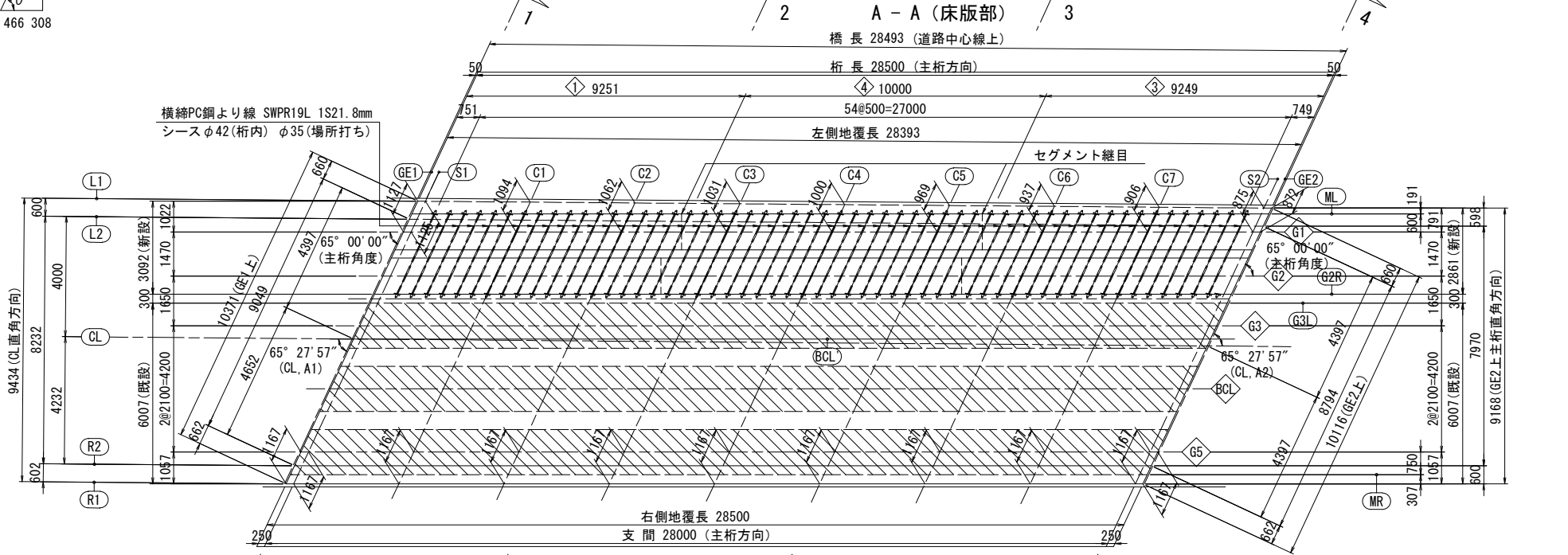
令和 8 年度	図 番	20 葉 3
路線名又は 河 川 名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋上部工架設工事	
位 置	鶴岡市 寿 地内	
寿 橋 線 形 図		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

寿橋 上部工構造一般図(その1)

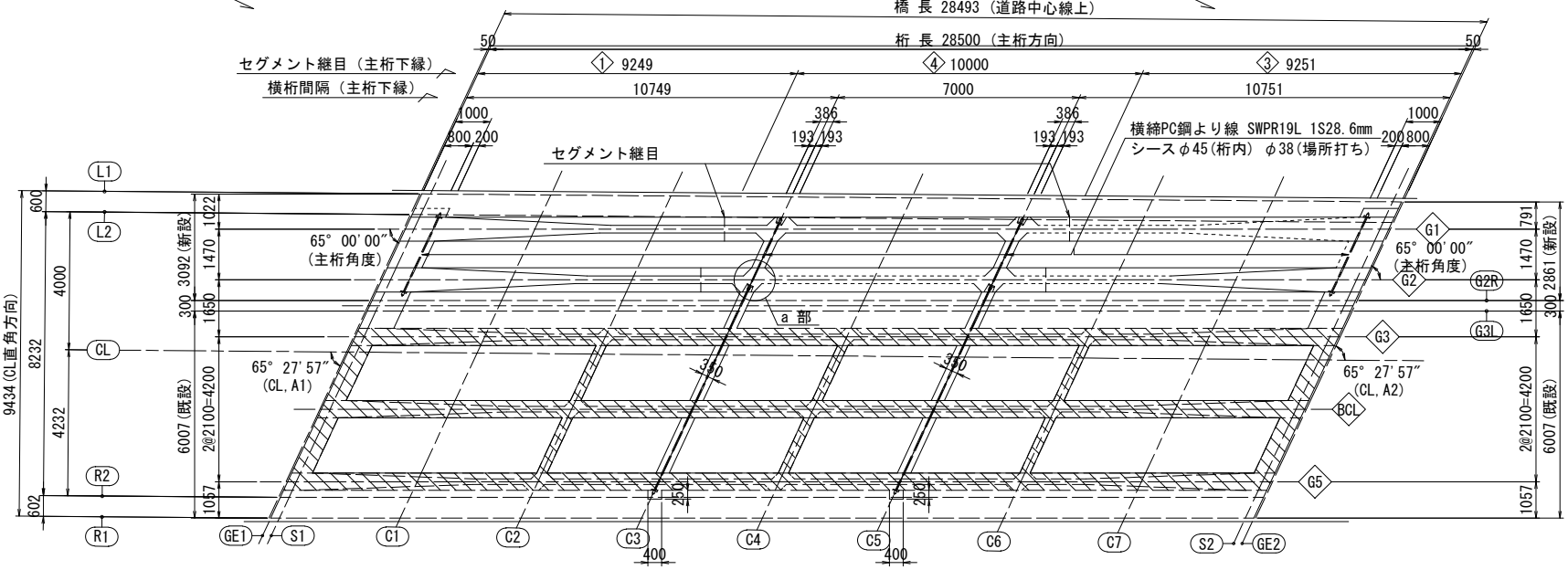
側面図 S=1:100



平面図 S=1:100



B - B (主桁 (横桁) 部)



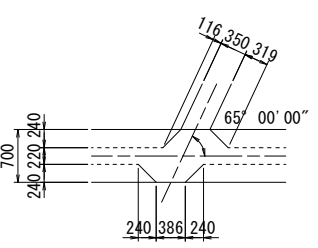
設計条件

種別	プレストレストコンクリート道路橋
形式	ポストテンション方式 PC単純T桁 (セグメント) 橋
橋長	28.493 m (道路中心線上)
桁長	28.500 m (主桁方向)
支間	28.000 m (主桁方向)
有効幅員	8.000m (車道) + α (拡幅)
斜角	左 65° 00' 00" (主桁角度)
活荷重	A活荷重

材料特性値及び制限値

		主 桁		場 所 打 ち	
コン ク リ ー ト	設 計 基 準 強 度		50. 0	30. 0	
	プレストレス 導 入 時 圧 縮 強 度		42. 5	25. 0	
	曲 げ 圧 縮 応 力 度 制 限 値	プレストレス導入直後	25. 00	14. 71	
		前 提 条 件	16. 00	11. 00	
		耐 荷 性 能	24. 00	16. 50	
		耐 久 性 能	16. 00	11. 00	
	曲 げ 引 張 応 力 度 制 限 値	プレストレス導入直後	1. 87	1. 31	
		前 提 条 件	0. 00	0. 00	
		耐 荷 性 能	3. 10	2. 20	
		耐 久 性 能	1. 80	1. 20	
	コンクリートが負担できる 平均せん断応力度	基 本 値	0. 44	0. 37	
最 大 値		6. 00	4. 00		
斜 引 張 応 力 度 制 限 値	前提条件	せん断 or ねじり	1. 20	0. 80	
		せん断 + ねじり	1. 50	1. 10	
	耐荷性能	せん断 or ねじり	2. 60	1. 70	
		せん断 + ねじり	3. 10	2. 20	
	耐久性能	せん断 or ねじり	2. 30	1. 70	
		せん断 + ねじり	2. 80	2. 20	
P C 鋼 材	呼 称 径		主 桁	床版	横桁
			SWPR7BL 12S12. 7mm	SWPR19L 1S21. 8mm	SWPR19L 1S28. 6mm
	引 張 強 度		1850	1830	1780
	降 伏 点 応 力 度		1580	1580	1510
	引 張 応 力 度 制 限 値	導 入 時	1422	1422	1359
		導 入 直 後	1295	1281	1246
		有効 (耐荷性能)	1202	1189	1157
		有効 (耐久性能)	1110	1098	1068
	種 別		SD345		
	鉄 筋	引 張 応 力 度 最 大 値	一 般	210	
耐 久 性 (疲労)			180		
引 張 応 力 度 制 限 値		床版部 耐久性 (防食)	100		
		床版部 耐久性 (疲労)	120		
降 伏 点 応 力 度		345			

a 部詳細図 S=1:50

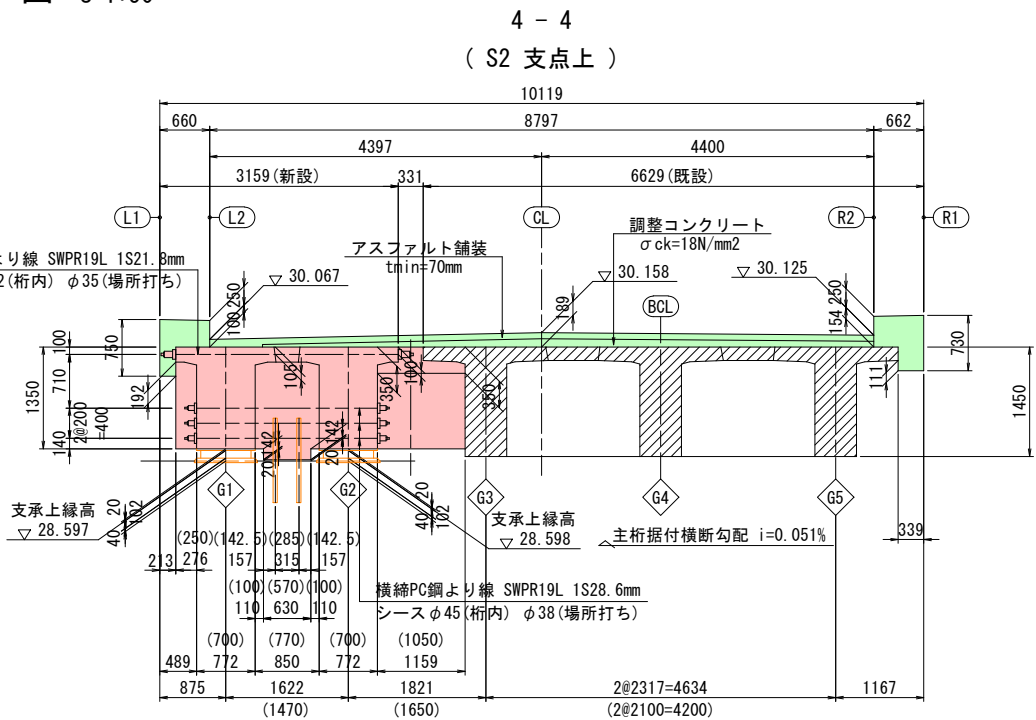
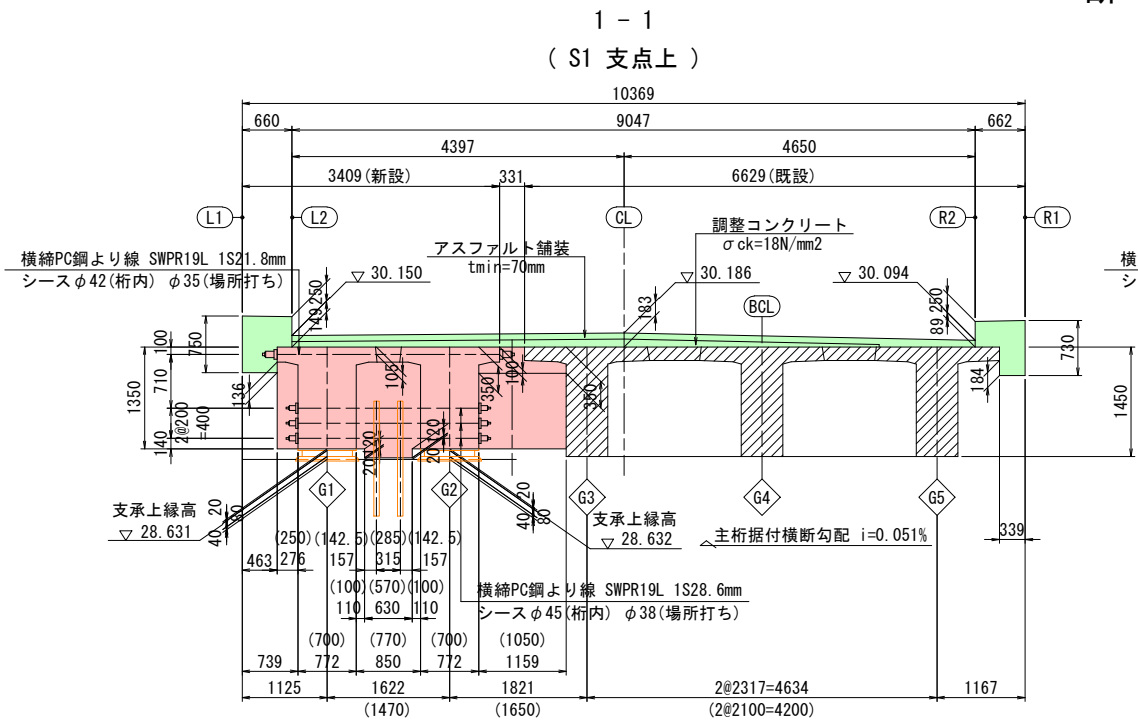


実施

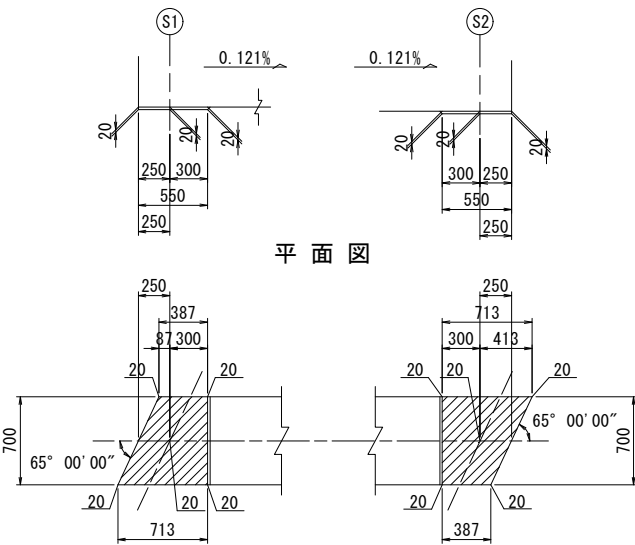
令和 8 年度	図 番	20 葉 4
路線名又は河川名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋上部工架設工事	
位 置	鶴岡市 寿 地内	
上部工構造一般図（その 1）		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

寿橋 上部工構造一般図(その2)

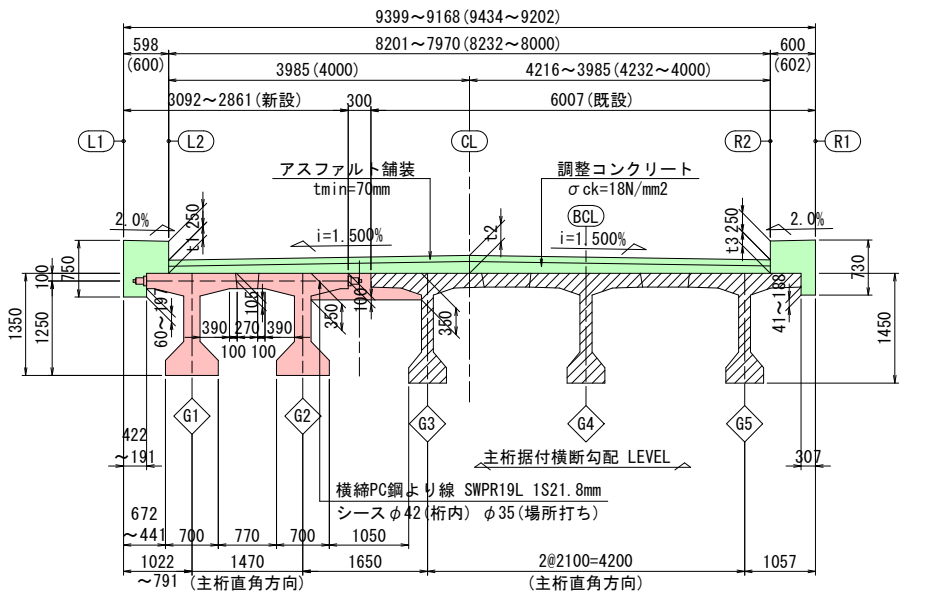
断面図 S=1:50



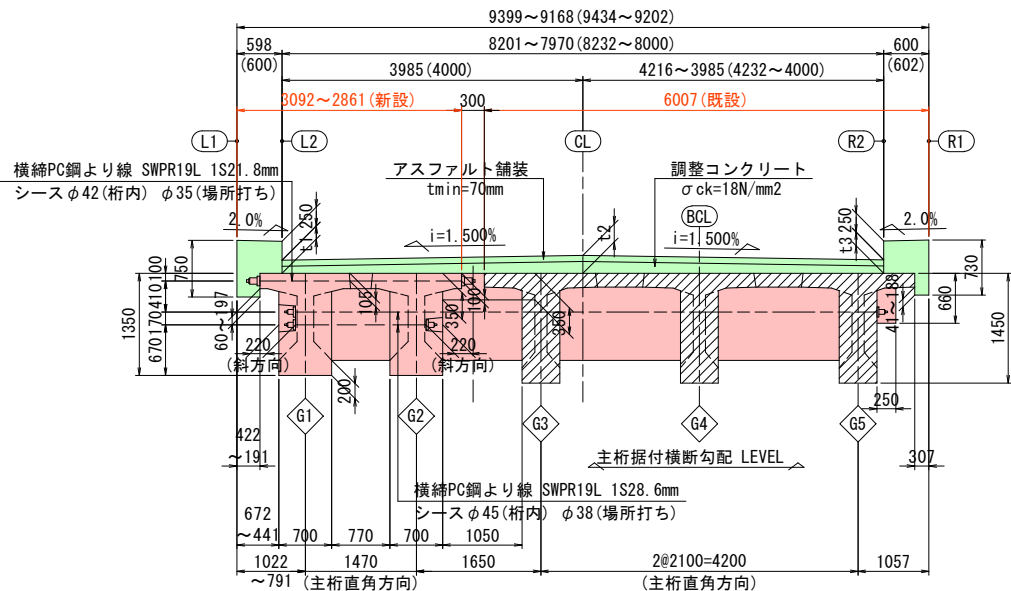
レアー詳細図 S=1:30
側面図



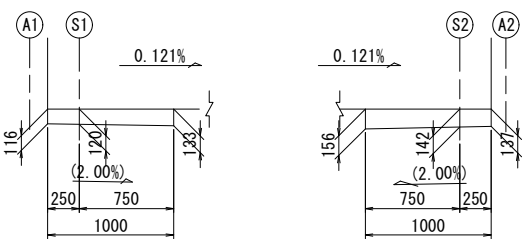
2 - 2
(標準部)



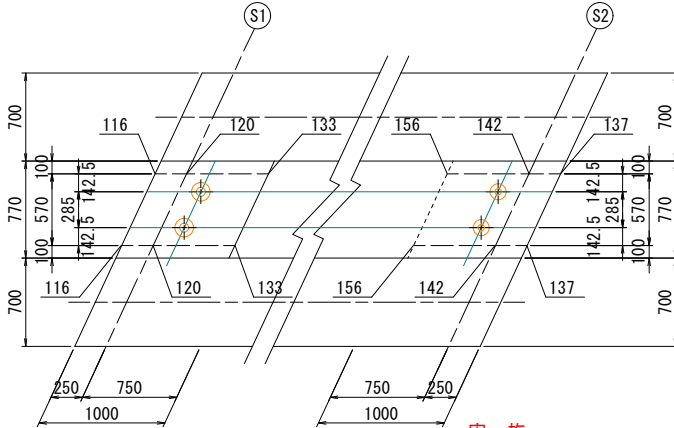
3 - 3
(中間横桁部)



打下し詳細図 S=1:30
側面図



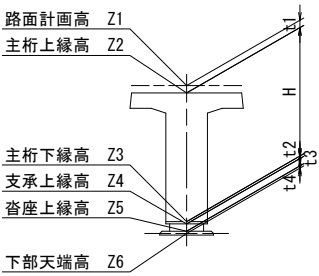
平面図



実施

舗装厚及び地覆高表

	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	S2	GE2
t1 (L2上)	146	149	188	214	227	228	215	190	152	100	96
t2 (CL上)	179	183	229	262	282	289	283	265	233	189	185
t3 (R2上)	84	89	142	183	211	225	227	215	191	154	150



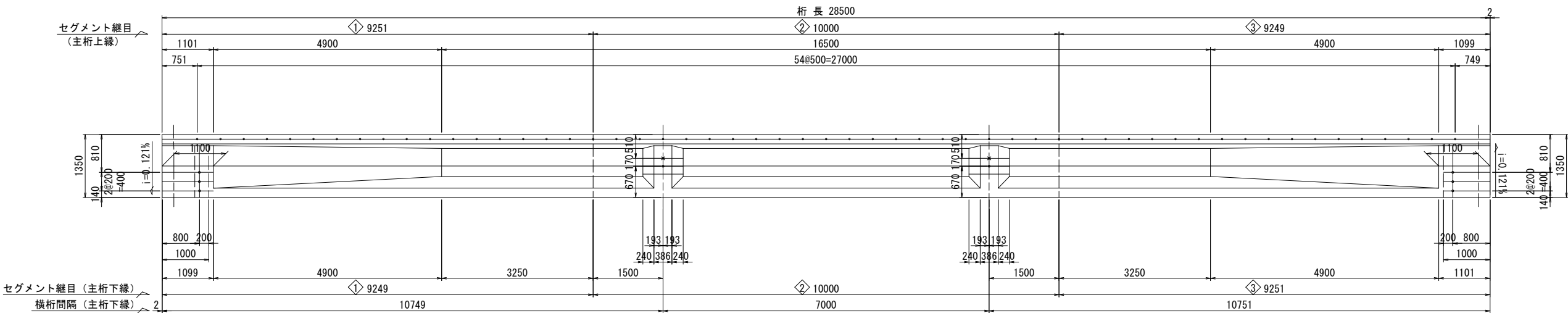
支承部構造高表

		A1 橋台			A2 橋台		
		S1 支点上: 固定			S2 支点上: 可動		
		G1	G2	CL	G1	G2	CL
路面計画高	Z1	30.154	30.168	30.186	30.072	30.106	30.158
舗装厚	t1	0.153	0.166	0.183	0.105	0.138	0.189
主桁上縁高	Z2	30.001	30.002	30.003	29.967	29.968	29.969
桁高	H	1.350	1.350	1.350	1.350	1.350	1.350
主桁下縁高	Z3	28.651	28.652	28.653	28.617	28.618	28.619
レアー厚	t2	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020	0.020
支承上縁高	Z4	28.631	28.632	28.633	28.597	28.598	28.599
支承厚	t3	0.080	0.080	0.080	0.102	0.102	0.102
沓座上縁高	Z5	28.551	28.552	28.553	28.495	28.496	28.497
沓座モルタル厚	t4	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040	0.040
下部天端高	Z6	28.511	28.512	28.513	28.455	28.456	28.457

寿橋 上部工構造一般図(その3)

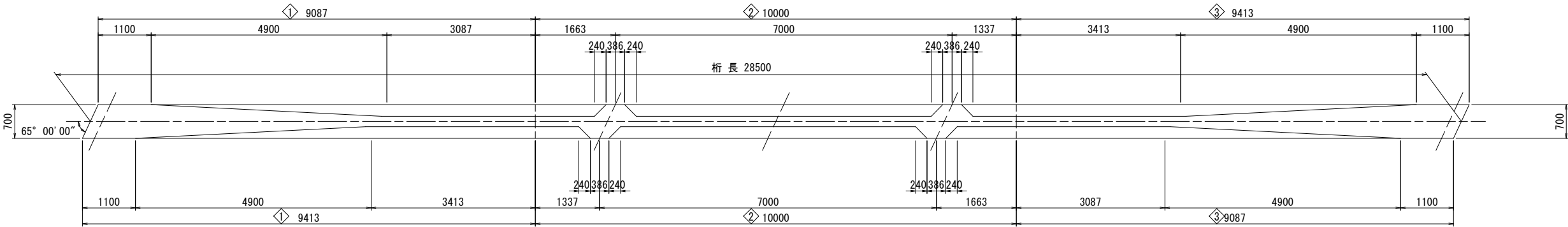
主桁形状図 S=1:50

側面図



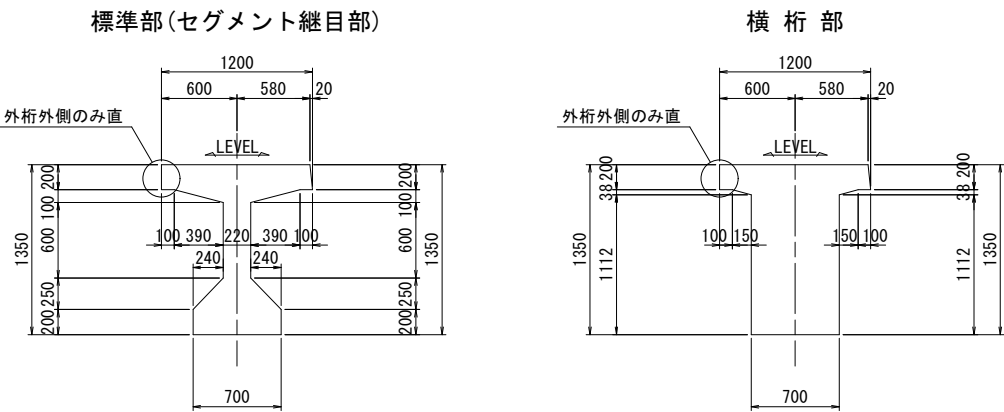
注：⌘ は、新設橋、既設橋と一体化の横締めを示す。

平面図



注：上記平面図寸法は、桁高中心位置での値を示す。

主桁断面図 S=1:30



伸縮切欠き図 S=1:30



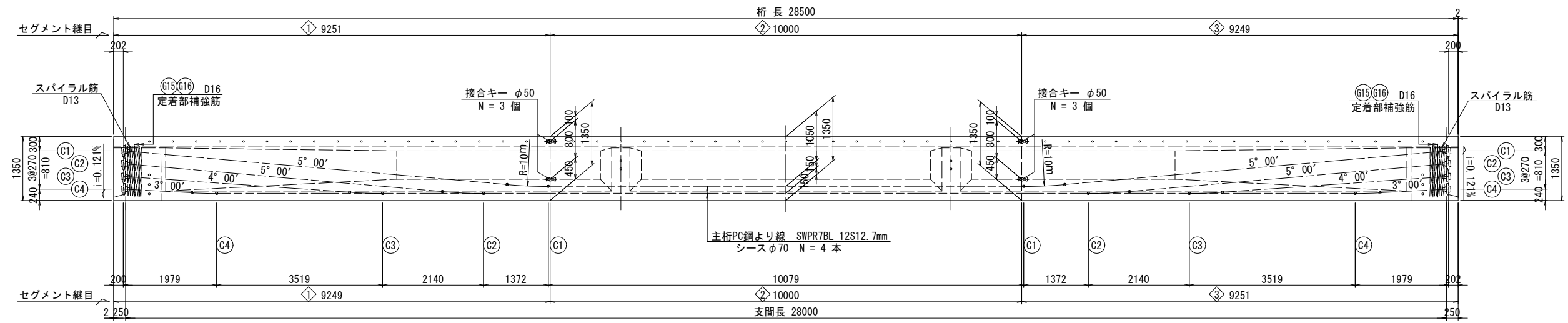
注：()内は、バラベツト直角方向の値を示す。
また、主桁製作時に伸縮装置アンカー筋を埋め込むこと。

実施

令和 8 年度	図 番	20 葉 6
路線名又は河川名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋上部工架設工事	
位 置	鶴岡市 寿 地内	
上部工構造一般図（その3）		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

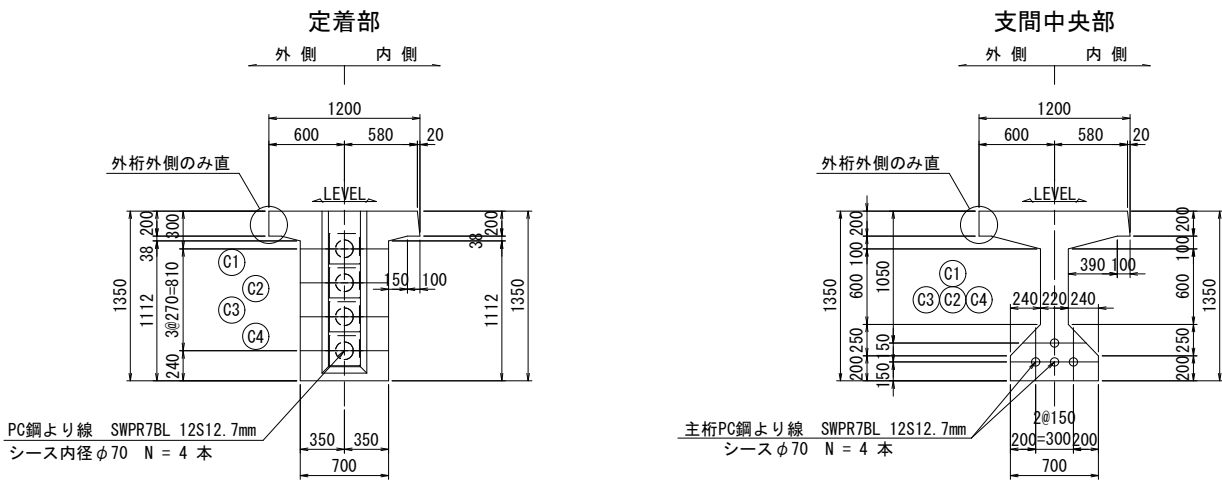
寿橋 PC鋼材配置図

側面図 S=1:50

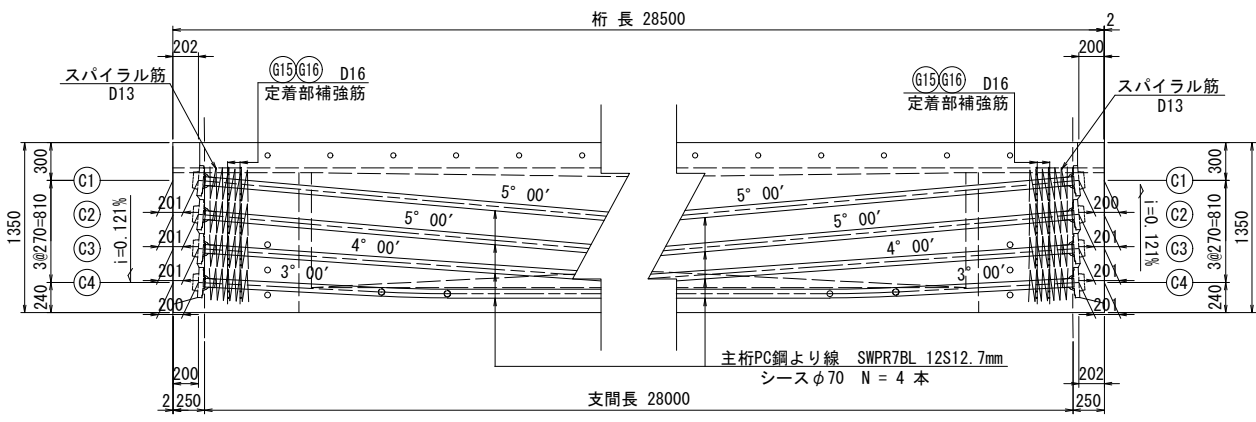


注:曲げ半径は、全てR=10mとする。

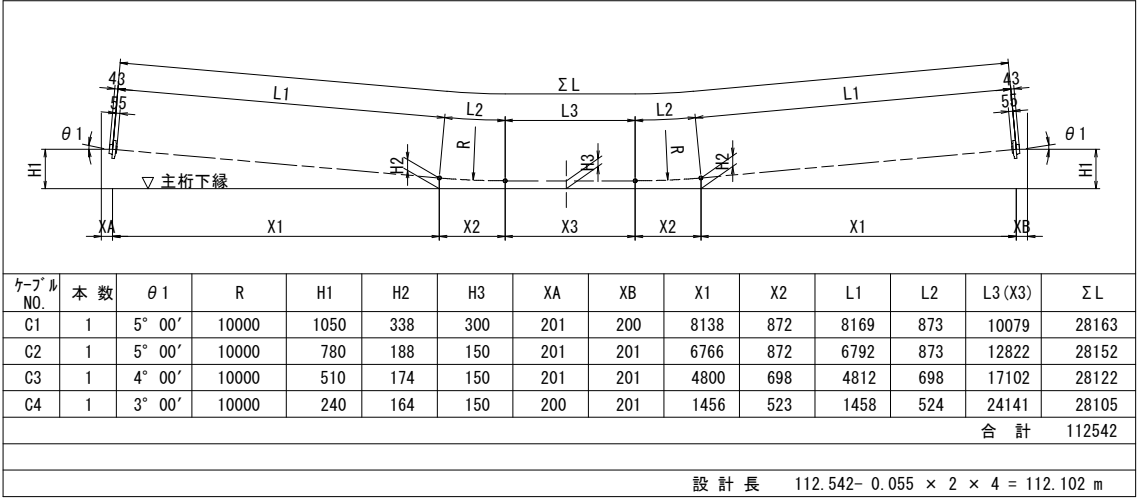
断面図 S=1:30



定着部詳細図 S=1:30

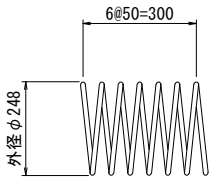


ケーブル形状図 (SWPR7BL 12S12.7mm)



スパイラル筋 S=1:10

12S12.7mm 用
(D13x4799)

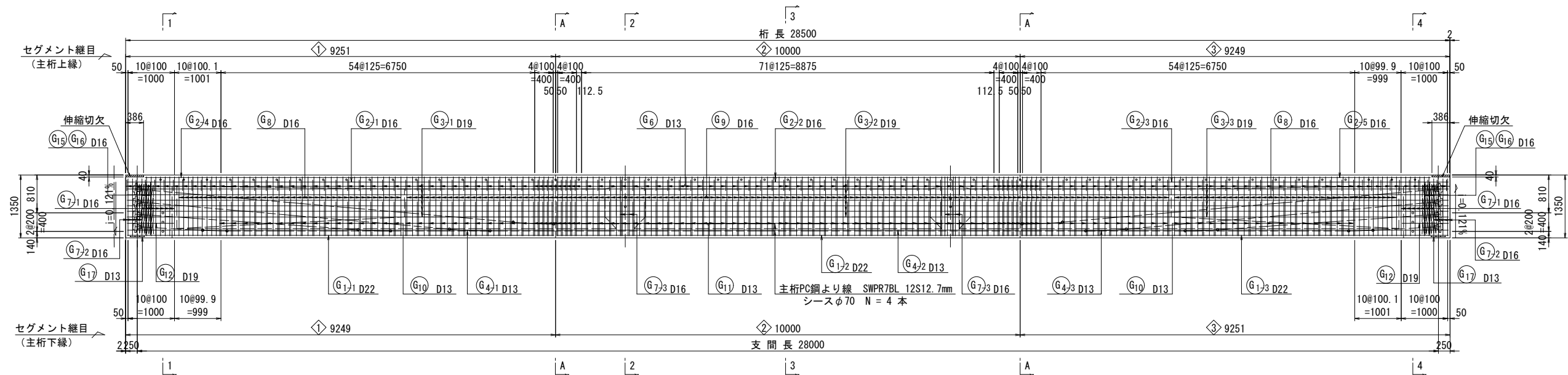


実施

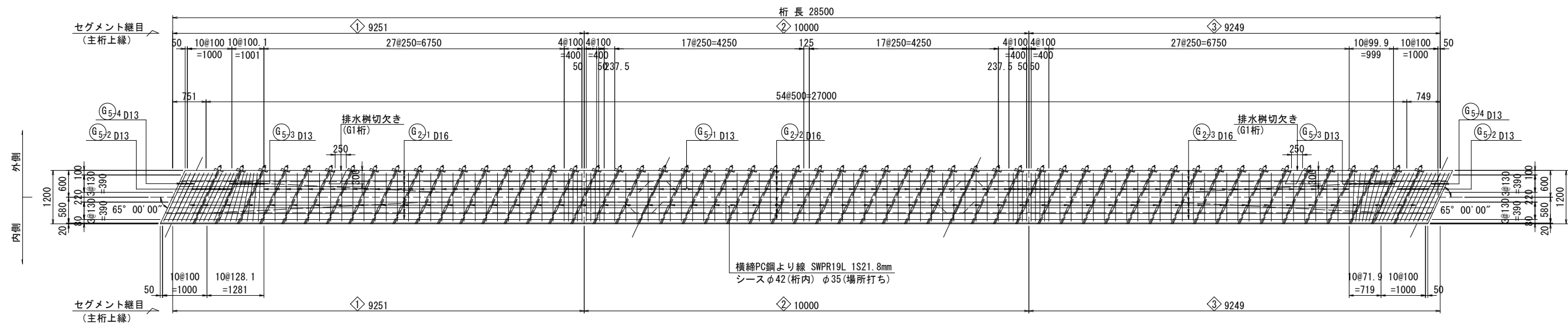
令和 8 年度	図 番	20 葉 7
路線名又は河川名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋上部工架設工事	
位置	鶴岡市 寿 地内	
P C 鋼材配置図		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

寿橋 主桁配筋図 (その1)

側 面 図 S=1:50

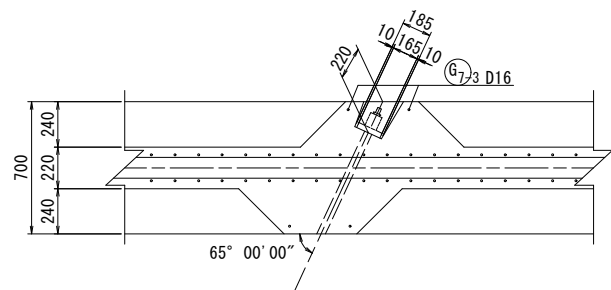


平 面 図 S=1:50



注) 横締シースと鉄筋が干渉する場合は、
横締シースを避けて鉄筋を配置すること。
排水樹と主桁が干渉する場合は、適切に処理すること。

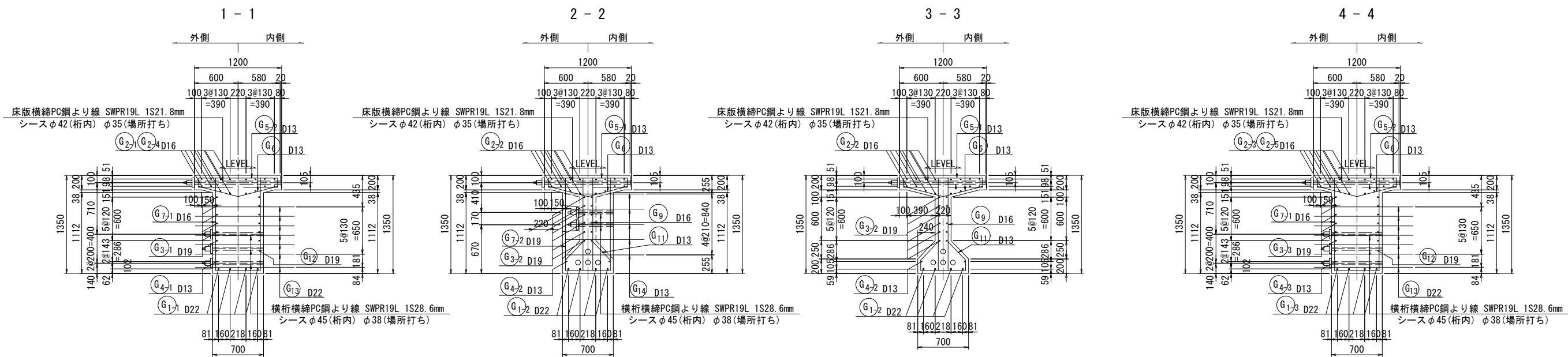
ダイヤフラム部詳細図 S=1:20



実 施				
令 和	8	年 度	図 番	20 葉 8
路線名又は 河 川 名		市道寿橋線		
工 事 名		寿橋線寿橋上部工架設工事		
位 置		鶴岡市 寿 地内		
主桁配筋図（その1）				
縮 尺 図 示			鶴 岡 市	

寿橋 主桁配筋図 (その2)

断面図 S=1:30

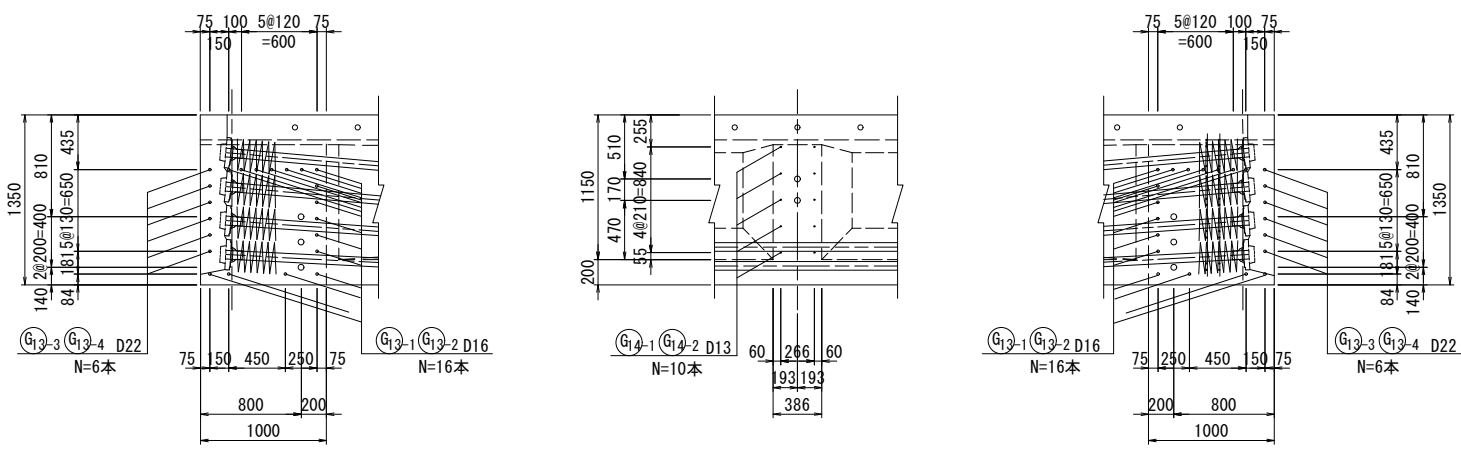


横桁差し筋図 S=1:30

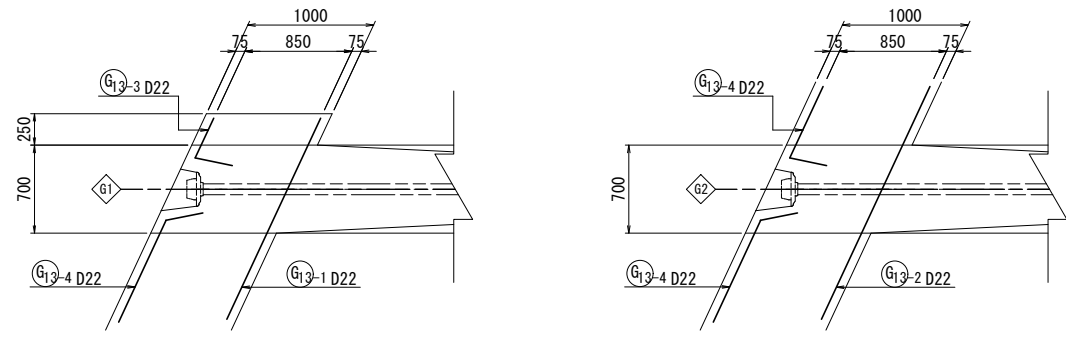
側面図
中間横桁部

A2側 端支点横桁部

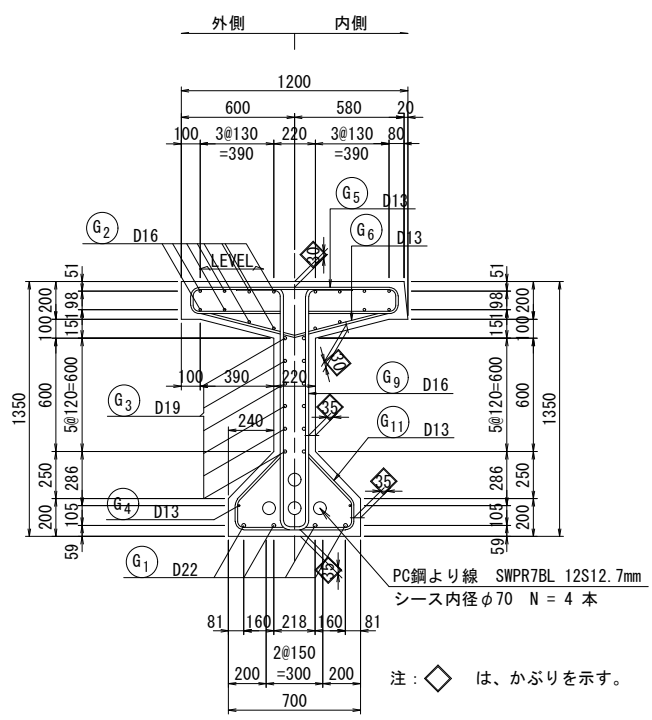
A1側 端支点横桁部



平面図



主桁断面詳細図 S=1:20



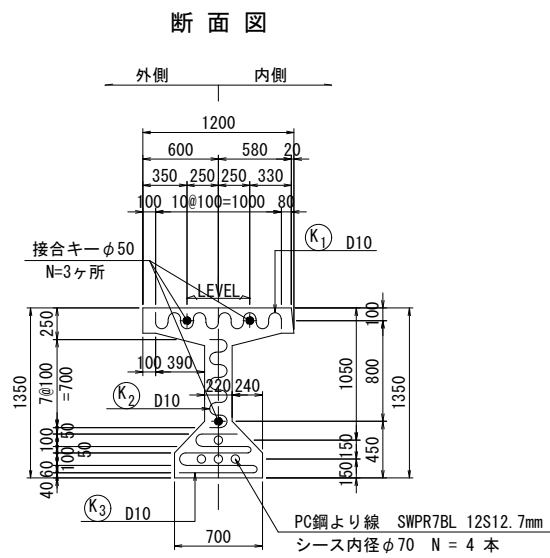
注: ◇ は、かぶりを示す。

実 施				
令 和	8	年 度	図 番	20 葉 9
路線名又は 河 川 名		市道寿橋線		
工 事 名		寿橋線寿橋上部工架設工事		
位 置		鶴岡市 寿 地内		
主桁配筋図（その2）				
縮 尺 図 示		鶴 岡 市		

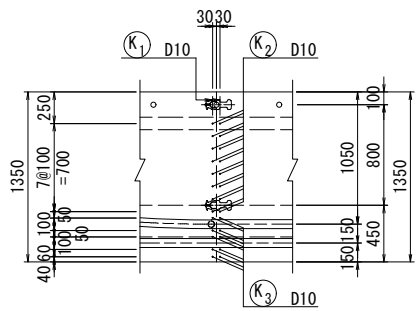
寿橋 主桁配筋図（その3）

セグメント継目部詳細図 S=1:30

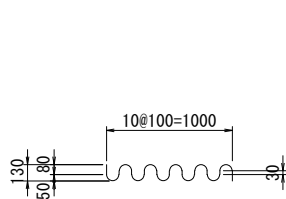
A - A



側面図

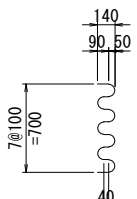


鉄筋加工図 S=1:30



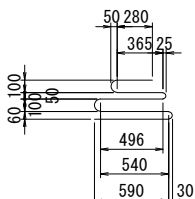
(K₁) N - D10 × 2000

N (セグメント別)		
①	②	③
1	2	1



(K₂) N - D10 × 1520

N (セグメント別)		
①	②	③
1	2	1



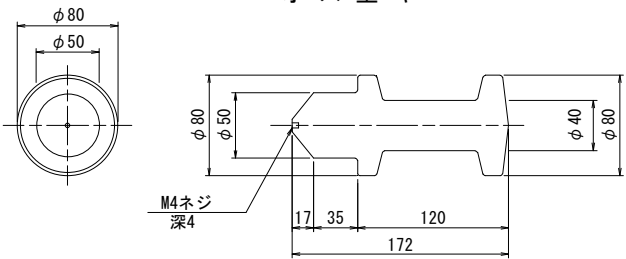
(K₃) N - D10 × 2760

N (セグメント別)		
①	②	③
1	2	1

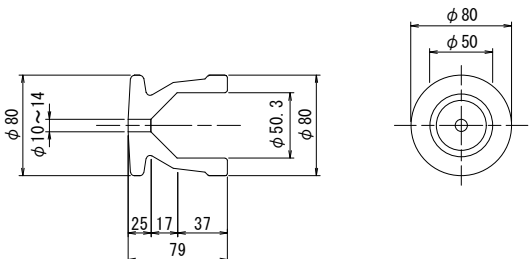
接合キー詳細図 S=1:3

(φ50mm型)

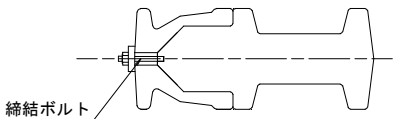
オス型キー



メス型キー



桁製作時



材料表 (主桁1本当たり)

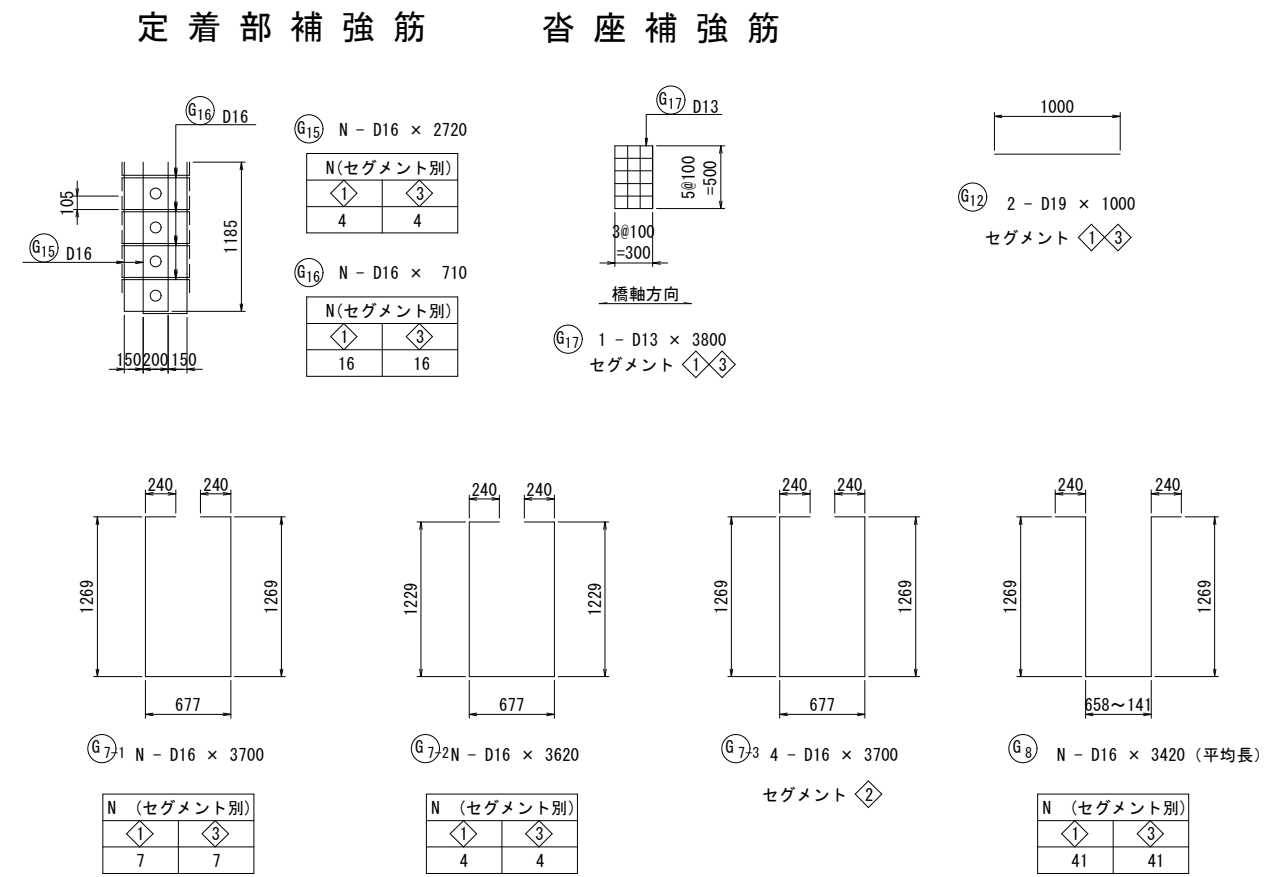
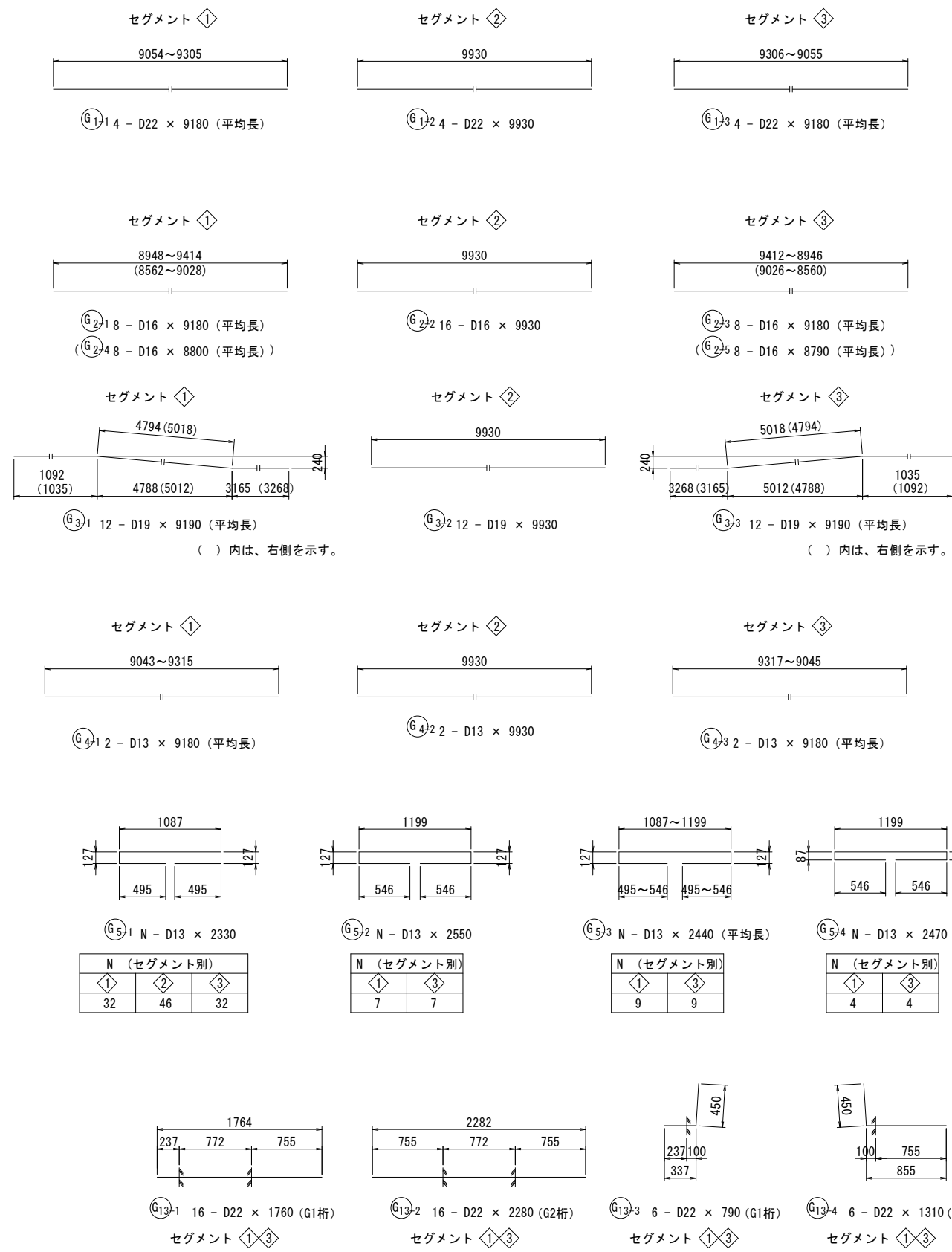
名 称	数 量 φ50mm型	材 質
キー (オス型)	6	FCD450
キー (メス型)	6	FCD450
ボルトナット M4	6	SS400
スプリングワッシャー	12	
座 金	6	ナイロン樹脂

実 施

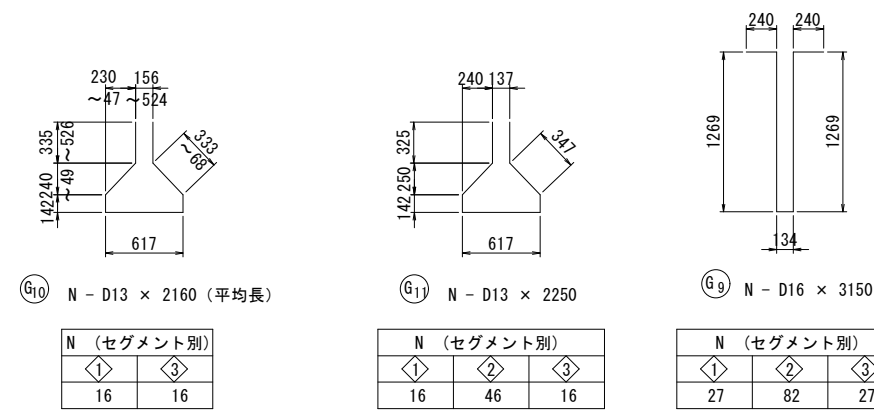
令和 8 年度	図 番	20 葉 10
路線名又は河川名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋上部工架設工事	
位 置	鶴岡市 寿 地内	
主桁配筋図（その3）		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

寿橋 主桁配筋図（その4）

鉄筋加工図 S=1:30



注：主ケーブルシースとスターラップが干渉する場合は、スターラップ形状を適切に見直すこと。



実 施			
令和 8 年度	図 番	20 葉 11	
路線名又は河川名	市道寿橋線		
工事名	寿橋線寿橋上部工架設工事		
位 置	鶴岡市 寿 地内		
主桁配筋図（その4）			
縮 尺 図 示	鶴 岡 市		

寿橋 主桁配筋図 (その5)

鉄筋表

符 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
セグメント							
G1-1	D22	9180	4	3.04	27.91	112	— (平均長)
2-1	D16	9180	8	1.56	14.32	115	— (平均長)
2-4	"	8800	8	"	13.73	110	— (平均長)
3-1	D19	9190	12	2.25	20.68	248	— (平均長)
4-1	D13	9180	2	0.995	9.13	18	— (平均長)
5-1	"	2330	32	"	2.32	74	≡≡
5-2	"	2550	7	"	2.54	18	≡≡
5-3	"	2440	9	"	2.43	22	≡≡ (平均長)
5-4	"	2470	4	"	2.46	10	≡≡
6	"	1120	42	"	1.11	47	∩
7-1	D16	3700	7	1.56	5.77	40	□
7-2	"	3620	4	"	5.65	23	□
8	"	3420	41	"	5.34	219	∩ (平均長)
9	"	3150	27	"	4.91	133	∩
10	D13	2160	16	0.995	2.15	34	∩ (平均長)
11	"	2250	16	"	2.24	36	∩
12	D19	1000	2	2.25	2.25	5	—
13-1	D22	1760	16	3.04	5.35	86	≡≡
13-2	"	2280	16	"	6.93	111	≡≡
13-3	"	790	6	"	2.40	14	≡≡
13-4	"	1310	6	"	3.98	24	≡≡
13-4	"	1310	12	"	3.98	48	≡≡
15	D16	2720	4	1.56	4.24	17	□
16	"	710	16	"	1.11	18	□
17	D13	3800	1	0.995	3.78	4	■
K1	D10	2000	1	0.56	1.12	1	=====
2	"	1520	1	"	0.85	1	≡
3	"	2760	1	"	1.55	2	≡
				G1桁		G2桁	
				D22	236 kg	271 kg	
				D19	253 kg	253 kg	
				D16	675 kg	675 kg	
				D13	263 kg	263 kg	
				D10	4 kg	4 kg	
				合計	1431 kg	1466 kg	

符 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
◇ セグメント							
G1-2	D22	9930	4	3.04	30.19	121	—
2-2	D16	9930	16	1.56	15.49	248	—
3-2	D19	9930	12	2.25	22.34	268	—
4-2	D13	9930	2	0.995	9.88	20	—
5-1	"	2330	46	"	2.32	107	≡
6	"	1120	46	"	1.11	51	∪
7-3	D16	3700	4	1.56	5.77	23	□
9	"	3150	82	"	4.91	403	∪
11	D13	2250	46	0.995	2.24	103	∪
14	"	1350	20	"	1.34	27	⊥ G1桁
14	"	1820	20	"	1.81	36	⊥ G2桁
K1	D10	2000	2	0.56	1.12	2	~~~~~
2	"	1520	2	"	0.85	2	∩
3	"	2760	2	"	1.55	3	≡
				G1桁		G2桁	
				D22	121 kg	121 kg	
				D19	268 kg	268 kg	
				D16	674 kg	674 kg	
				D13	308 kg	317 kg	
				D10	7 kg	7 kg	
				合計	1378 kg	1387 kg	

鉄筋質量集計

	G1桁	G2桁
D22	593 kg	663 kg
D19	774 kg	774 kg
D16	2024 kg	2024 kg
D13	834 kg	843 kg
D10	15 kg	15 kg
合計	4240 kg	4319 kg

注1: コンクリート強度 $\sigma_{ck} = 50 \text{ N/mm}^2$
鉄筋材質は、全て SD345 とする。
注2: 主桁端部には、伸縮装置埋込み鉄筋を配筋する。
注3: G1桁には、地覆埋込み鉄筋を配置する。

符 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)	摘 要
③ セグメント							
G1-3	D22	9180	4	3.04	27.91	112	— (平均長)
2-3	D16	9180	8	1.56	14.32	115	— (平均長)
2-5	〃	8790	8	〃	13.71	110	— (平均長)
3-3	D19	9190	12	2.25	20.68	248	— (平均長)
4-3	D13	9180	2	0.995	9.13	18	— (平均長)
5-1	〃	2330	32	〃	2.32	74	≡
5-2	〃	2550	7	〃	2.54	18	≡
5-3	〃	2440	9	〃	2.43	22	≡ (平均長)
5-4	〃	2470	4	〃	2.46	10	≡
6	〃	1120	42	〃	1.11	47	∨
7-1	D16	3700	7	1.56	5.77	40	□
7-2	〃	3620	4	〃	5.65	23	□
8	〃	3420	41	〃	5.34	219	∩ (平均長)
9	〃	3150	27	〃	4.91	133	∩
10	D13	2160	16	0.995	2.15	34	∪ (平均長)
11	〃	2250	16	〃	2.24	36	∪
12	D19	1000	2	2.25	2.25	5	—
13-1	D22	1760	16	3.04	5.35	86	≡
13-2	〃	2280	16	〃	6.93	111	≡
13-3	〃	790	6	〃	2.40	14	≡
13-4	〃	1310	6	〃	3.98	24	≡
13-4	〃	1310	12	〃	3.98	48	≡
15	D16	2720	4	1.56	4.24	17	□
16	〃	710	16	〃	1.11	18	∩
17	D13	3800	1	0.995	3.78	4	■
K1	D10	2000	1	0.56	1.12	1	≡
2	〃	1520	1	〃	0.85	1	≡
3	〃	2760	1	〃	1.55	2	≡
				G1桁		G2桁	
				D22	236 kg	271 kg	
				D19	253 kg	253 kg	
				D16	675 kg	675 kg	
				D13	263 kg	263 kg	
				D10	4 kg	4 kg	
				合計	1431 kg	1466 kg	

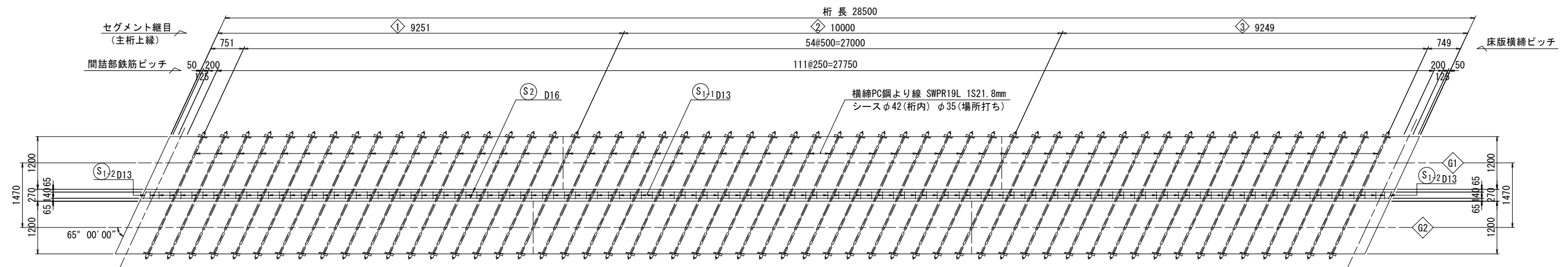
实施

令和	8年度	図番	20葉12
路線名又は 河川名	市道寿橋線		
工事名	寿橋線寿橋上部工架設工事		
位置	鶴岡市 寿 地内		
主桁配筋図（その5）			
縮尺	図示	鶴岡市	

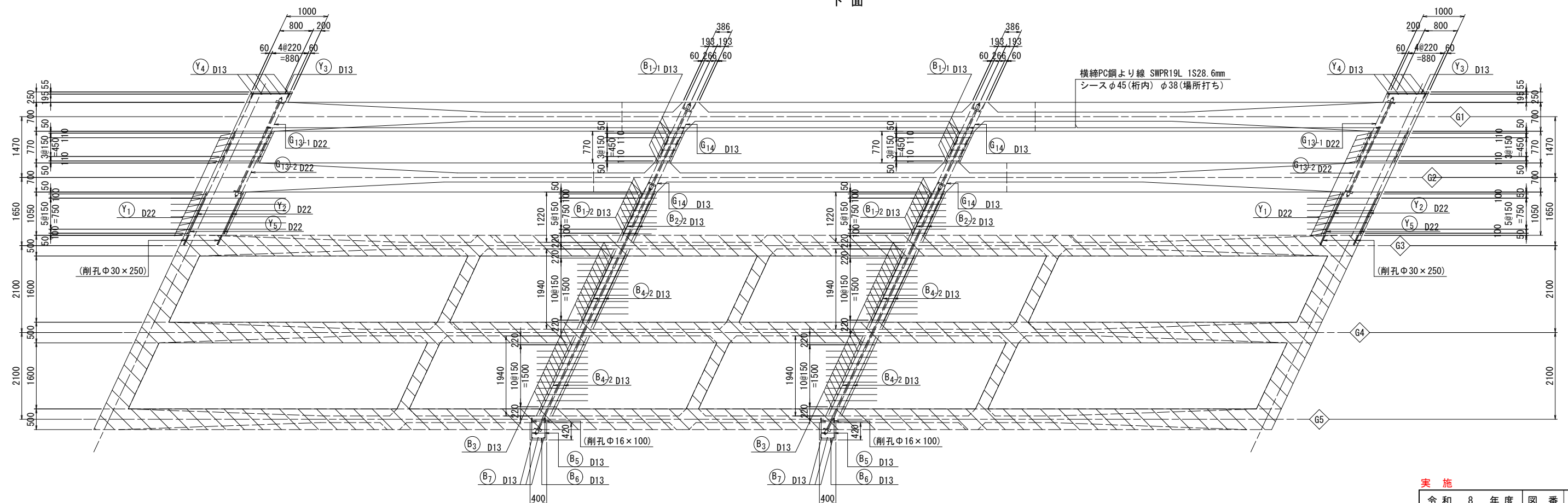
寿橋 床版・横桁配筋図 (その1)

平面图 S=1:50

上面



下面



实施

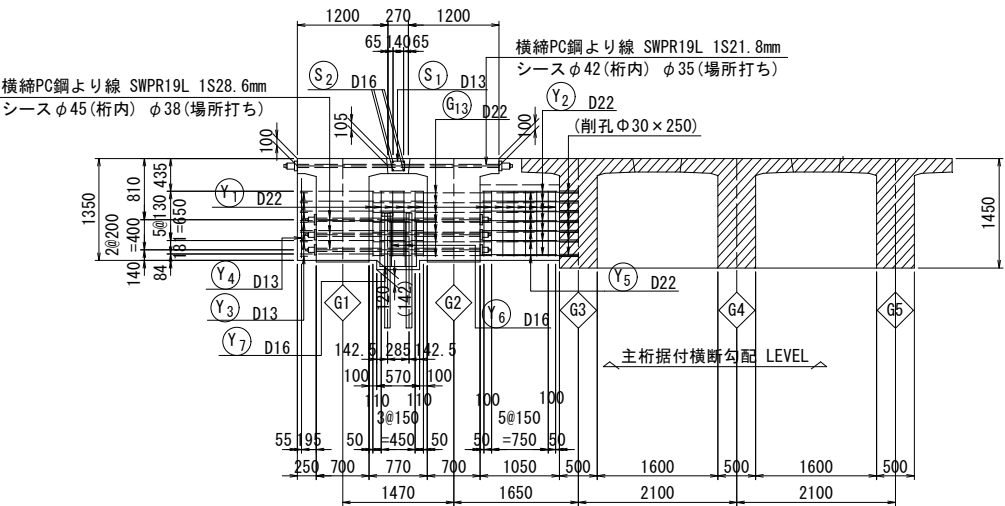
令和	8 年度	図 番	20 葉 13
路線名又は 河 川 名	市道 寿橋線		
工 事 名	寿橋線寿橋上部工架設工事		
位 置	鶴岡市 寿 地内		
床版・横桁配筋図（その1）			
縮 尺	図 示	鶴 岡 市	

寿橋 床版・横桁配筋図(その2)

端 支 点 横 桁 部 S=1:50

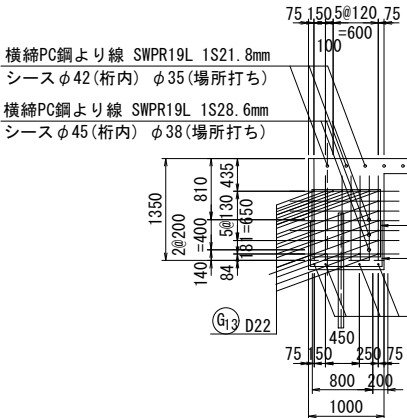
A1 (A2) 側端支点横桁

断 面 図

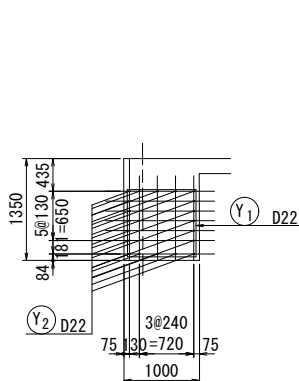


側 面 図

G1-G2間横桁

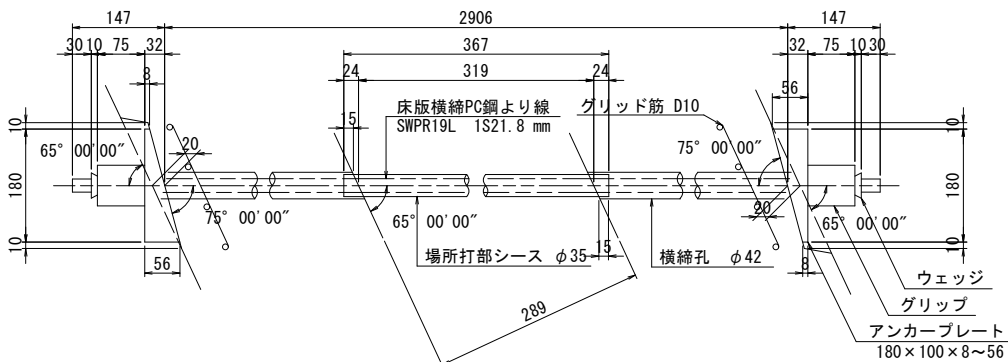


G2-G3間横桁

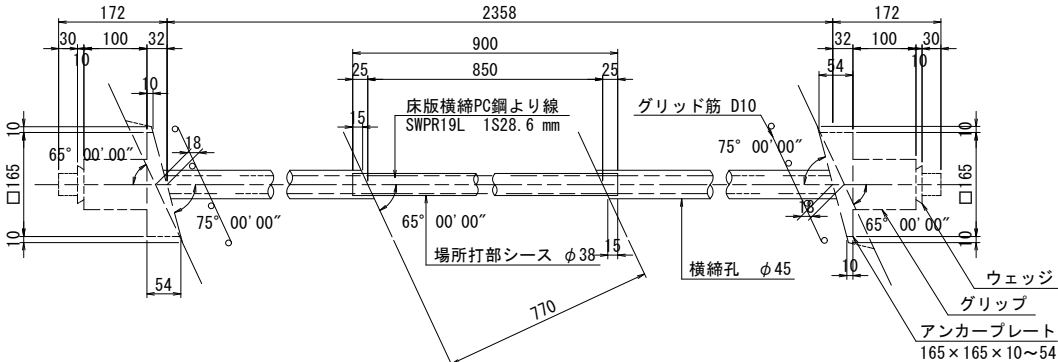


横 締 定 着 部 詳 細 図 S=1:6

床 版 部
1S21.8mm

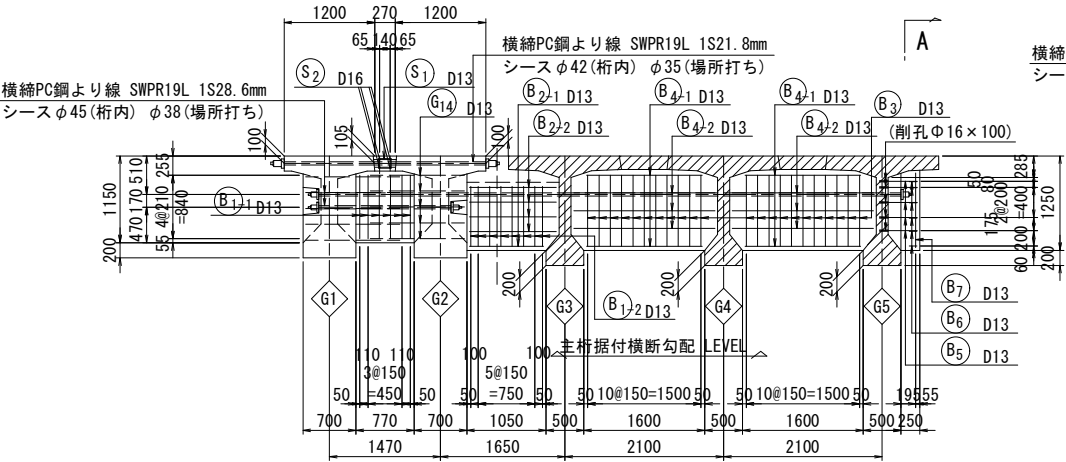


端 支 点 横 桁 部
1S28.6mm



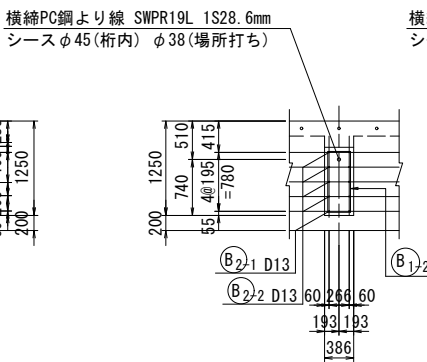
中 間 横 桁 部 S=1:50

断 面 図

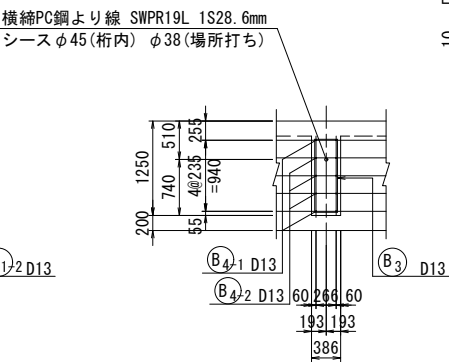


側 面 図

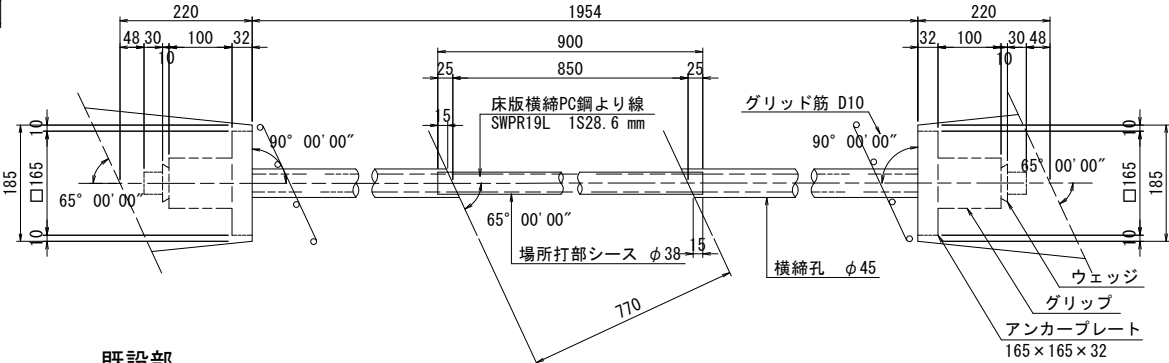
G2-G3間横桁



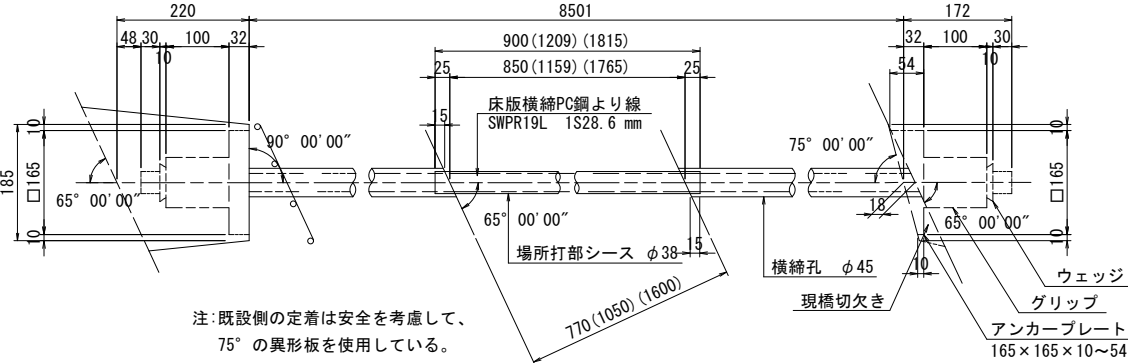
既設部



中 間 横 桁 部
新設部
1S28.6mm



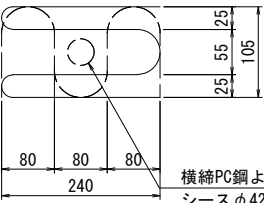
既設部
1S28.6mm



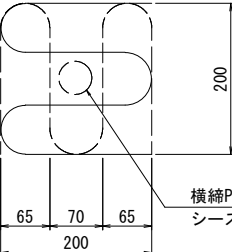
注:既設側の定着は安全を考慮して、
75° の異形板を使用している。

グリッド筋 S=1:5

床 版 部
1S21.8 mm 用
(D10×567, 1030)



横 桁 部
1S28.6 mm 用
(2-D10×920)



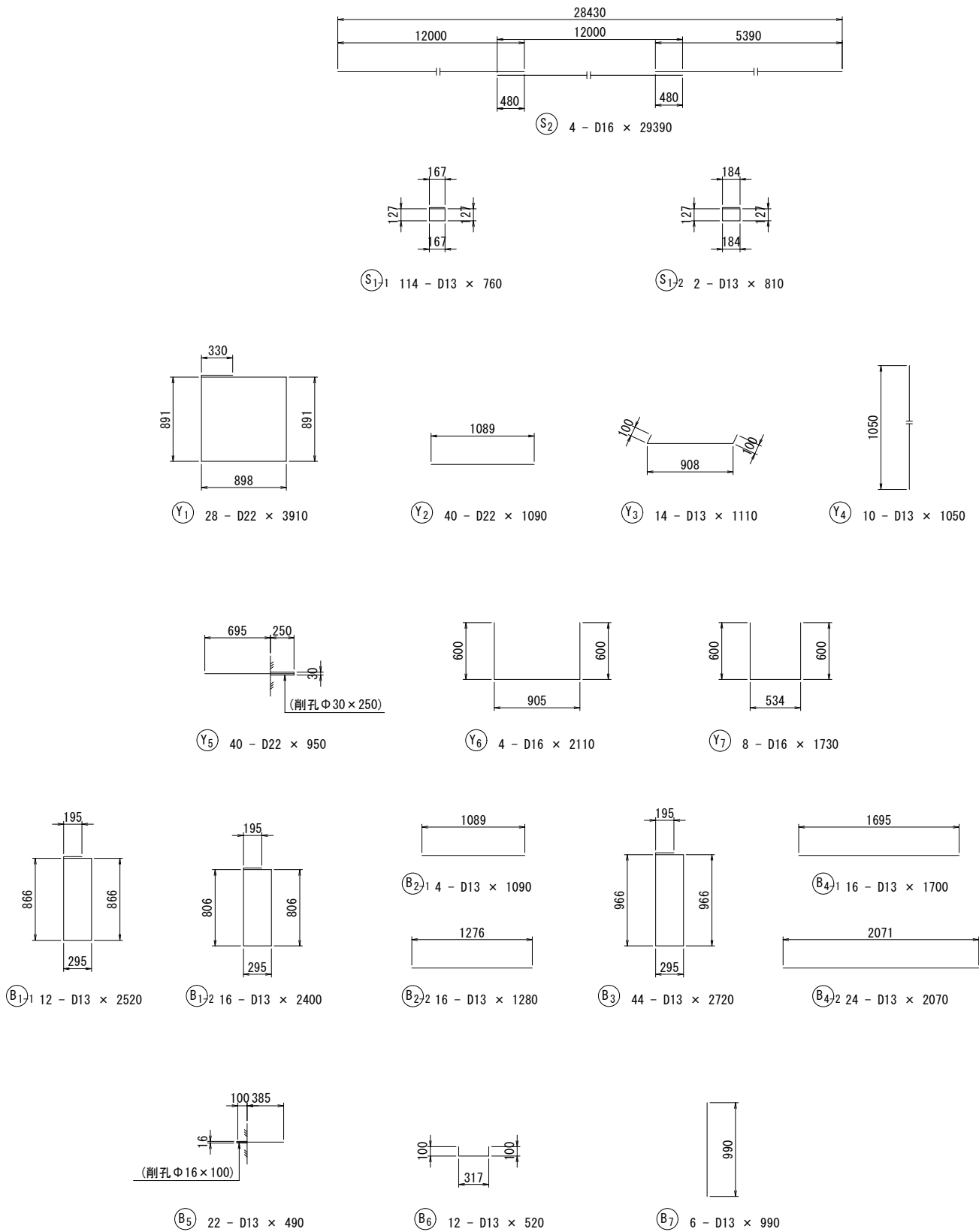
横締PC鋼材数量表 (全橋当り)

	1本当り長さ (m/本)	本数 (本)	延 長 (m)
床 版 部 (1S21.8mm)	2.906	55	159.830
端支点横桁部 (1S28.6mm)	2.358	6	14.148
中間横桁部 (1S28.6mm)	新設部 1.954	2	3.908
	既設部 8.501	2	17.002
合 計		65	194.888

令和 8 年度 図 番 20 葉 14
路線名又は 河 川 名 市道寿橋線
工事名 寿橋線寿橋上部工架設工事
位 置 鶴岡市 寿 地内
床版・横桁配筋図 (その2)
縮 尺 図 示 鶴 岡 市

寿橋 床版・横桁配筋図（その3）

鉄筋加工図 S=1:30



鉄筋表

符号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
間詰部							
S1-1	D13	760	114	0.995	0.76	87	□
1-2	"	810	2	"	0.81	2	□
2	D16	29390	4	1.56	45.85	183	—
小計						272 kg	
中間横桁部							
B1-1	D13	2520	12	0.995	2.51	30	□
1-2	"	2400	16	"	2.39	38	□
2-1	"	1090	4	"	1.08	4	—
2-2	"	1280	16	"	1.27	20	—
3	"	2720	44	"	2.71	119	□
4-1	"	1700	16	"	1.69	27	—
4-2	"	2070	24	"	2.06	49	—
5	"	490	22	"	0.49	11	+
6	"	520	12	"	0.52	6	┘
7	"	990	6	"	0.99	6	—
小計						310 kg	
端支点横桁部							
Y1	D22	3910	28	3.04	11.89	333	□
2	"	1090	40	"	3.31	132	—
3	D13	1110	14	0.995	1.10	15	┘
4	"	1050	10	"	1.04	10	┘
5	D22	950	40	3.04	2.89	116	→
6	D16	2110	4	1.56	3.29	13	┘
7	"	1730	8	"	2.70	22	┘
小計						641 kg	
						D22	581 kg
						D16	218 kg
						D13	424 kg
						合計	1223 kg
						コンクリート削孔 φ30×250	40 ヶ所
						コンクリート削孔 Φ16×100	22 ヶ所

注記1：コンクリート強度 $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$
鉄筋材質は、全て SD345 とする。
2：既設側に関する施工前には現況寸法実測を行い、図面照合等の確認をすること。
3：削孔（切欠き）位置は、既設鋼材（鉄筋）を切断しない様に詳細調査の上、決定すること。
4：中間横桁部の既設桁切欠きが困難な場合は、定着角度が65°となる為、適切な安全対策を講じること。
5：新旧コンクリートの一体化を図るために、十分なチャッピング処理を行う。

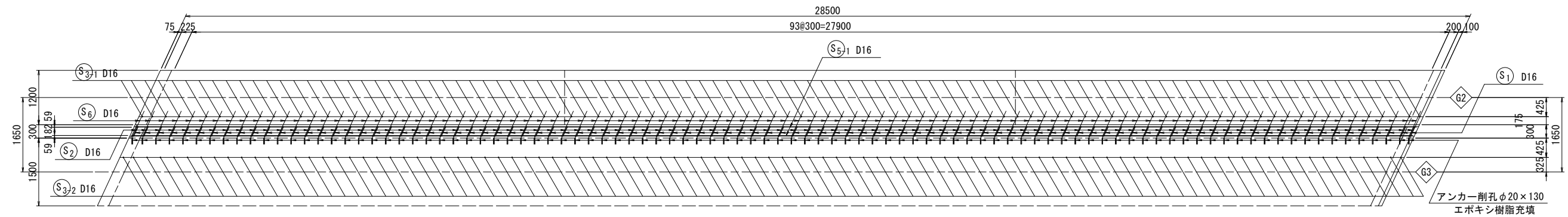
実施

令和 8 年度		図 番	20 葉 15
路線名又は河川名		市道寿橋線	
工事名		寿橋線寿橋上部工架設工事	
位 置		鶴岡市 寿 地内	
床版・横げた配筋図（その3）			
縮 尺 図 示		鶴 岡 市	

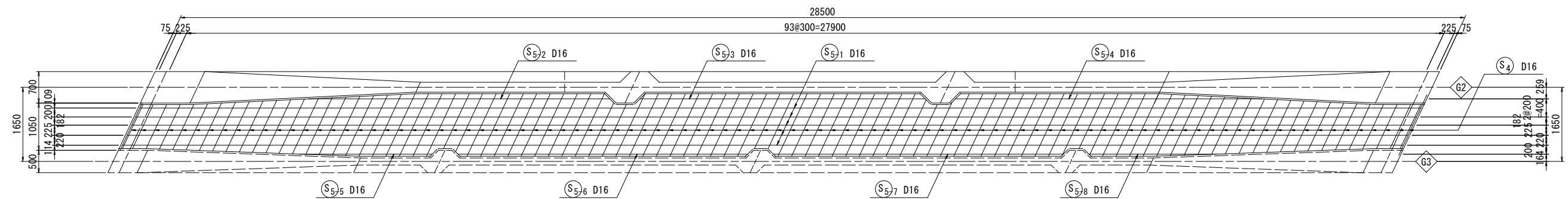
寿橋 既設・新設 結合部配筋図

平面图 S=1:50

(上 面)

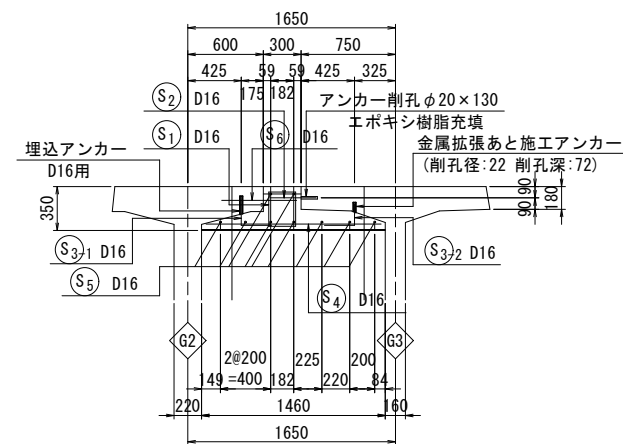


(下 面)

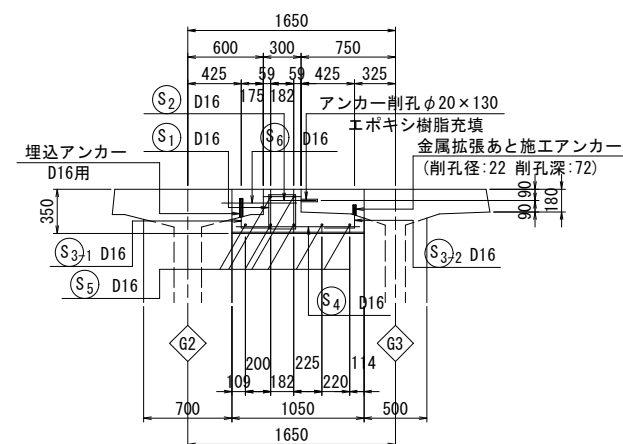


断面図 S=1:30

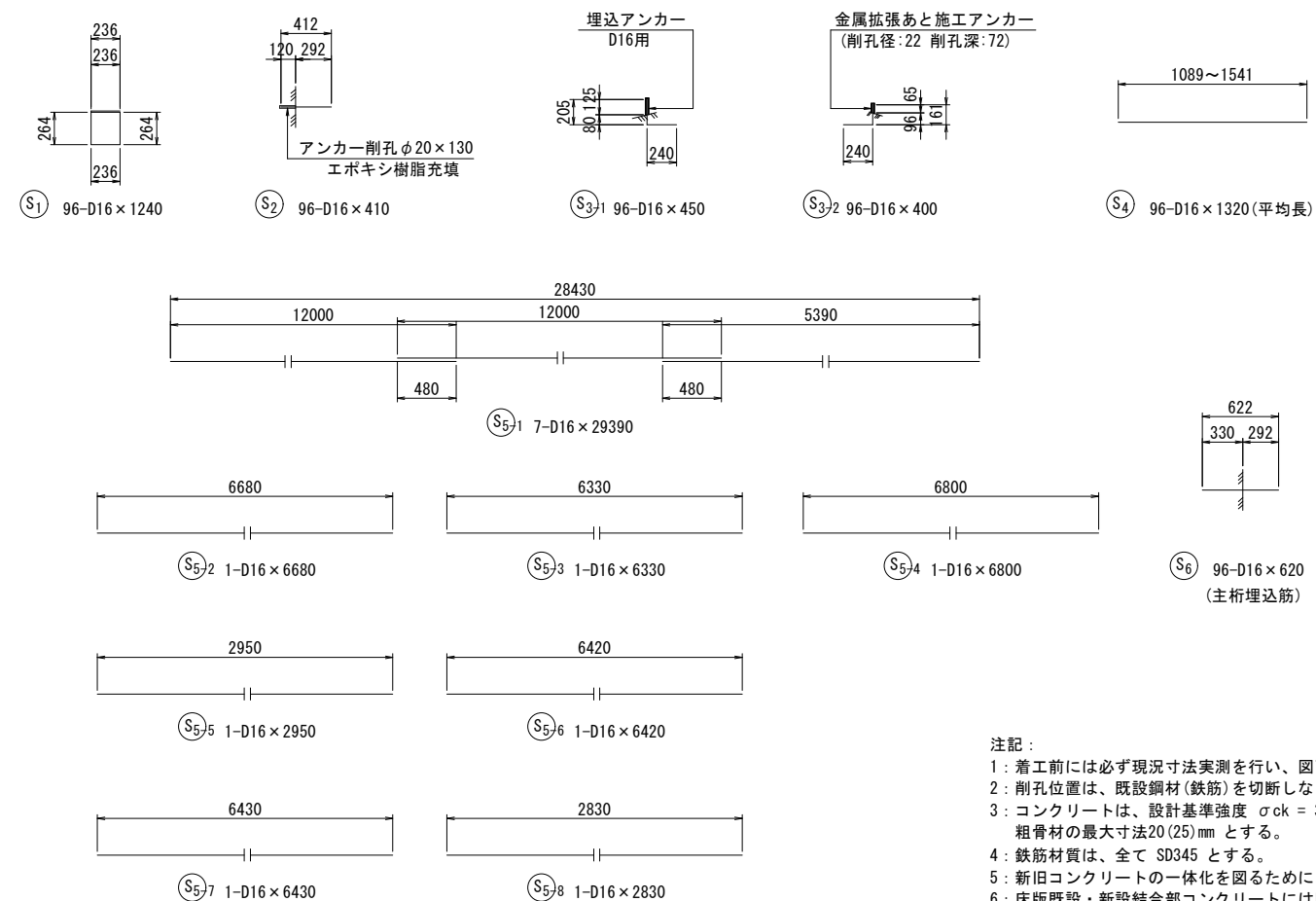
(標準部)



(横桁部)



鉄筋加工図 S=1:30



鉄筋表

[illegible]

实施

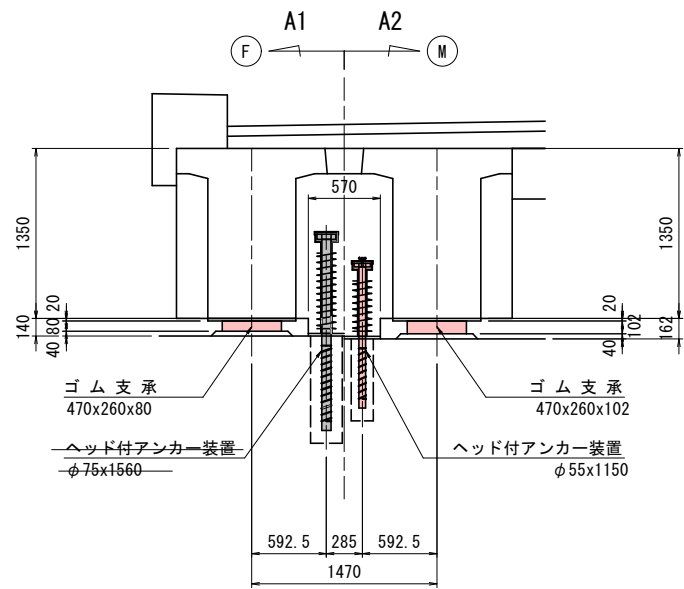
令和 8 年度	図 番	20 葉 16
路線名又は 河 川 名	市道 寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋上部工架設工事	
位 置	鶴岡市 寿 地内	
既設・新設結合部配筋図		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

注記：

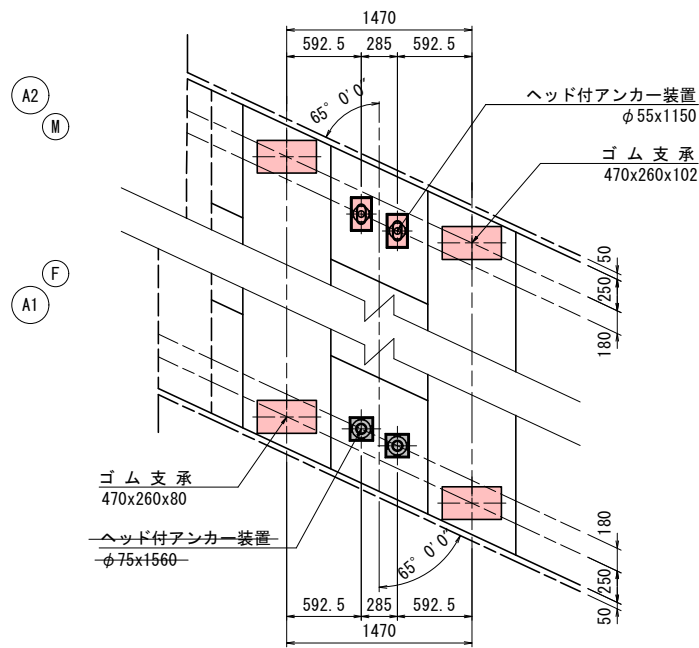
- 1：着工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認の後、施工を行うこと。
- 2：削孔位置は、既設鋼材（鉄筋）を切断しない様に詳細調査の上、決定すること。
- 3：コンクリートは、設計基準強度 $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ 、スランプ値 $8 \pm 2.5 \text{ cm}$ 、粗骨材の最大寸法 $SD(25) \text{ mm}$ とする。
- 4：鉄筋材質は、全て SD345 とする。
- 5：新旧コンクリートの一体化を図るために、十分なツッピング処理を行う。
- 6：床版既設・新設結合部コンクリートには膨張剤を配合すること。

寿橋 支承詳細図(その1)

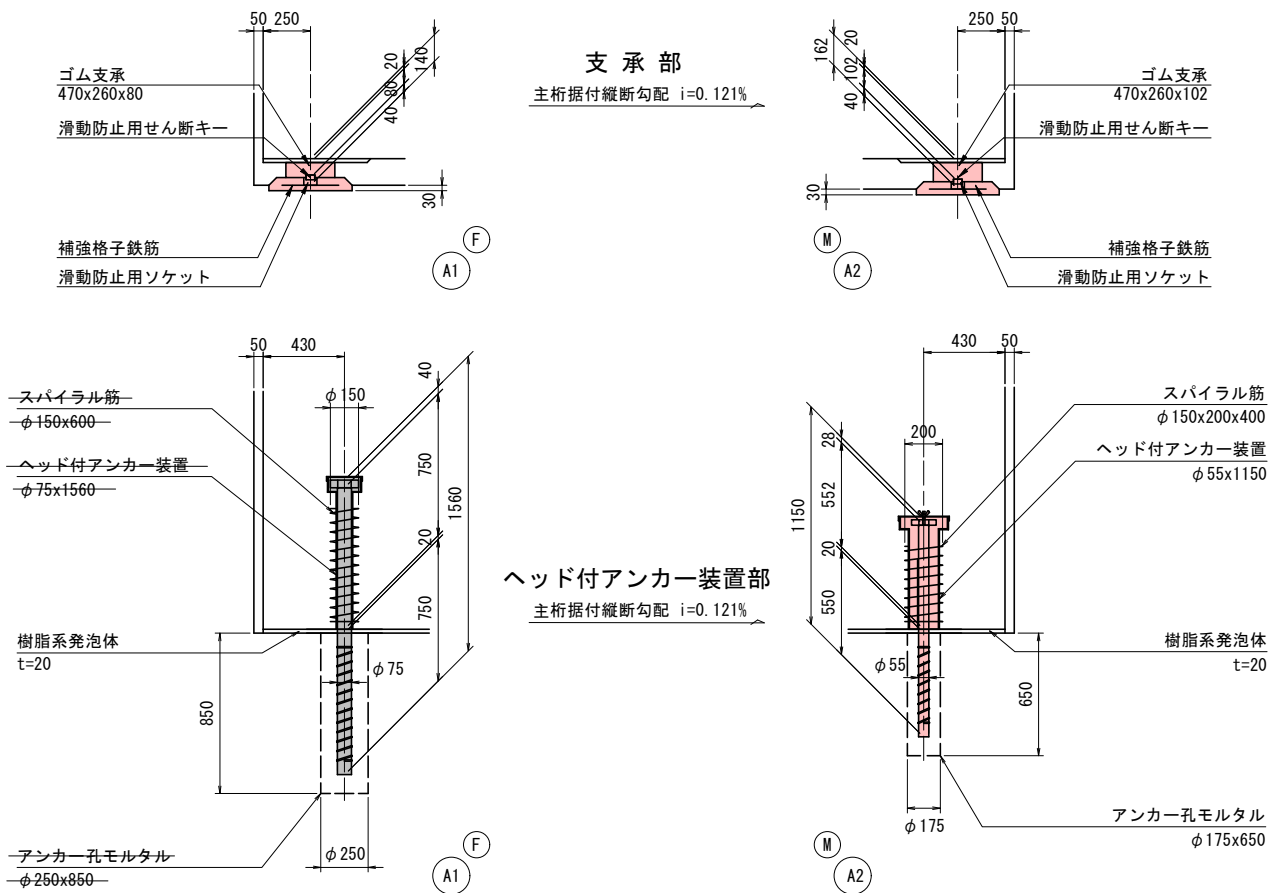
断面図 S= 1:30



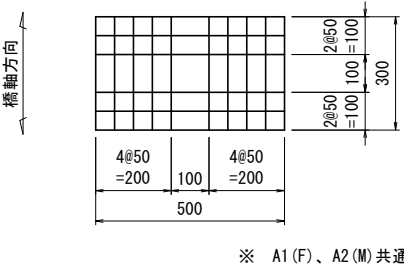
平面図 S= 1:30



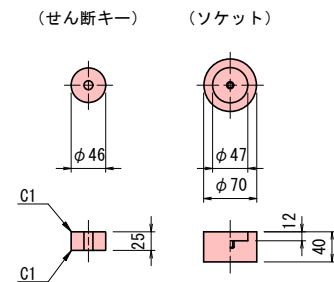
側面図 S= 1:20



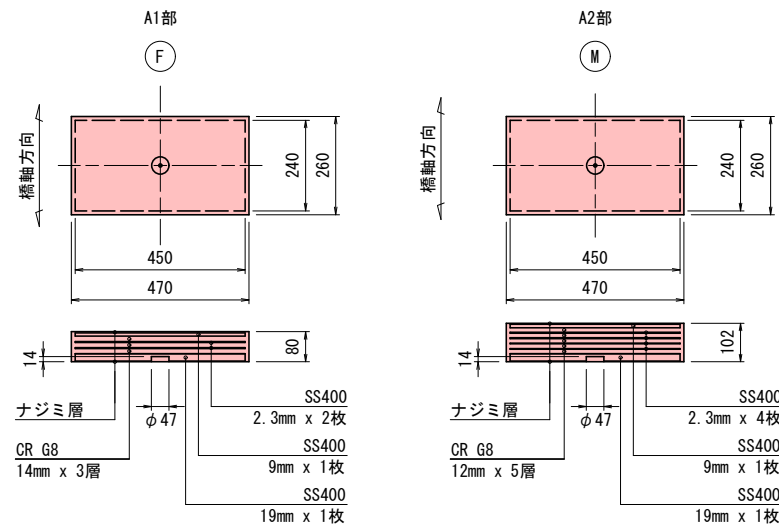
補強格子鉄筋 S= 1:10



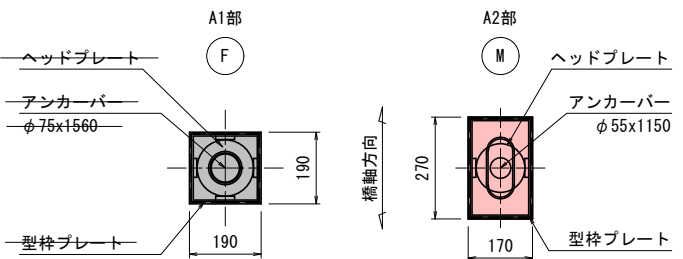
滑動防止装置 S= 1:5



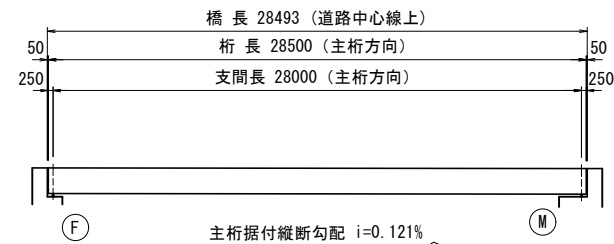
ゴム支承 S= 1:10



ヘッド付アンカー装置 S= 1:10



配置図 S= 1:200



材料表

名 称	寸 法	材 質	単位	数 量			備 考
				A1 (F)	A2 (M)	合計	
ゴム支承	470x260x102	図 示	枚		2	2	DSFパッド (Ge=0.8)
"	470x260x80	"		2		2	"
ヘッド付アンカー装置	φ75x1560	支承詳細図(その2)参照	組	2		2	SGめっき
ヘッド付アンカー装置	φ55x1150	支承詳細図(その2)参照	"		2	2	SGめっき
樹脂系発泡体	t=20		m2	0.513	0.513	1.026	
補強格子鉄筋	D10	SD345	kg	7	7	14	
沓座モルタル		無収縮モルタル	m3	0.037	0.037	0.074	
アンカー孔モルタル		"	"	0.077	0.029	0.106	

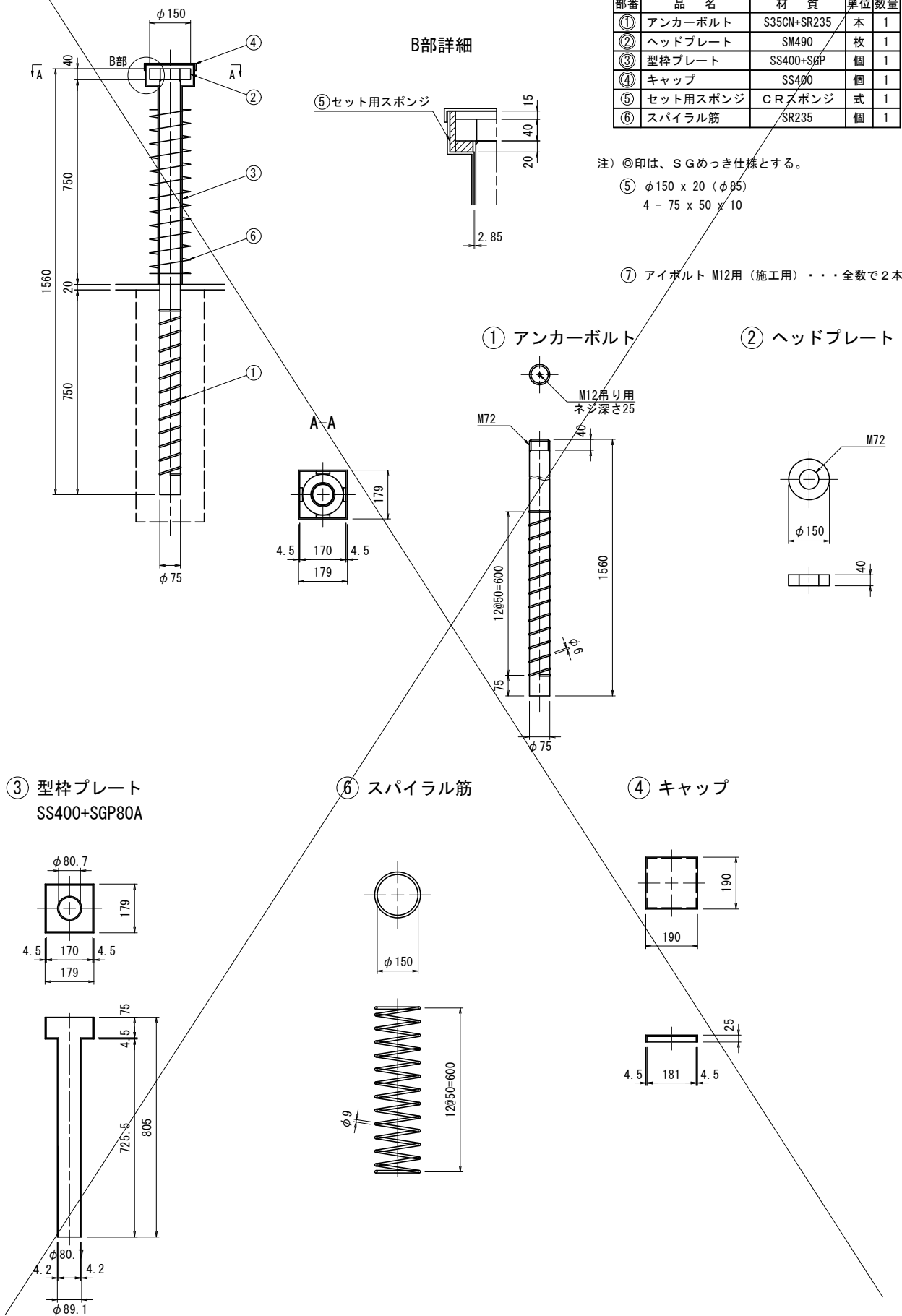
実 施

令和 8 年度	図 番	20 葉 17
路線名又は 河 川 名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋上部工架設工事	
位 置	鶴岡市 寿 地内	
支 承 詳 細 図 (そ の 1)		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

寿橋 支承詳細図(その2)

A1 FIX

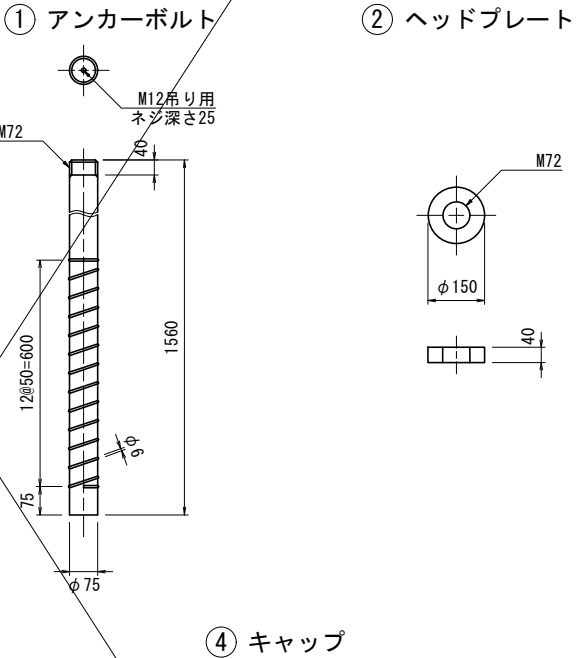
取付詳細図 S=1:10



材料表 (一組当り) 合計: 2組

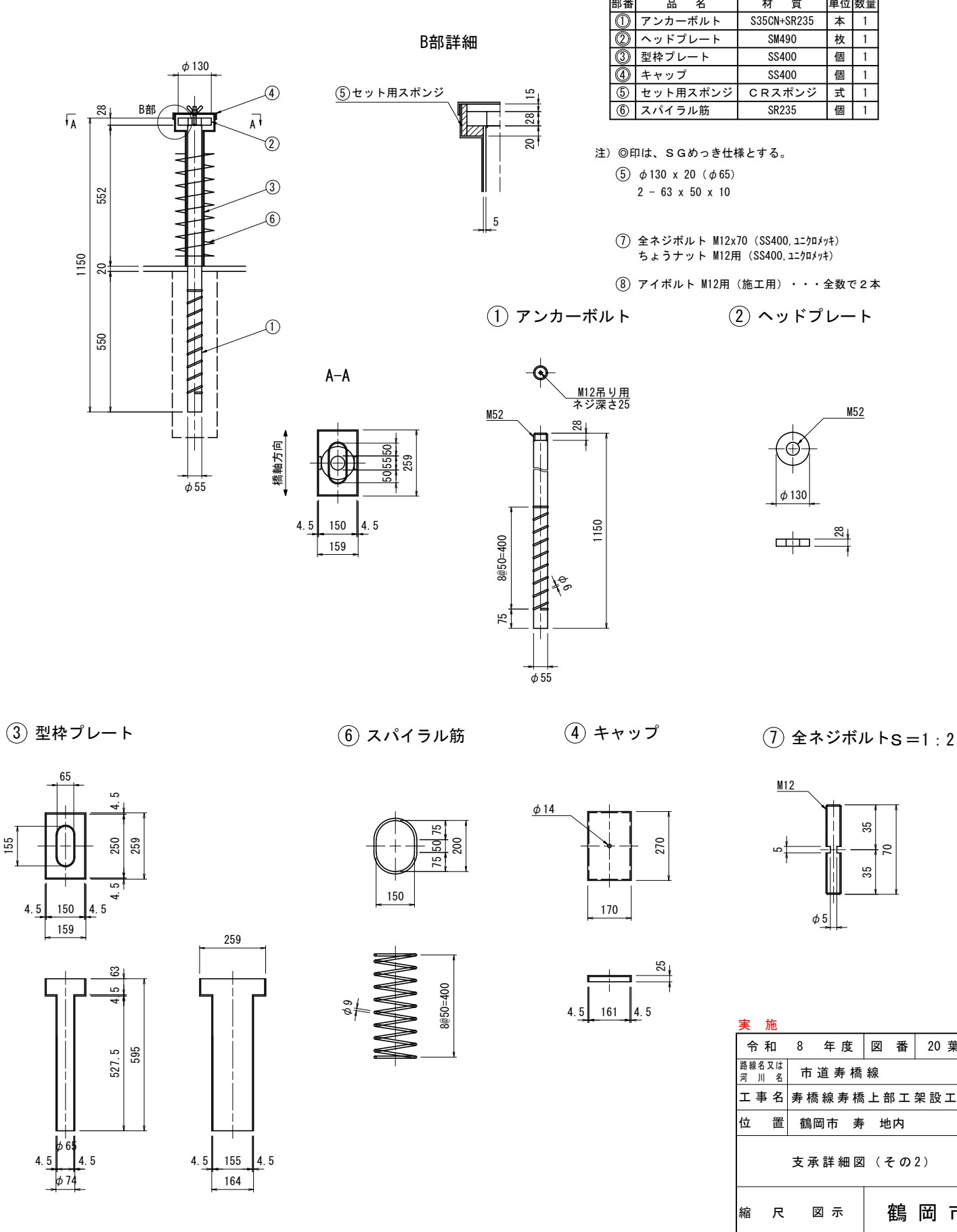
部番	品名	材質	単位	数量
①	アンカーボルト	S35CN+SR235	本	1
②	ヘッドプレート	SM490	枚	1
③	型枠プレート	SS400+SGP	個	1
④	キャップ	SS400	個	1
⑤	セット用スポンジ	CRスポンジ	式	1
⑥	スパイラル筋	SR235	個	1

注) ◎印は、SGめっき仕様とする。
⑤ φ150 x 20 (φ85)
4 - 75 x 50 x 10
⑦ アイボルト M12用 (施工用) ... 全数で2本



A2 MOV

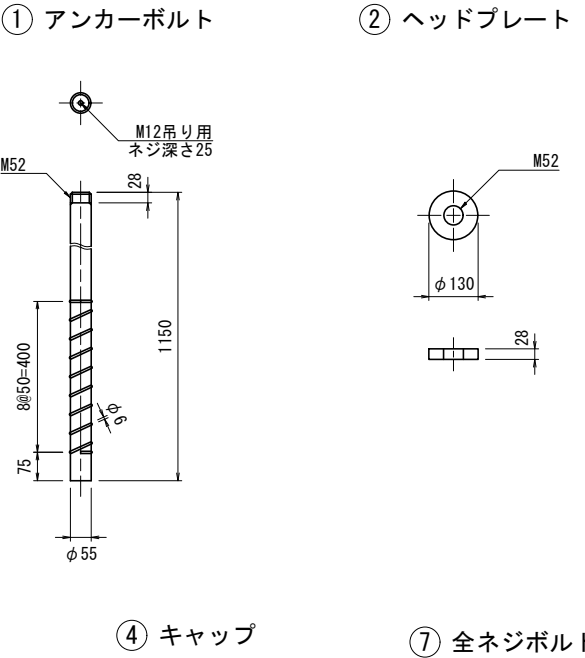
取付詳細図 S=1:10



材料表 (一組当り) 合計: 2組

部番	品名	材質	単位	数量
①	アンカーボルト	S35CN+SR235	本	1
②	ヘッドプレート	SM490	枚	1
③	型枠プレート	SS400	個	1
④	キャップ	SS400	個	1
⑤	セット用スポンジ	CRスポンジ	式	1
⑥	スパイラル筋	SR235	個	1

注) ◎印は、SGめっき仕様とする。
⑤ φ130 x 20 (φ65)
2 - 63 x 50 x 10
⑦ 全ネジボルト M12x70 (SS400, ユニクロメッキ)
ちょうナット M12用 (SS400, ユニクロメッキ)
⑧ アイボルト M12用 (施工用) ... 全数で2本



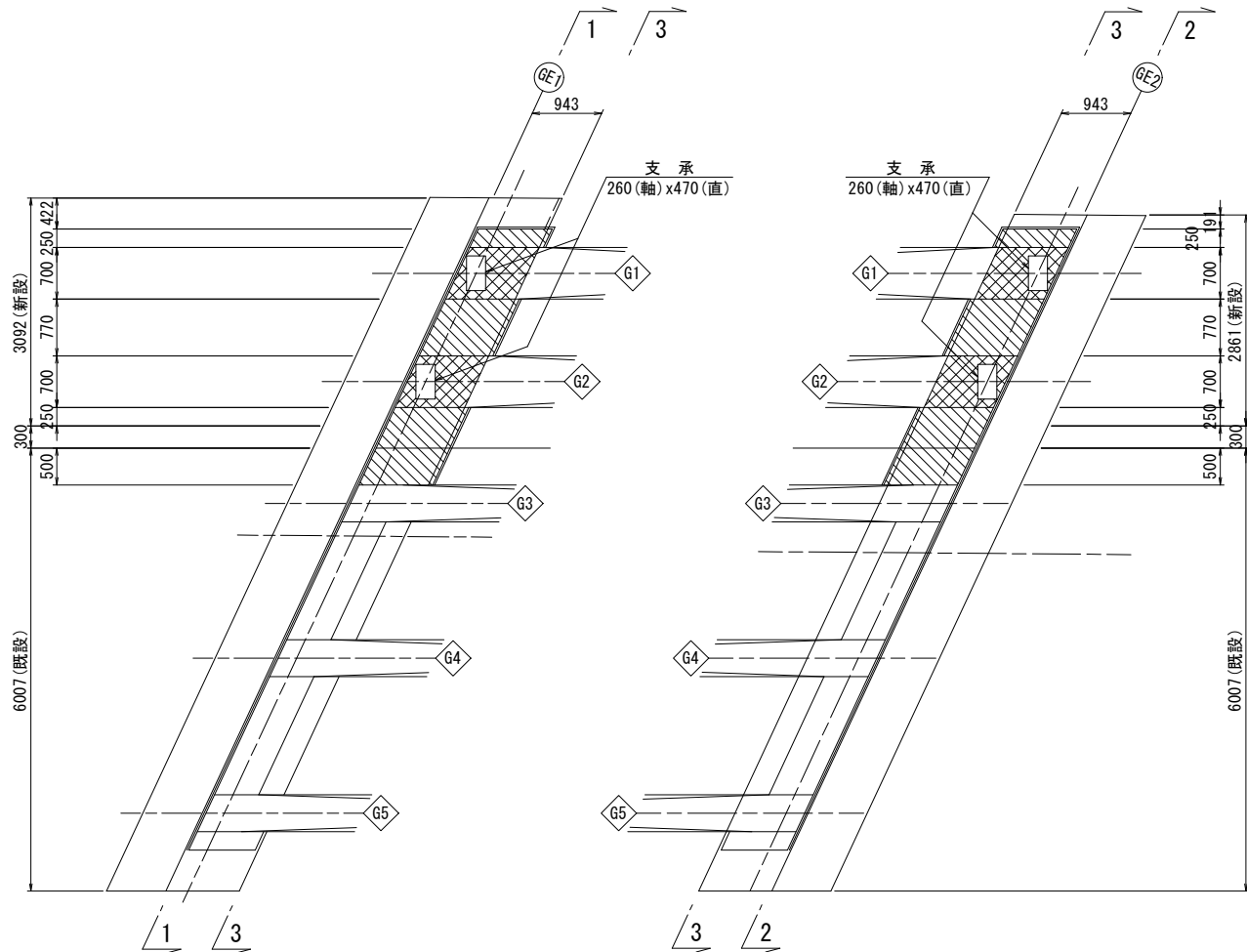
実施	令和 8 年度	図番	20 葉 18
路線名又は河川名	市道寿橋線		
工事名	寿橋線寿橋上部工架設工事		
位置	鶴岡市 寿 地内		
支承詳細図 (その2)			
縮尺	図示	鶴岡市	

寿橋 桁端塗装詳細図

側面図 S=1:50

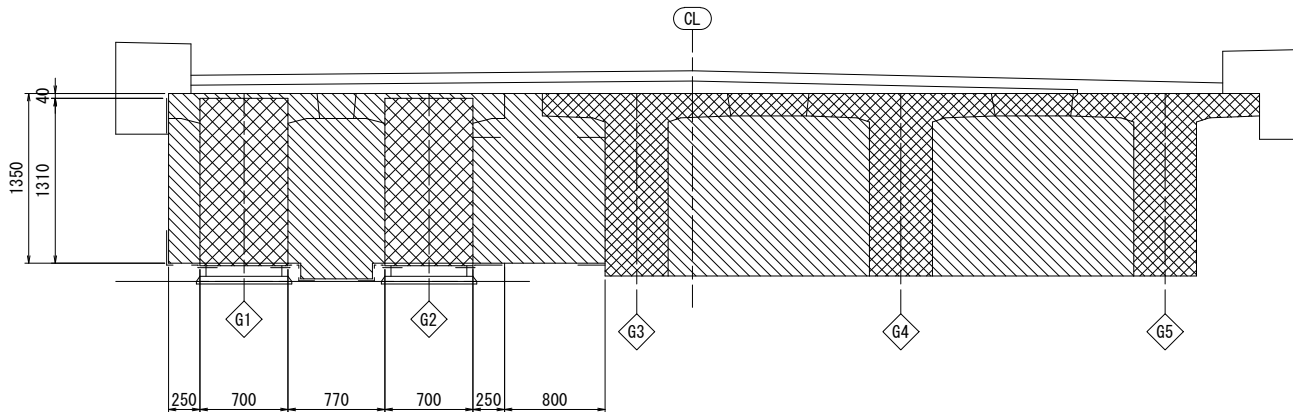


平面図 S=1:50

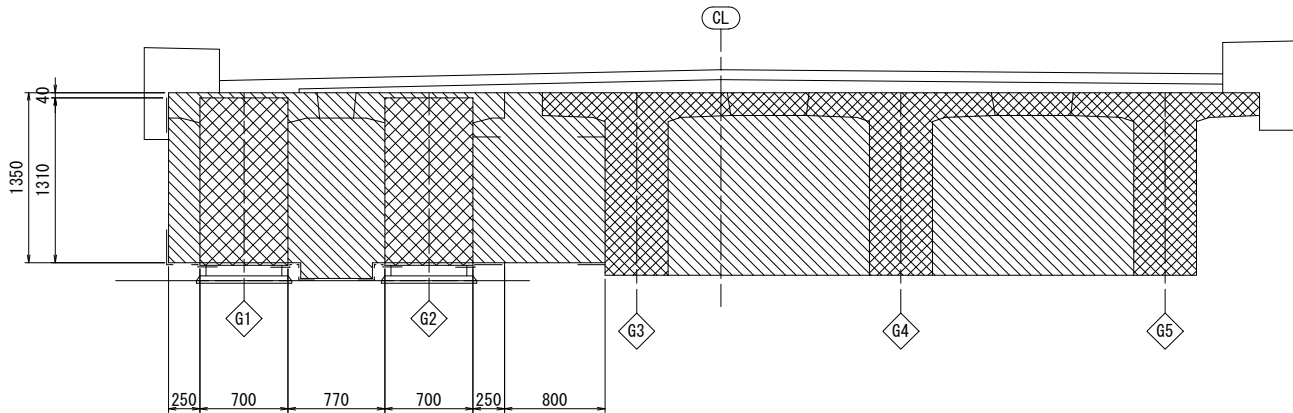


断面図 S=1:30

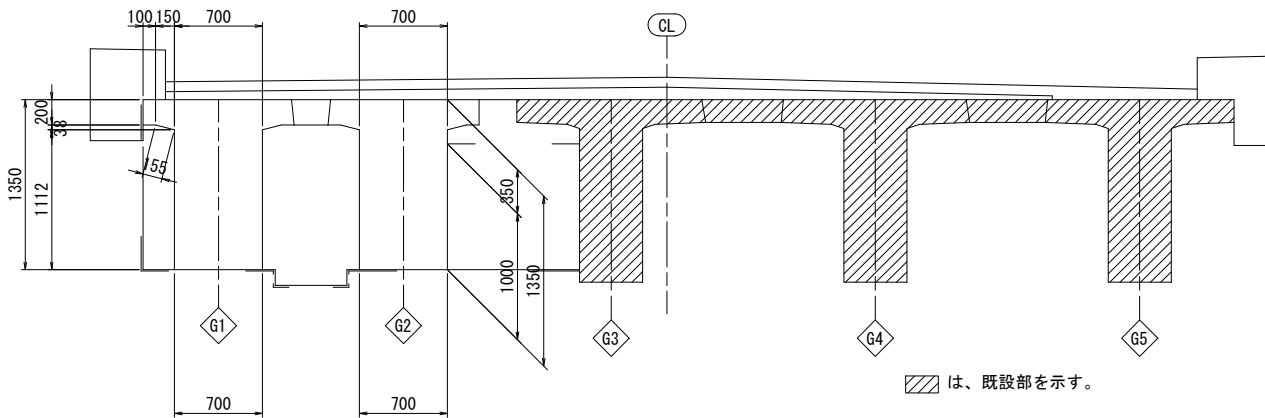
1 - 1 (GE1)



2 - 2 (GE2)



3 - 3



は、既設部を示す。

塗装仕様 CC-A (参考)

工程	使用材料	目標膜厚 (μ)	標準使用量 (kg/m2)	塗装方法	塗装間隔
前処理	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂プライマー	-	0.10	スプレー (はけ・ローラー)	1~10日
	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂パテ	-	0.30	へら	
中塗	コンクリート塗装用 エポキシ樹脂塗料中塗	60	0.32 (0.26)	スプレー (はけ・ローラー)	1~10日
上塗	コンクリート塗装用 フッ素樹脂塗料上塗	30	0.15 (0.12)	スプレー (はけ・ローラー)	

主桁部塗装範囲 (工場塗装)
横桁部塗装範囲 (現場塗装)

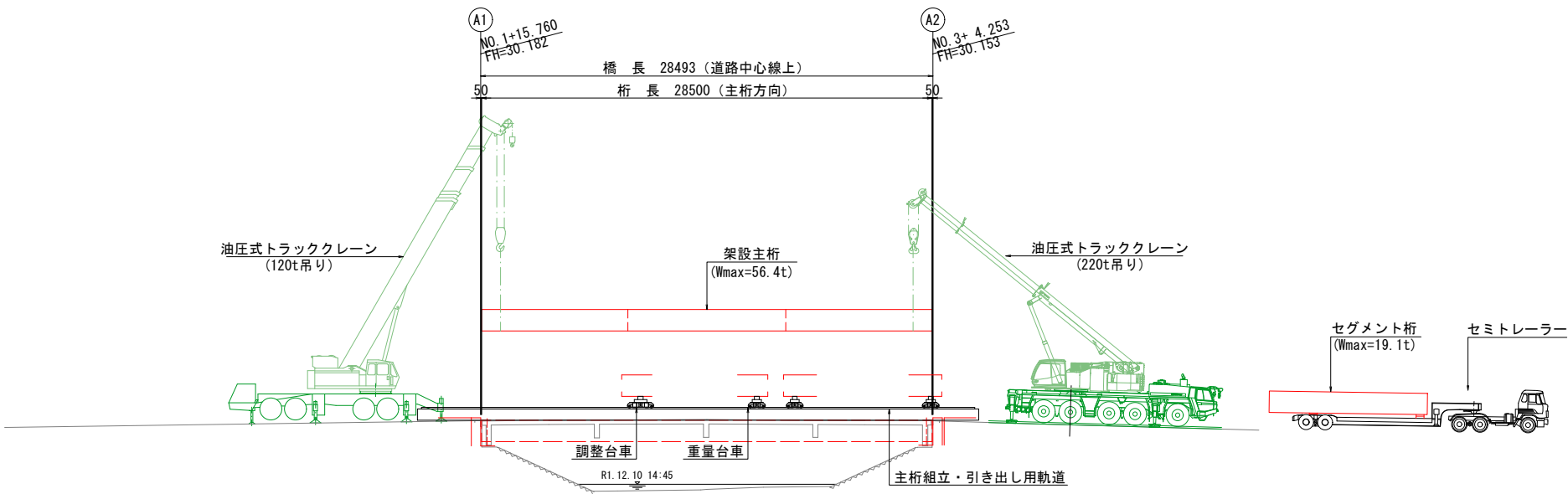
注) 既設バラベットを撤去し、上部施工後に
新設バラベットを施工することを仮定。

実施

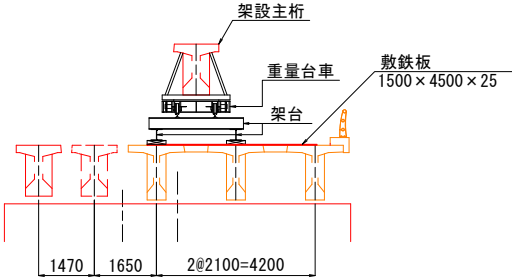
令和 8 年度		図 番	20 葉 19
路線名又は河川名		市道寿橋線	
工事名		寿橋線寿橋上部工架設工事	
位置		鶴岡市 寿 地内	
桁端塗装詳細図			
縮 尺 図 示		鶴 岡 市	

寿橋 架設参考図

側面図 S=1:200



断面図 S=1:100



架設要領

主桁の組立

1. 既設橋上に軌道設備を敷設し、セグメント桁組立ヤードとする。
2. 工場にて製作されたセグメント桁 (Wmax=19.1t) をトレーラで搬入する。
3. トラッククレーン (220t吊り) 1台を使用して、セグメント桁を組立ヤードの調整台車及び重量台車上に取卸す。
4. 組立ヤード上にてセグメント桁を組み立て、1本桁とする。

主桁の架設

1. 組立ヤードにて1本桁とした主桁を、トラッククレーン (120t吊り) とトラッククレーン (220t吊り) を使用して、所定の位置に据え付ける。
2. 上記の作業を繰り返して、主桁の架設を完了する。

セグメント桁取卸時

定格総荷重表 (油圧式 220 t 吊り: 中間張出5.5m) (単位: t)

ブーム長さ (m)	17.6	21.9	26.2	30.5
作業半径 (m)	16.0	44.0	29.5	29.1
18.0	35.0	24.9	24.8	24.4
20.0			21.4	21.2

※ セグメント桁 Wmax=19.1t
フック重量: 1.45 t
吊重量: 19.1 t + 1.45 t = 20.55t
作業能力: 24.9 t × 安全率89% = 22.2t > 20.55t

主桁架設時

定格総荷重表 (油圧式 120 t 吊り: B性能) (単位: t)

ブーム長さ (m)	13.6	18.15	22.7	31.8
作業半径 (m)				
8.0	48.7	45.7	42.7	40.1
9.0	42.0	39.4	36.8	36.0
10.0	37.0	34.5	32.0	32.6
11.0	31.2	29.6	28.0	29.7

※ 架設主桁 Wmax=56.4t
吊上げ荷重 W=56.4/2×1.25=35.3t

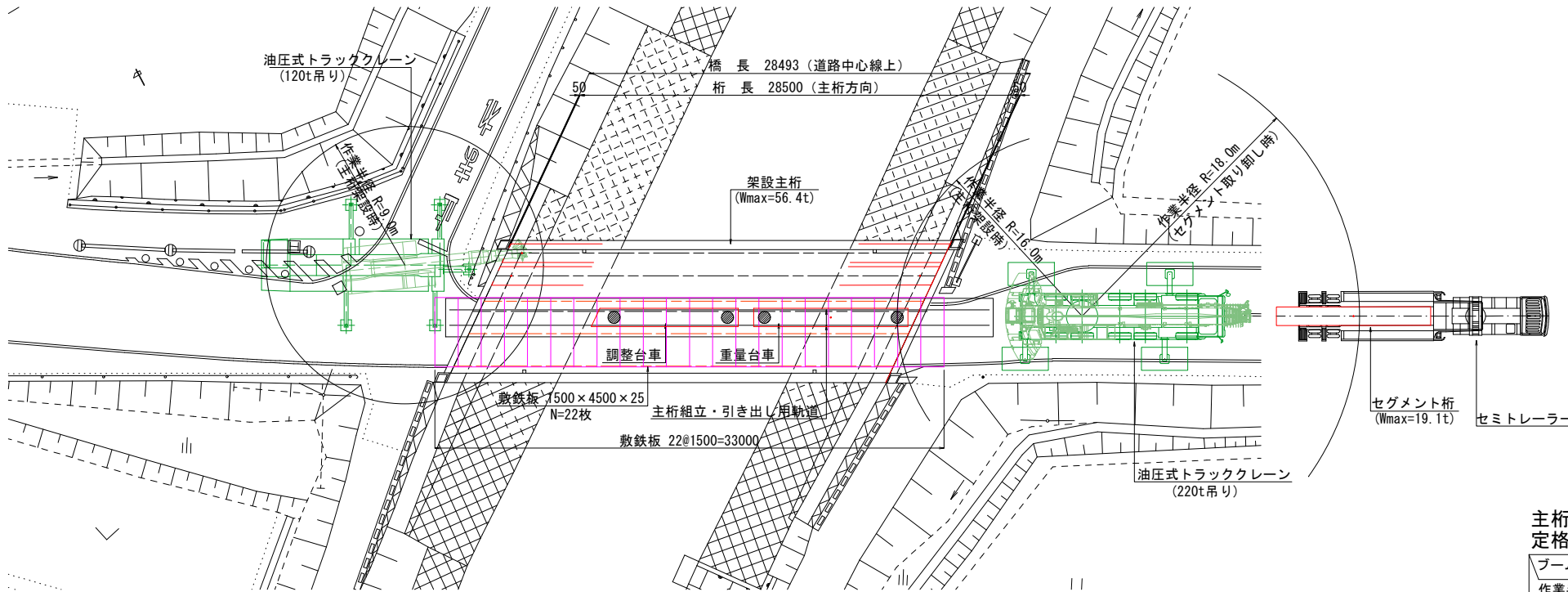
主桁架設時

定格総荷重表 (油圧式 220 t 吊り: 中間張出5.5m) (単位: t)

ブーム長さ (m)	17. 6	21. 9	26. 2	30. 5
作業半径 (m)				
12. 0	56. 0	45. 0	45. 0	42. 5
14. 0	50. 0	36. 0	36. 0	35. 5
16. 0	44. 0	29. 5	29. 5	29. 1
18. 0		24. 8	24. 8	24. 4

※ 架設主桁 Wmax=56.4t
吊上げ荷重 W=56.4/2=28.2 t
フック重量: 1.45 t
吊重量: 28.2 t + 1.45 t = 29.65t
作業能力: 44.0 t × 安全率89% = 39.16t > 29.65t

平面図 S=1:200



実施

令和 8 年度	図 番	20 葉 20
路線名又は河川名	市道寿橋線	
工事名	寿橋線寿橋上部工架設工事	
位置	鶴岡市 寿 地内	
架設工 参考図		
縮 尺 図 示	鶴 岡 市	

数量総括表

1/3

上段：当初
下段：変更

コンクリート橋上部

工 種	種 別	規 格	単位	計算数量	設計数量	摘 要
PC橋工						
	プレキャストセグメント製作工					
	プレキャストセグメント製作	50N/mm ² 、L=28.500m 3分割(G1桁)	本	1	1	
	プレキャストセグメント製作	50N/mm ² 、L=28.500m 3分割(G2桁)	本	1	1	
	プレキャストセグメント主桁組立工					
	プレキャストセグメント主桁組立	T桁 3分割	本	2	2	
	機械器具経費	セグメント質量17tを超え21t以下	工事	1	1	
	軌道設置撤去工		m	35.1	35	28.5m × 1.23 = 35.1
支承工						
	ゴム支承(A1)	DSFパッド、470 × 260 × 80	枚	2	2	
	ゴム支承(A2)	DSFパッド、400 × 260 × 120	枚	2	2	
	樹脂発泡体	t=20mm	m ²	1	1	
	鉄筋工	一般構造物 D10	t	0.014	0.01	
	架設工(クレーン架設)					
	桁架設	PCホーステンパルT桁 (セグメント形式)	本	2	2	
	主桁転倒防止工	据付時	本	2	2	
床版・横組工						
	コンクリート工	30N/mm ² ブーム打設	m ³	18.0	18	
	間詰床版及び横桁の 鉄筋加工・組立	SD345 D22	t	0.58	0.6	
	間詰床版及び横桁の 鉄筋加工・組立	SD345 D16	t	1.10	1.1	
	間詰床版及び横桁の 鉄筋加工・組立	SD345 D13	t	0.42	0.4	
	コンクリート削孔	削孔径10～30mm 削孔深30～200mm	箇所	118	118	
	コンクリート削孔	削孔径10～30mm 削孔深200～400mm	箇所	40	40	
	金属拡張あと施工アンカー	削孔径22mm、削孔深L=78mm	箇所	96	96	
	PC工	SWPR19L、1S21.8mm	m	159.8	160	
	PC工	SWPR19L、1S28.6mm	m	35.1	35	
	緊張工	1S21.8mm用異形支圧板 180 × 100 × 8～56	ケーブル	55	55	
	緊張工	1S28.6mm用異形支圧板 165 × 165 × 10～54	ケーブル	6	6	
	緊張工	1S28.6mm用標準支圧板 165 × 165 × 32	ケーブル	2	2	

数 量 総 括 表

2/3

上 段 : 当 初
下 段 : 変 更

コンクリート橋上部

工 種	種 別	規 格	単位	計算数量	設計数量	摘 要
	緊張工	1S28.6mm用標準支圧板 + 異形支圧板	ケーブル	2	2	
	横組工の機械器具損料	シングルストランドシステム	工事	1	1	
	足場工	ポストテンション桁用桁下足場 1.1≦H<1.5m 両側朝顔	m2	264.6	265	
	足場工	橋台・橋脚回り足場ブラケット工	m	10.3	10	
	コンクリート塗装	CC-A塗装系	m2	38.3	38	
撤去工						
地覆撤去工						
	コンクリート撤去		m3	3.7	4	
	殻運搬		m3	3.7	4	
	殻処分		m3	3.7	4	
	チップング処理		m2	15.1	15	
親柱撤去工						
	コンクリート撤去		m3	0.7	0.7	
	殻運搬		m3	0.7	0.7	
	殻処分		m3	0.7	0.7	
防護柵撤去工						
	防護柵撤去		m	28.5	29	
	発生品運搬		t	5.7	6	
	スクラップ		t	5.7	6	
仮設工						
敷鉄板工						
	敷鉄板敷設	25×1524×4572	m2	151.7	152	
	敷鉄板賃料		枚	22	22	
交通管理工						
	交通誘導警備員	交通誘導警備員 B	日	47	47	2人/日×47日=94人

数量総括表

3/3

上段：当初

下段：変更

コンクリート橋上部

[illegible]

見 積 参 考 資 料

工 事 名 寿橋線寿橋上部工架設工事

- 1) この「見積参考資料」は、対象工事の現場条件等を考慮し標準的な施工内容等を参考に示した資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工方法、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。
- 2) この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。
- 3) 原則として、各種補正や単価等の金額に関する質問には回答できません。

鶴岡市建設部土木課

第 7号		1式当たり					明細書
地覆撤去工							
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート撤去	鉄筋構造物 制約無, 低騒音・低振動対策不要	m ³	4				第 29号単価表
殻運搬	コンクリート殻	m ³	4				第 30号単価表
殻処理	鉄筋コンクリート	m ³	4				第 31号単価表
チップング処理		m ²	15				第 32号単価表
計							

第 8号		1式当たり					明細書
親柱撤去工							
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート取壊し	無筋構造物、低騒音・低振動対策不要	m ³	0.7				第 34号単価表
殻運搬	無筋コンクリート	m ³	0.7				第 35号単価表
殻処理	無筋コンクリート	m ³	0.7				第 36号単価表
計							

第 9号		防護柵撤去工										1式当たり	明細書
明細書		規格		単位	数量	単価	金額	摘要					
高欄撤去				m	29								
発生品運搬				t	6			第 38号単価表					
スクラップ				t	6			第 39号単価表					
計													

第 11号		敷鉄板					1式当たり	明細書	
明	細	書	規	格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
敷鉄板設置撤去工					m²	152			第 40号単価表
敷鉄板賃料					枚	22			第 41号単価表
計									

第 12号

交通管理工

1式当たり

明細書

[illegible]

[illegible]

第 2号		1本当たり					単価表
プラスチックセグメント柵製作・運搬		50N/mm2、L=28.5m、3分割（G2柵）					
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
主柵製作 中柵（G2）	P Cポステンバルブ T 柵（セグメント） L=28.5m	本	1				
計							

第 3号		プレキャストセグメント主桁組立					1本当たり	単価表
T桁 3分割								
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
橋りょう世話役		人	0.9					
橋りょう特殊工		人	4.5					
普通作業員		人	2.7					
PC鋼より線	SWPR7BL 12S12.7mm	kg	1,093.244					
諸雑費		式	1					
計								

第 4号		1工事当たり					単価表
機械器具経費 T桁, 少数桁, PCコンボ 桁 3分割 セメント質量 17.0t超え21.0 t 以下							
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
トラックレーン(油圧伸縮ジブ型)賃料	220 t 吊	日	2				
PC緊張ジャッキ・ポンプ 損料	2200KN型 (12S12.7B)	供用日	8				
計							

第 5号		軌道設置撤去工					10m当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
橋りょう世話役		人	0.6					
橋りょう特殊工		人	2					
普通作業員		人	0.7					
諸雑費		式	1					
計								
1 m当たり								

第 6号		10個当たり					単価表
ゴム支承 (A1)							
DSFハット、470×260×80							
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
橋りょう世話役		人	2				
橋りょう特殊工		人	4				
普通作業員		人	4				
ゴム支承	470×260×80	個	10				
滑動防止ソケット	φ70 L=40	個	10				
せん断キー	φ46 L=25	個	10				
沓座モルタル	無収縮モルタル	m ³	0.18				
諸雑費		式	1				
計							
1 個当たり							

第 7号		10個当たり					単価表
ゴム支承 (A2)		DSFハット、400×260×120					
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
橋りょう世話役		人	2				
橋りょう特殊工		人	4				
普通作業員		人	4				
防蝕アンカー装置	M55D L=1150mm	組	10				
ゴム支承	470×260×102	個	10				
滑動防止ソケット	φ70 L=40	個	10				
せん断キー	φ46 L=25	個	10				
沓座モルタル	無収縮モルタル	m ³	0.18				
アンカー孔モルタル	無収縮モルタル	m ³	0.14				
諸雑費		式	1				
計							
1個当たり							

第 8号		樹脂発泡体 t =20mm					1㎡当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
目地板	30m2未満	㎡	1					
	1工事当り使用量:30m2未満							
計								

[illegible]

第 10号		桁架設					10本当たり	単価表
PCホ [°] ステンパ [°] ル [°] T桁、35t以上60t未満								
明細書		規格		単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役				人	2.507			
橋りょう特殊工				人	20.056			
普通作業員				人	12.535			
トラックレン(油圧伸縮ジ [°] ブ [°] 型)賃料		120 t 吊		日	2.507			
トラックレン(油圧伸縮ジ [°] ブ [°] 型)賃料		220 t 吊		日	2.507			
諸雑費				式	1			
計								
1本当たり								

第 11号				1本当たり		単価表
主桁転倒防止工（据付時）						
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員		人	0.05			
パイプサポート	振止金具共	本・日	4			
補助材料		式	1			
計						

第 12号		コンクリート工（プレテンション桁、ポストテンション桁） ブーム打設					10m ³ 当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
橋りょう世話役		人	2.9					
特殊作業員		人	4					
型わく工		人	9.3					
普通作業員		人	9.1					
生コンクリート	30-12-25 W/C≦55	m ³	10.5					
コンクリートポンプ車運転費	トラック架装 ブーム式	hr	1.5			第 1号運転費		
諸雑費		式	1					
計								
1 m ³ 当たり								

第 13号		間詰床版及び横桁の鉄筋加工・組立					1 t 当たり	単価表
D22								
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
土木一般世話役		人	0.8					
鉄筋工		人	3.8					
普通作業員		人	1.7					
異形棒鋼	SD345 D22	t	1.05					
諸雑費		式	1					
計								

第 14号		間詰床版及び横桁の鉄筋加工・組立					1 t 当たり	単価表
D16								
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
土木一般世話役		人	0.8					
鉄筋工		人	3.8					
普通作業員		人	1.7					
異形棒鋼	SD345 D16	t	1.05					
諸雑費		式	1					
計								

第 15号		間詰床版及び横桁の鉄筋加工・組立 D13					1 t 当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
土木一般世話役		人	0.8					
鉄筋工		人	3.8					
普通作業員		人	1.7					
異形棒鋼	SD345 D13	t	1.05					
諸雑費		式	1					
計								

第 16号		コンクリート削孔					1箇所当たり	単価表
		削孔径10～30mm 削孔深30～200mm						
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	30mm以上200mm未満	孔	1					
	削孔深さ：30mm以上200mm未満							
計								

第 17号		コンクリート削孔					1箇所当たり	単価表
		削孔径10～30mm 削孔深200～400mm						
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
コンクリート削孔（電動ハンマドリル）	200mm以上400mm以下	孔	1					
	削孔深さ：200mm以上400mm以下							
計								

第 18号		あと施工アンカー 削孔径22mm 削孔深78mm					1本当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
金属拡張あと施工アンカー	M16×60	本	1					
計								

第 19号				100m当たり			単価表
P C工 (ホ ー ステンション桁、シングルストラット システム) 570kN (60t) 型 1S21.8mm							
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
橋りょう世話役		人	0.67				
橋りょう特殊工		人	3.1				
普通作業員		人	1.8				
P Cケーブル	SWPR19L 1 S21.8mm	kg	260.61				
諸雑費		式	1				
計							
1 m当たり							

第 20号				100m当たり			単価表
P C工 (ホ ー ステンション桁、シングルストランド システム) 950kN (100t) 型 1S28. 6mm							
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
橋りょう世話役		人	0. 87				
橋りょう特殊工		人	3. 5				
普通作業員		人	1. 5				
P Cケーブル	SWPR19L 1S28. 6mm	kg	444. 045				
諸雑費		式	1				
計							
1 m当たり							

第 21号		緊張工(シングルストランドシステム) 570kN(60t) 型(1S21.8) 異形支圧板					10ケーブル当たり	単価表
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0.4					
橋りょう特殊工		人	1.2					
普通作業員		人	0.6					
定着装置	緊張側 1S21.8mm用異形支圧板	組	10					
定着装置	固定側 1S21.8mm用異形支圧板	組	10					
諸雑費		式	1					
計								
1ケーブル当たり								

第 22号		緊張工(シングルストラットシステム) 950kN(100t) 型(1S28. 6) 異形支圧板					10ケーブル当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
橋りょう世話役		人	0. 6					
橋りょう特殊工		人	1. 4					
普通作業員		人	0. 6					
定着装置	緊張側 1S28. 6mm用異形支圧板	組	10					
定着装置	固定側 1S28. 6mm用異形支圧板	組	10					
諸雑費		式	1					
計								
1ケーブル当たり								

第 23号		緊張工(シングルストランドシステム)					10ケーブル当たり	単価表
950kN(100t) 型(1S28. 6)		標準支圧板						
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要		
橋りょう世話役		人	0. 6					
橋りょう特殊工		人	1. 4					
普通作業員		人	0. 6					
定着装置	緊張側 1S28. 6mm用標準支圧板	組	10					
定着装置	固定側 1S28. 6mm用標準支圧板	組	10					
諸雑費		式	1					
計								
1ケーブル当たり								

第 24号		緊張工(シングルストランドシステム)					10ケーブル当たり	単価表
950kN(100t) 型(1S28. 6) 異形支圧板＋標準支圧板								
明細書		規格		単位	数量	単価	金額	摘要
橋りょう世話役				人	0. 6			
橋りょう特殊工				人	1. 4			
普通作業員				人	0. 6			
定着装置		緊張側 1S28. 6mm用異形支圧板		組	10			
定着装置		固定側 1S28. 6mm用標準支圧板		組	10			
諸雑費				式	1			
計								
1ケーブル当たり								

第 25号

1工事当たり

単価表

横組工の機械器具損料

シングルストラットシステム

明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
PC緊張ジャッキ・ホーン 損料	950 kN型 (1S28.6)	供用日	2.833			
諸雑費		式	1			
計						

第 26号		足場工費 (ホ° ステンション桁用桁下足場)					1㎡当たり	単価表
1.1≦H<1.5m、両側朝顔								
明 細 書		規 格		単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
橋りょう特殊工				人	0.12			
足場材質料				月	2			
計								

第 27号				1m当たり			単価表
足場工費 橋台・橋脚回り足場ﾌﾟﾗｯｸﾄ工							
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
橋りょう特殊工		人	0.38				
足場材質料		月	2				
諸雑費		式	1				
計							

第 28号		コンクリート塗装 CC-A塗装系					1㎡当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
プライマー塗布	CC-A塗装	㎡	1					
下地調整	CC-A塗装	㎡	1					
中塗り塗装	CC-A塗装	㎡	1					
上塗り塗装	CC-A塗装	㎡	1					
週休2日補正	月単位	式	1					
計								

第 29号

1m³当たり

单価表

コンクリート撤去

鉄筋構造物 制約無，低騒音・低振動対策不要

[illegible]

第 30号

1m³当たり

単価表

殼運搬

コンクリート殻

[illegible]

[illegible]

第 33号		チップング 岩盤面・打継面					10㎡当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
土木一般世話役		人	0.1					
特殊作業員		人	0.4					
普通作業員		人	0.3					
諸雑費		式	1					
計								
1 ㎡当たり								

第 34号				1m ³ 当たり		単価表
コンクリート取壊し						
無筋構造物、低騒音・低振動対策不要						
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
構造物とりこわし工 昼間	無筋構造物 機械施工 制約無	m ³	1			
計						

第 35号

1m³当たり

单価表

殼運搬

無筋コンクリート

[illegible]

第 36号				1m ³ 当たり			単価表
殻処理 無筋コンクリート							
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート塊処分費	無筋(田川砂利工業)	m ³	1				
計							

第 38号		発生品運搬					1 t 当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
現場発生品及び支給品運搬	トラックベーストラック4～4.5t積、吊能力2.9	t	1					
	トラック機種:トラックベーストラック4～4.5t積、吊能力2.9t DID区間の有無:有り 片道運搬距離(km):5.0km以下							
計								

第 39号

スクラップ

1 t 当たり

单価表

[illegible]

第 40号				100㎡当たり			単価表
敷鉄板設置撤去工							
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
<設 置>							
土木一般世話役		人	0.152				
とび工		人	0.152				
普通作業員		人	0.152				
バックホウ(クロー型)運転費 標準型・超低騒音型	クレーン機能付 排出ガス	日	0.152			第 2号運転費	
<撤 去>							
土木一般世話役		人	0.143				
とび工		人	0.143				
普通作業員		人	0.143				
バックホウ(クロー型)運転費 標準型・超低騒音型	クレーン機能付 排出ガス	日	0.143			第 2号運転費	
諸雑費		式	1				
計							
1 ㎡当たり							

第 41号		敷鉄板賃料					1枚当たり	単価表						
明	細	書	規	格	単	位	数	量	単	価	金	額	摘	要
敷鉄板賃料			厚25mm 1524×4572 ; 1～90日			枚・日	21							
敷鉄板（鋼板・厚25） 整備費			1524×4572			枚	1							
計														

第 42号

1日当たり

単価表

交通誘導警備員

明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B		人	2			
計						

第 43号

1 t 当たり

単価表

仮設材の運搬費(鋼矢板・H形鋼・覆工板・敷鉄板等)

(A) 長12m以内, 距離10kmまで、往復

明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
仮設材運搬費(A)		t	1			
計						

第 44号		仮設材の積込み、取卸し 基地～現場～基地					1 t 当たり	単価表
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
仮設材の積込み		t	1					
仮設材の取卸し		t	1					
計								

第 45号		トラックレン（分解・組立・輸送）					1回当たり	単価表
油圧伸縮ジブ 型 120t吊, 分解組立+輸送(往復)								
明細書		規格		単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員				人	4.3			
ラッペンクレン(油圧伸縮ジブ)賃料		70 t 吊, 排ガス基準2次		日	1.5			
運搬費等				式	1			
諸雑費				式	1			
計								

第 46号				1回当たり			単価表
トラッククレーン（分解・組立・輸送）							
油圧伸縮ジブ型 220 t 吊, 分解組立+輸送(往復)							
明細書	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
特殊作業員		人	11.7				
ラッククレーン(油圧伸縮ジブ)賃料	70 t 吊, 排ガス基準2次	日	4				
運搬費等		式	1				
諸雑費		式	1				
計							

第 1号		コンクリートポンプ車運転費 トラック架装 プーム式					1hr当たり	運転費
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
運転手(特殊)		人	0.14					
軽油 ハートル給油		ℓ	13					
コンクリートポンプ車 トラック架装 プーム式		hr	1					
諸雑費		式	1					
計								

第 2号		バックホウ(クロー型)運転費 標準型・超低騒音型 クレーン機能付 排出ガス対策型					1日当たり	運転費
明 細 書	規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
運転手(特殊)		人	1					
軽油 ハートル給油		ℓ	119					
バックホウ(クロー型・クレーン付)賃料	山積0.8m³, 2.9吊	日	1.06					
諸雑費		式	1					
計								